

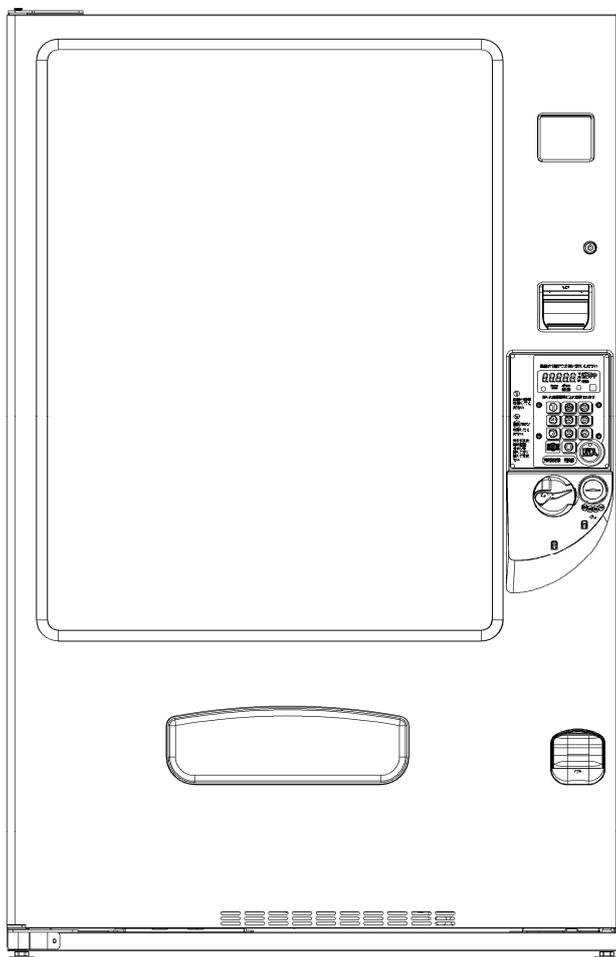


取扱説明書

富士電機
汎用 食品自動販売機

形名 FGS260WA-FOP

このたびは弊社製品をお買いあげいただきありがとうございました。
お求めの弊社製品を正しく使っていただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。
なお、お読みになったあとは、必ず保存してください。
弊社製品の正しい製品知識と取扱により、末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。



FGS260WA-FOP

も く じ

1. 安全上のご注意

- ◆ 安全上のご注意……………1-01
- ◆ メンテナンスガイドライン……………1-04

2. 製品の仕様

- ◆ 本体仕様……………2-01
- ◆ 機能仕様……………2-05
- ◆ 冷却系仕様……………2-06
- ◆ 外形寸法……………2-07
- ◆ 内部構造図……………2-08

3. 据付け

- ◆ 設置・立上げの作業手順……………3-01
- ◆ 設置スペース……………3-02
- ◆ 機械の据付け……………3-03
- ◆ メインドアロックの交換……………3-06

4. 販売準備

- ◆ 機械の立ち上げ……………4-01
- ◆ 販売商品サイズの確認……………4-02
- ◆ ラック棚の引き出し方法……………4-03
- ◆ 各種ラック設定……………4-04
- ◆ 商品の充てん方法……………4-14
- ◆ 特殊商品のラック設定と
商品の充てん方法……………4-21
- ◆ ヘルスコード機能……………4-25
- ◆ リモコンスイッチの使い方……………4-26
- ◆ 賞味期限管理機能……………4-27
- ◆ マスタボックスの名称とはたらき……………4-38

5. 棚位置の変更

- ◆ 棚位置変更……………5-01

6. 冷却モードの変更

- ◆ 冷却モードの変更……………6-01

7. 定期的清掃と点検

- ◆ 保守・点検時期と内容……………7-01
- ◆ お金の回収……………7-01
- ◆ 訪問時の清掃……………7-02
- ◆ 1ヶ月毎の清掃……………7-04
- ◆ 点検のしかた……………7-05
- ◆ 長期間ご使用にならないときは……………7-06

8. リモコン

- ◆ リモコン各部の名称とはたらき……………8-01
- ◆ テンキーボタンによる
設定データの確認……………8-02
- ◆ カウンタ値の確認のしかた……………8-03
- ◆ 基本的な操作のしかた……………8-04
- ◆ 専用キーの機能項目とデータ範囲……………8-07
- ◆ モードキーの機能項目と
データ範囲……………8-11
- ◆ 操作手順……………8-20
- ◆ カウント条件……………8-51
- ◆ クリア条件……………8-53
- ◆ セット販売の設定方法……………8-59
- ◆ 割引販売機能について……………8-65
- ◆ 2コラム同時動作設定……………8-70

9. 故障診断

- ◆ 点検／クリアキーによる操作……………9-01
- ◆ 故障コード一覧表……………9-05

〈本書中の記号について〉

このサービスマニュアルの単位につきましてはSI単位[参考値]で表示しておりますので、製品の銘板等と多少異なる場合があります。

表示例：炭酸ガス圧0.5MPa[5kgf/cm²G]

【製造年月】

自動販売機正面下部に、機番の上3桁で製造年月日を表示してあります。
上1桁目で製造した西暦年の下1桁を表し、上2, 3桁目で製造年月を表します。
2014年05月製造は 405…となります。

1. 安全上のご注意

安全に関する重要な内容です。お読みいただき必ずお守りください。

「 警告」は、取扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

「 注意」は、取扱いを誤った場合に、人が障害を負う危険が想定される場合および、物的損害のみの発生が想定される内容です。

警告



- 開梱、据付け、移動は、専門の自動販売機据付け技術者またはお買上げ先に依頼してください。
不完全な据付けは転倒事故、感電、火災、火傷などの恐れがあります。
- 据付けは、JIS基準、日本自動販売機工業会自主基準を遵守してください。
不完全な据付けは、事故発生の恐れがあります。
- 修理は専門の修理技術者またはお買上げ先に依頼してください。
修理部品は純正部品をご使用ください。
修理に不備があると感電、火災、けがの恐れがあります。



- 下記のような水気のある設置場所ではアースを必ず接続してください。
a 魚屋、八百屋、クリーニング店の作業場などの水を取り扱う土間、洗車場、洗い場、またはこれらの付近の水滴が飛散する場所
b 簡易な地下室のように常時水が漏出し、または結露するような場所
c その他上記に類する場所
- アースは、ガス管や水道管、電話回線のアース、避雷針などに接続しないでください。
不完全なアースは感電の恐れがあります。



- 雨水のかかる場所、湿気の多い所、水のかかり易い場所での据付け・使用はしないでください。
 - ・ 雨水のかかる場所で使用すると、漏電・感電の恐れがあります。
 - ・ 湿気の多い所や水のかかり易い場所に据付けると絶縁低下から漏電・感電の恐れがあります。
- 内部にラッカー、ペイント、シンナー、可燃性スプレーなどの可燃物を入れないでください。
爆発や火災の恐れがあります。
- 上に乗ったり、揺すったり、傾けたりしないでください。
転倒事故の恐れがあります。
- 水分、泥、ごみ等を完全に除去して絶縁が回復していることを確認してから修理専門技術者が組立ててください。
感電や火災の恐れがあります。
- 子供達の遊び場に放置しないでください。
転倒事故によるけがの恐れがあります。



- 濡れた手で内部のスイッチを操作しないでください。
感電の恐れがあります。
- 重いものを乗せたり、加工したり、引っぱったりしないでください。
破損して、感電や火災の恐れがあります。

安全上のご注意

⚠ 警 告



- 無断で自動販売機を改造しないでください。
事故発生の恐れがあります。



- シンナーなどの可燃物や可燃性ガスを自動販売機近くで使用しないでください。
爆発や火災の恐れがあります。



- 異臭・発煙・発火等の異常時は、直ちに電源プラグを抜き、専門の修理技術者またはお買上げ先に連絡してください。
異常のまま運転を続けると感電、火災の恐れがあります。



- 修理および廃棄時には、火気を使用しないでください。
(可燃性冷媒使用：R1234yf)
- 配管を傷つけたり、破損させたりしないでください。
- この製品を廃棄する場合には、換気装置などのある風通しの良い場所で冷媒を放出してください。
火災の恐れがあります。

⚠ 注 意



- つぎのような場所に据付けるときは、お買上げ先にご相談ください。
 - ・潮風や腐食性ガスにさらされる場所
 - ・揺れや振動の多い場所
- つぎのような場所に設置するときには、法律に適合しなければなりません。
適合条件が不明なときには、所轄の官庁にご相談ください。
 - ・避難用の道路及び施設
- 扉を開けるときは、通行車両や通行人の妨げにならないようにしてください。
注意して開けないと通行人のけがや車両による人身事故の恐れがあります。
- メインドアを開けたときは、必ず扉ストッパで固定してください。
固定しないと不意に扉が閉じてけがの恐れがあります。
- 中身商品は食品衛生法に従った日常衛生管理をしてください。
不適正な日常衛生管理は事故の発生の恐れがあります。
- 屋内設置機で湿度の高い時期は蒸発皿にたまった水を捨ててください。
床面がぬれることがあります。
- 6か月に1度および震度5以上の地震が発生したときは据付け面のがたつきや固定金具のゆるみなどを点検してください。
異常がある場合は専門の据付け技術者または、お買上げ先へ修理を依頼してください。
不完全な据付け状態のまま使用すると転倒事故の恐れがあります。
- 警告表示類は常に正しく読めるように清掃や貼り替えをしてください。
見にくくなると事故発生の恐れがあります。
- 扉が自由に開閉できる状態で保管しないでください。
事故発生の恐れがあります。
- 自動販売機を廃棄するときには、専門の業者またはお買上げ先へ依頼してください。
放置による環境汚染や事故発生の恐れがあります。

安全上のご注意

⚠ 注意



- 国内で使用するための設計されています。
国外で使用すると、電源電圧が異なり、発火、発煙、焼損の恐れがあります。
- 販売可能商品として指定された商品以外は収納しないでください。
変形や液もれしている商品は収納しないでください。
指定外の商品を収納すると、事故発生の恐れがあります。



- 電源コンセントは他の製品と共用しないでください。
延長コードの使用やたこ足配線は、火災の恐れがあります。
- 電源容量は必ず機器の定格に合わせてください。
許容電圧・電流の小さい電源を使用すると、火災の恐れがあります。
- 電源コードは束ねて使用しないでください。
発熱して火災や感電の恐れがあります。
- 電源プラグは1年に1度定期的に点検し、ほこりを拭き取り、根元まで確実に差し込んでください。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の恐れがあります。



- 雨や雪の中で扉を開けたときは、内部の電気部品に雨水・雪がかからないようにしてください。
感電の恐れがあります。
- 電源コードの被覆が溶けることがありますので熱器具を近づけないでください。
火災、感電の恐れがあります。
- 電気部品は水をかけたり、水洗いしないでください。
感電の恐れがあります。
- 漏電しゃ断器は月に1回以上テストボタンを押して電源が切れることを確認してください。
切れない場合は専門の修理技術者またはお買上げ先へ修理を依頼してください。
使用を続けると感電の恐れがあります。
- 蛍光管、グロー球、白熱球を交換するときは必ず電源を切り、管球が冷えてから行ってください。
感電、火傷の恐れがあります。
- 漏電しゃ断器がたびたび動作したときは、専門の修理技術者またはお買上げ先へ修理を依頼してください。
使用を続けると感電や火災の恐れがあります。



- 内部の動作部に触れないでください。
けがの恐れがあります。



- 扉を閉めるときは指をはさまないように注意してください。
けがの恐れがあります。
- 凝縮器を清掃するときは、厚手の手袋を着用し、柄の長いブラシで清掃してください。
凝縮器の金属端面に触れるとけがの恐れがあります。

メンテナンスガイドライン

メンテナンスガイドラインをご活用いただき、ご購入いただいた本機を安全に末永くご使用ください。1年毎の定期点検を推奨します。また、製造5年経過後には必ず、点検をお願いいたします。点検をご依頼の場合は、弊社コールセンター 全国共通ナビダイヤル TEL0570-056022へご連絡ください。
(コールはフジ)

メンテナンスガイドラインの記載内容は、安全保全のための各部品交換の考え方の指針ですので、必ずしも寿命保証をするものではありません。

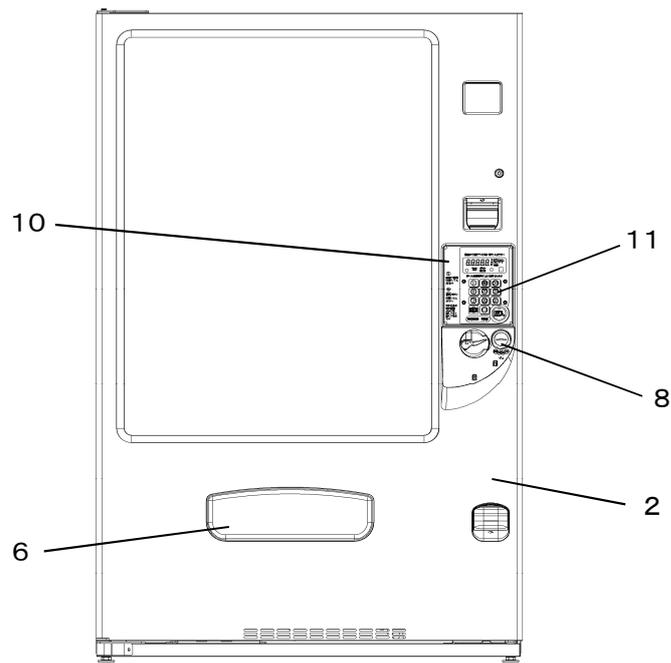
表 の 見 方

索引	部品位置番号
部品名称	部品名称、型番など
交換時期の目安	交換時期の目安に達した場合、交換の判断基準に基づき点検を行い、判断基準に記載する状態でない場合は、交換をお願いします。 「-」については、適宜点検を実施した際に該当部品が交換の判断基準に記載する状態にないと判断されたときは、該時点での交換をお願いします。
交換の判断基準(目安)	内容に合わせて、下記のような方法で交換要否の判断をお願いします。 変形、割れ、劣化、変色など⇒目視点検、触感点検 異音⇒聴感点検 絶縁抵抗⇒絶縁抵抗計による測定
寿命に至った際の故障モード	交換の目安を経過した場合は、以下の重大事故に繋がる可能性が想定されますので、必ず上記の交換の判断基準(目安)に基づき部品交換の実施をお願いします。 ・漏電・ショート(発煙・発火) 漏電や電気系のショートが発生し、発煙・発火の恐れがあります。 ・水漏れ 水漏れの恐れがあります。 ・怪我 商品購入者等が当該部品により怪我をする恐れがあります。

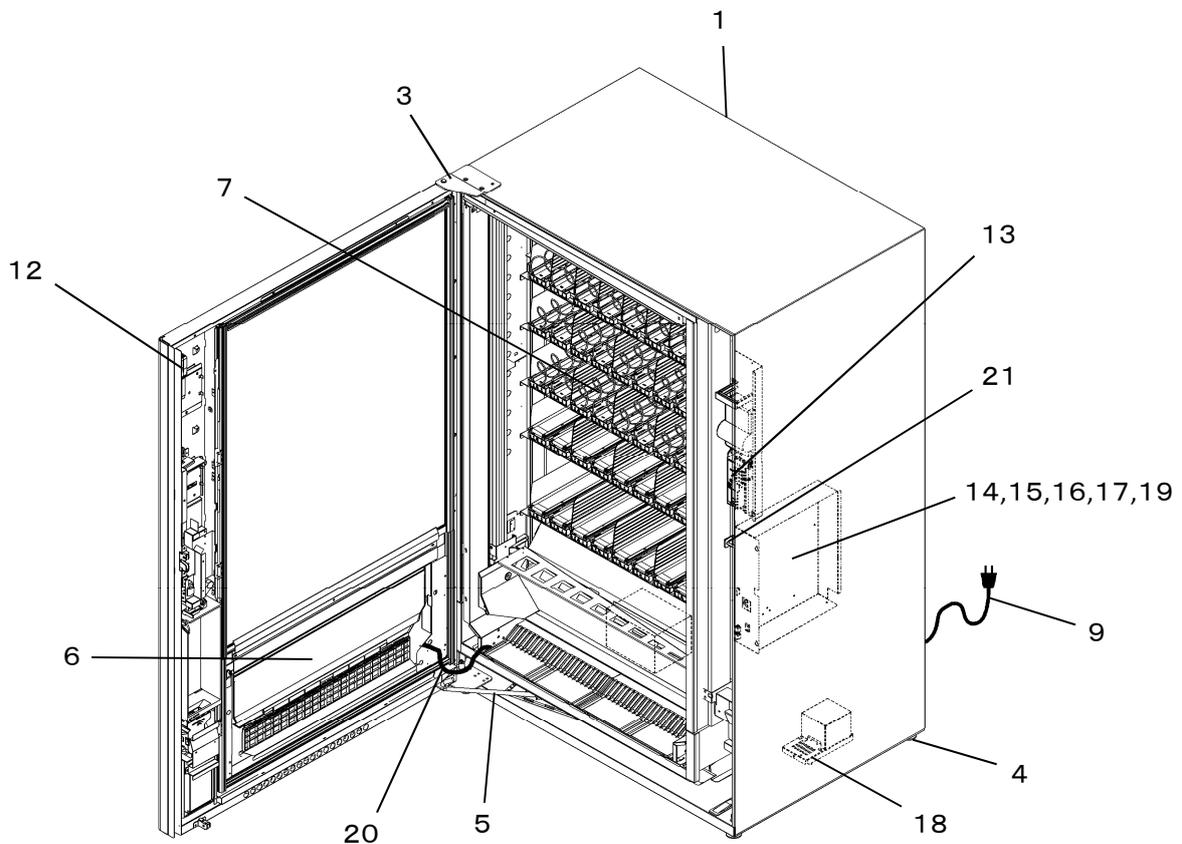
※交換時期の目安について

弊社がご案内した使用方法以外でご使用された場合、メンテナンスガイドラインに定める「交換時期の目安」より早期に交換時期に達する場合があります。

メンテナンスガイドライン



※デザイン・仕様により部品の配置や形状は図と異なる場合があります。

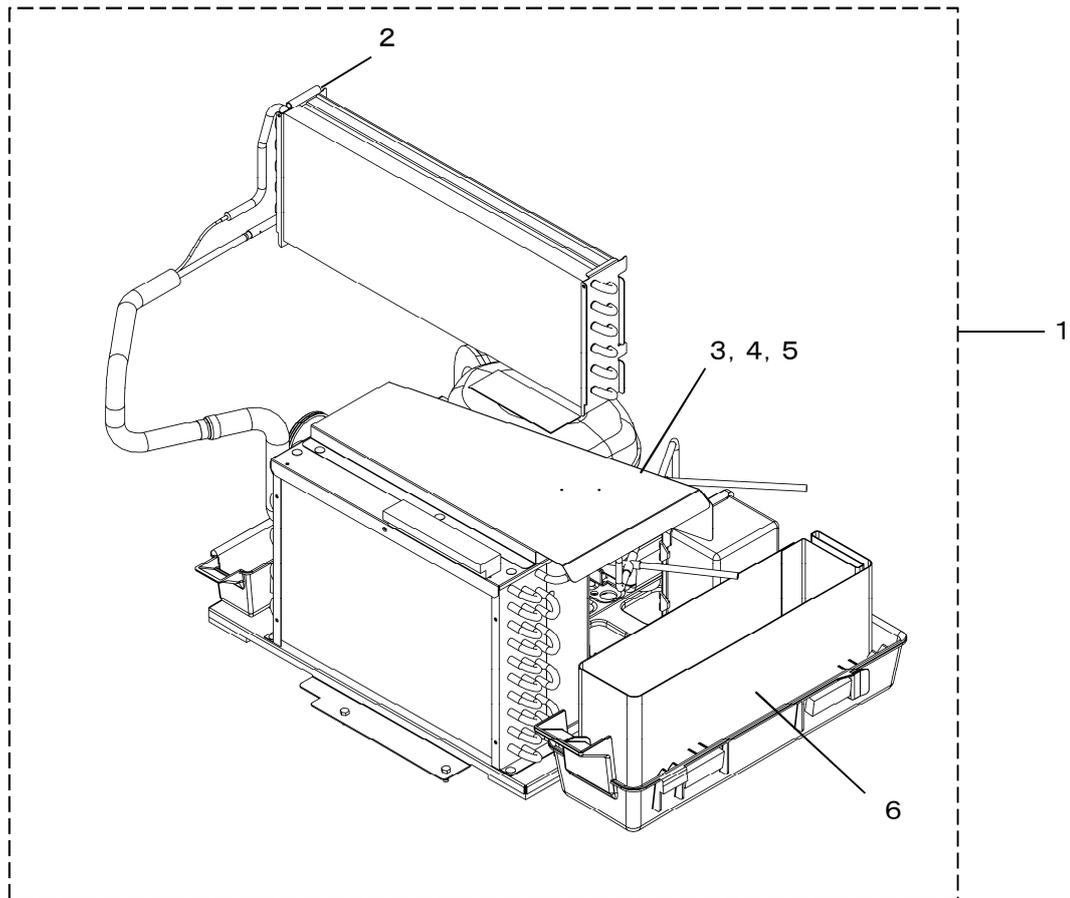


※仕様により部品の配置や形状は図と異なる場合があります。

メンテナンスガイドライン

索引	部品名称	交換時期の目安	交換の判断基準(目安)	寿命に至った際の故障モード			交換年月	交換年月
				漏電(発煙・シヨート)	水漏れ	怪我		
1	外箱	—	著しいサビ・変形の無いこと			○		
2	メインドア	—	著しいサビ・変形の無いこと			○		
3	メインドアヒンジ(上)	—	著しいサビ・変形の無いこと			○		
4	レベリングスクリュ	—	著しいサビ・変形の無いこと			○		
5	メインドアストッパ	—	著しいサビ・変形の無いこと			○		
6	商品取出口	—	扉・機構に亀裂・折損の無いこと			○		
7	ラック	—	亀裂・折損の無いこと (レールを含む)			○		
8	硬貨投入口	5年	著しい摩耗・傷付きの無いこと			○		
9	電源コード	5年	被覆の割れ・傷付きの無いこと プラグ部の変形の無いこと	○				
10	一体表示器	5年	外形の割れ・劣化・コネクタの変色の無いこと	○				
11	テンキーボタン	5年	外形の割れ・劣化・コネクタの変色の無いこと	○				
12	リモコン	5年	外形の割れ・劣化・動作不良の無いこと	○				
13	メインコントロールボックス	5年	割れ・劣化・コネクタ端子の曲り・緩みの無いこと 動作不良の無いこと	○				
14	電装ボックス	5年	割れ・劣化・コネクタ端子の曲り・緩みの無いこと 動作不良の無いこと	○				
15	プリント基板組立	5年	基板の焦げ・変色・コネクタ・リード線の変色の無いこと 動作不良の無いこと 外形膨張・液漏れの無いこと	○				
16	漏電しゃ断器	5年	テストスイッチを押して漏電しゃ断器が動作すること	○				
17	ヒューズホルダ	5年	外形の割れ・劣化の無いこと リード線の変色の無いこと	○				
18	トランス (ガラスヒータ)	5年	被覆の割れ・傷付きの無いこと コネクタ・リード線の変色の無いこと コネクタの腐食の無いこと	○				
19	電源ボックス	5年	基板の焦げ・変色・コネクタ・リード線の変色の無いこと 動作不良の無いこと	○				
20	自販機配線	5年	被覆の割れ・傷付きの無いこと コネクタ・リード線の変色の無いこと コネクタの腐食の無いこと	○				
21	扉スイッチ	5年	扉開閉により搬送機構が動作すること			○		

メンテナンスガイドライン



※仕様により部品の配置や形状は図と異なる場合があります。

索引	部品名称	交換時期の目安	交換の判断基準(目安)	寿命に至った際の故障モード			交換年月	交換年月
				漏(発電・煙シヨ発ト)	水漏れ	怪我		
1	冷却ユニット	5年	圧縮機より異音の無いこと 冷却性能低下の無いこと	○				
2	サーミスタ	5年	<絶縁抵抗> DC500Vメガーにて100MΩ以上 外形部の割れ・変形・腐食の無いこと	○				
3	コンデンサ(起動)	5年	冷却ユニットが正常動作すること 外形膨張・液漏れの無いこと	○				
4	リレー(PTC)	5年	冷却ユニットが正常動作すること	○				
5	コンデンサ(運転)	5年	冷却ユニットが正常動作すること 外形膨張・液漏れの無いこと	○				
6	蒸発シート	5年	目詰まり・その他著しい劣化の無いこと		○			

2. 製品の仕様

本体仕様

種類	汎用 食品自動販売機(強冷/保冷簡易2室機)
形式	FGS260WA-FOP
外形寸法 (mm)	高さ1834×幅1166×奥行852(最大奥行852+背面スペース20)[mm]
製品質量	298kg
選択種類	押釦テンキー(0~9, 購入, 訂正)
販売装置	

《ラック構成》

(顧客仕様)

上										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	11		13		15		17		19	
	21		23		25		27		29	
	31		33		35		37		39	
	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
下										

<ラック幅と販売商品幅>

	ラック幅(mm)	販売商品幅(mm)	備 考
・シングルスパイラル式ラック ・シングルコンベア式ラック	84	~79	10列/棚, 9列/棚(両端)標準設定
	96	~91	9列/棚(両端以外)標準設定
	108	~103	
	120	~115	
・ダブルスパイラル式ラック ・ダブルコンベア式ラック	156	~151	
	168	~163	5列/棚標準設定
	180	~175	
	192	~187	
	204	~199	
	216	~211	
	228	~223	ラック1つ飛ばし設定
	240	~235	
	252	~247	
	264	~259	
	276	~271	
288	~283		

本仕様は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

本体仕様

販売装置

<ラック構成>

ラック種類	棚数		1段目										備考
	ラック種類	コラムNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
シングルスパイラル式ラック			84	96	96	96	96	96	96	96	84		
ダブルスパイラル式ラック													
シングルコンベア式ラック													
ダブルコンベア式ラック													
ラック種類	棚数		2段目					備考					
	ラック種類	コラムNo.	11	13	15	17	19						
シングルスパイラル式ラック													
ダブルスパイラル式ラック			168	168	168	168	168						
シングルコンベア式ラック													
ダブルコンベア式ラック													
ラック種類	棚数		3段目					備考					
	ラック種類	コラムNo.	21	23	25	27	29						
シングルスパイラル式ラック													
ダブルスパイラル式ラック			168	168	168	168	168						
シングルコンベア式ラック													
ダブルコンベア式ラック													
ラック種類	棚数		4段目					備考					
	ラック種類	コラムNo.	31	33	35	37	39						
シングルスパイラル式ラック													
ダブルスパイラル式ラック			168	168	168	168	168						
シングルコンベア式ラック													
ダブルコンベア式ラック													
ラック種類	棚数		5段目										備考
	ラック種類	コラムNo.	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	
シングルスパイラル式ラック													
ダブルスパイラル式ラック													水平引出式
シングルコンベア式ラック			84	84	84	84	84	84	84	84	84	84	
ダブルコンベア式ラック													
ラック種類	棚数		6段目								備考		
	ラック種類	コラムNo.	51	52	53	54	55	56	57	58		59	60
シングルスパイラル式ラック													
ダブルスパイラル式ラック													水平引出式
シングルコンベア式ラック			84	84	84	84	84	84	84	84	84	84	
ダブルコンベア式ラック													

※表内の数値はラック幅(仕切板間の幅)(mm)です。

本仕様は改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

本体仕様

収容本数一覧

<ラック設定と販売商品奥行>

	販売商品		ラック設定	
	厚さ(奥行)(mm)		商品質量	1列当りの収容数(個)
	箱物	袋物		
・シングルスパイラル式ラック ・ダブルスパイラル式ラック	7~25	7~25	1個当り600g以下 〔ただし1列当り総質量 2.5kg以下 1棚当り 全段:12.5kg以下〕	30
	26~39	26~39		45
	40~48	40~48		56
	49~72(*)	49~72(*)		87

(*) : スパイラルの下部まで商品を入れ込んだ際の最大販売厚さ

	販売商品		ラック設定	
	奥行(mm)	商品質量	搬出メカコード	1列当りの収容数(個)
・シングルコンベア式ラック ・ダブルコンベア式ラック	20~39	1個当り600g以下 〔ただし1列当り総質量2.7kg以下 1棚当り 3~6段目:27kg以下 (1~2段目は設定不可, 3~4段目 はオプション対応)〕	12	10
	39~79		13	5
	79~118		14	3
	118~180		16	2

[!] 販売商品の形状・包装形態等により搬出メカコード、収容可能な寸法は上記表と異なる場合があります。

<棚設定と販売商品高さ>

棚段数	棚設定		標準設定値の際の販売商品高さ(mm)	
	棚間の高さ寸法(標準設定値)(mm)	高さ調整	スパイラル式ラック	コンベア式ラック
1段目	160	固定	~150	—
2段目	157	変更可(±20mm)	~147	—
3段目	157	固定	~147	~135
4段目	160	変更可(±20mm)	~150	~135
5段目	157	変更可(±20mm)	~147	~135
6段目	252	固定	~242	~230

ラック変換部品一覧

<ダブル/シングルスパイラル式ラック>

種類	取付位置	スパイラル幅(mm)	図面番号	備考	
スパイラル	右側	30	YDF40F4B414 C01	黒線 4本	
		45	YDF40F4B412 C01	黒線 1本	
		56	YDF40F4B408 C01	黒線 2本	
		87	YDF40F4B410 C01	黒線 3本	
	左側	30	YDF40F4B413 C01	赤線 4本	
		45	YDF40F4B411 C01	赤線 1本	
		56	YDF40F4B407 C01	赤線 2本	
		87	YDF40F4B409 C01	赤線 3本	
仕切板	—	—	YDF40T3B331 C01	—	
ラック組立	シングルスパイラル	—	—	YDF40X4B320 C01	「コラムモータ」印(白)裏面
	ダブルスパイラル	右側	—	—	—
		左側	—	YDF40X4B318 C01	「コラムモータ」印(白)前面
アタッチメント(スパイラル)	—	—	—	YDF40T4B293 C01	—

[!] シングルラックへの交換は本体配線まで含めた交換が必要になります。

<ダブル/シングルコンベア式ラック>

種類	取付位置	図面番号	備考
仕切板	—	YDF40T3B331 C01	—
ラック組立	—	YDF40X4B320 C01	「コラムモータ」印(白)裏面
アタッチメント組立(コンベア)	—	YDF40X4B299 C01	—

本仕様は改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

本体仕様

制御方法	リモコン・ビューデザインΣVTS-S	
使用硬貨	4金種（10円, 50円, 100円, 500円）	
釣銭硬貨	4金種（10円, 50円, 100円, 500円）, SUB（10円, 100円）	
価格設定範囲	¥10～¥9990（¥10毎）	
価格設定数	15価格	
釣銭保留枚数	¥10：約82枚, ¥50：約72枚, ¥100：約75枚, ¥500：約55枚, SUBチューブ：約82枚（¥10使用時）, 約72枚（¥50使用時）, 約75枚（¥100使用時）	
ビルバリデータ （オプション）	受入枚数：千円紙幣 1枚（1枚エスクロ） 収容枚数：千円紙幣 約100枚	
定 格	電源	単相 100V 50/60Hz（コンセント容量：15A）
	消費電力	310/330W
	電熱装置	64W（取出口ヒータ, ガラス扉ヒータ）
運転種類	3種類（強冷/弱冷/簡易2室（上：保冷, 下：強冷））	
圧縮機	240W相当	
照明	LED照明（LEDモジュール） （電照板上部：1箇所） （電照板右側：2箇所）	
外 観	扉	外扉：縦型集中操作部, トリプルガラスはめ込み, ワンタッチドアロック
	選択ボタン	押釦テンキー（0～9, 購入, 訂正）
	表示	販売可能・売切・釣銭切れ（¥10/¥100）・販売中・準備中
	日付表示	デジタル表示器にコラム別表示（待機時の押釦テンキー操作による）
付属品	1) アンカーボルト一式 2) 押釦操作ステッカー	
オプション	1) ビルバリデータ 2) 光ACS 3) プリンタ ※ オプション部品は、組合せにより取り付かない場合があります。	

本仕様は改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

機能仕様

リモコン	ΣVTS-S	
金銭処理機構	使用貨幣	4WAY (10円, 50円, 100円, 500円)
	釣銭硬貨	10円・50円・100円・500円, SUB (10円, 100円)
	価格設定範囲	10円～9990円
売上額集計	1.期間 2.コラム別 3.グループ別 4.トータル 5.テスト	
売上数集計	1.期間 2.コラム別 3.グループ別 4.トータル 5.テスト 6.リレポート	
漏電しゃ断器	定格100-200V, 50/60Hz, 30A	
庫内温度表示	リモコン表示で確認	
品質保持期限表示	販売待機時に押釦テンキー (販売コラムNo.+決定キー) を押し金額表示器に表示 ・フレッシュナビスイッチによる設定必要	
マスタボックス	版数管理 「BA5401」 図面番号 「YDF51X3A214 C01」 プログラム仕様図番 「YDF50Z4A090 C01」 ファイル名称 (12SMM)	
リモコン	版数管理 「BA5402」 図面番号 「YDF51X3A213 C01」 ・キー操作により各種設定, 確認等 (扉前面押釦併用) ・デジタル表示器にデータを表示 ・省エネ切替スイッチ (照明, ファンコン, 照明+ファンコン) ・照明スイッチ 1回路 ・フレッシュナビスイッチ ・冷却モードスイッチ	
本体スレーブボックス	版数管理 「BK5421」 図面番号 「YDF51X2A256 C01」 プログラム仕様図番 「YDF50Z4A086 C01」 ファイル名称 (12HASH) ・冷却の制御 ・冷却, 搬出機構の故障検知 ・搬出機構の制御 ・売切検知 電源ユニット 「PS-A154」 LED電源ユニット 「SP-404B」	
省エネ制御	設定はリモコンの操作-省エネモード設定による	

本仕様は改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

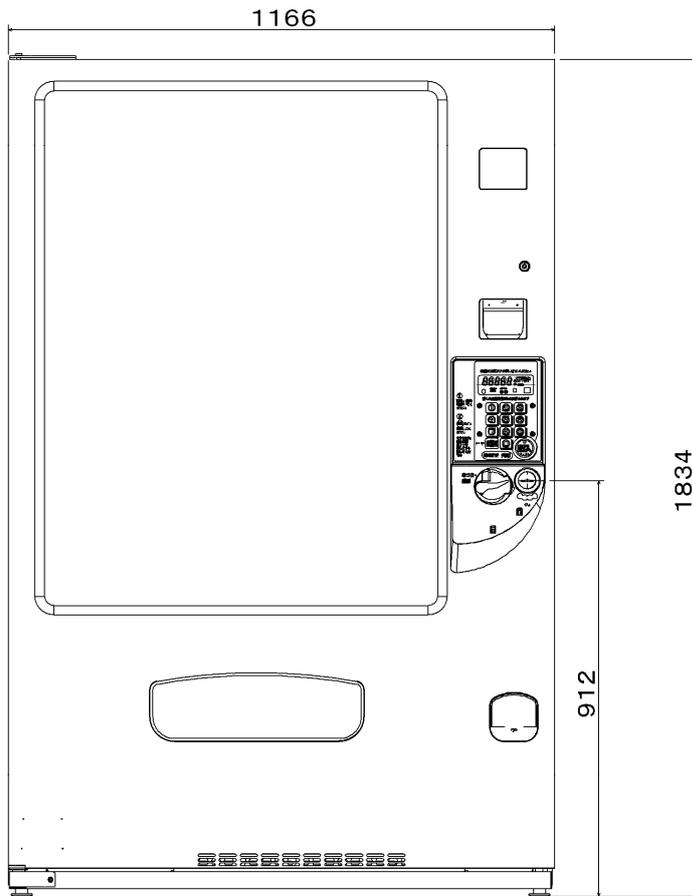
冷却系仕様

電源	単相 100V 50/60Hz 15A	
圧縮機	形式	FGS100LAS
	ユニットコード	42955
	呼称出力	240W相当 (9.04cm ³ /rev (レシプロ))
	起動方式	コンデンサ始動
運転コンデンサ	12 μ F, 250VAC	
起動コンデンサ	378 μ F, 250VAC	
起動リレー	PTH7M4R7MB3	
モータプロテクタ	5TM801KFBZZ	
冷媒	制御方式	キャピラリ制御方式
	封入量	0.31kg (R1234yf)
凝縮器用モータ	直流電動機(DC24V)×1個 ・出力: 7W (DC24V) ・形式: DR-738-519	
蒸発器用モータ	DC軸流ファンモータ×3個 ・形式: 3612KL-05W-B57-BXX	

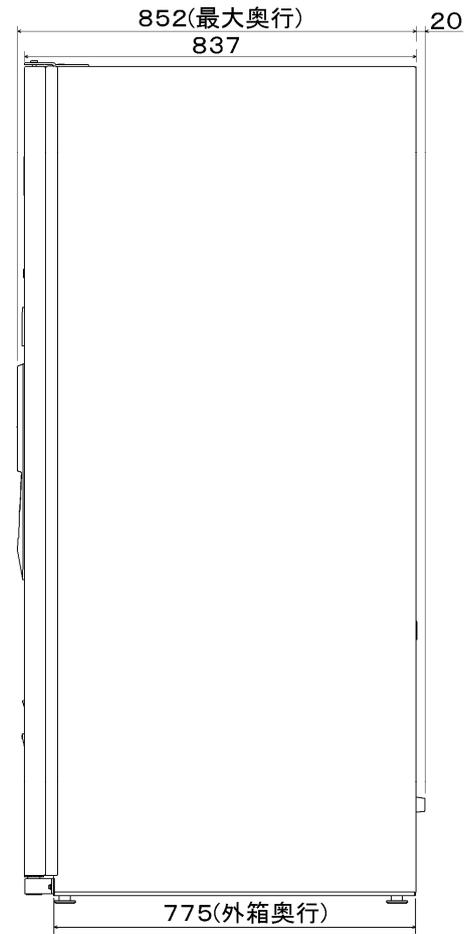
本仕様は改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

外形寸法

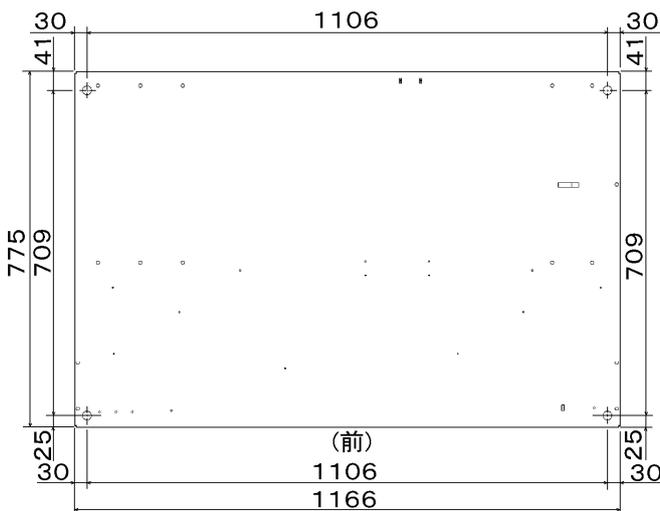
YDF90Z2A015 C01



正面図

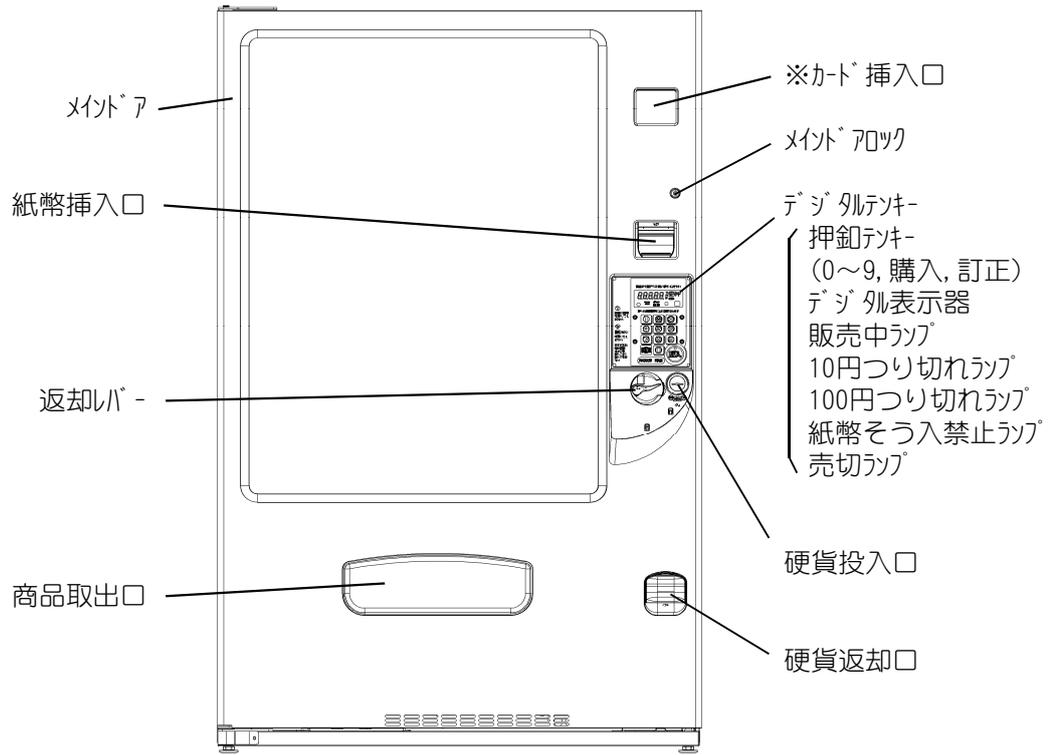


側面図

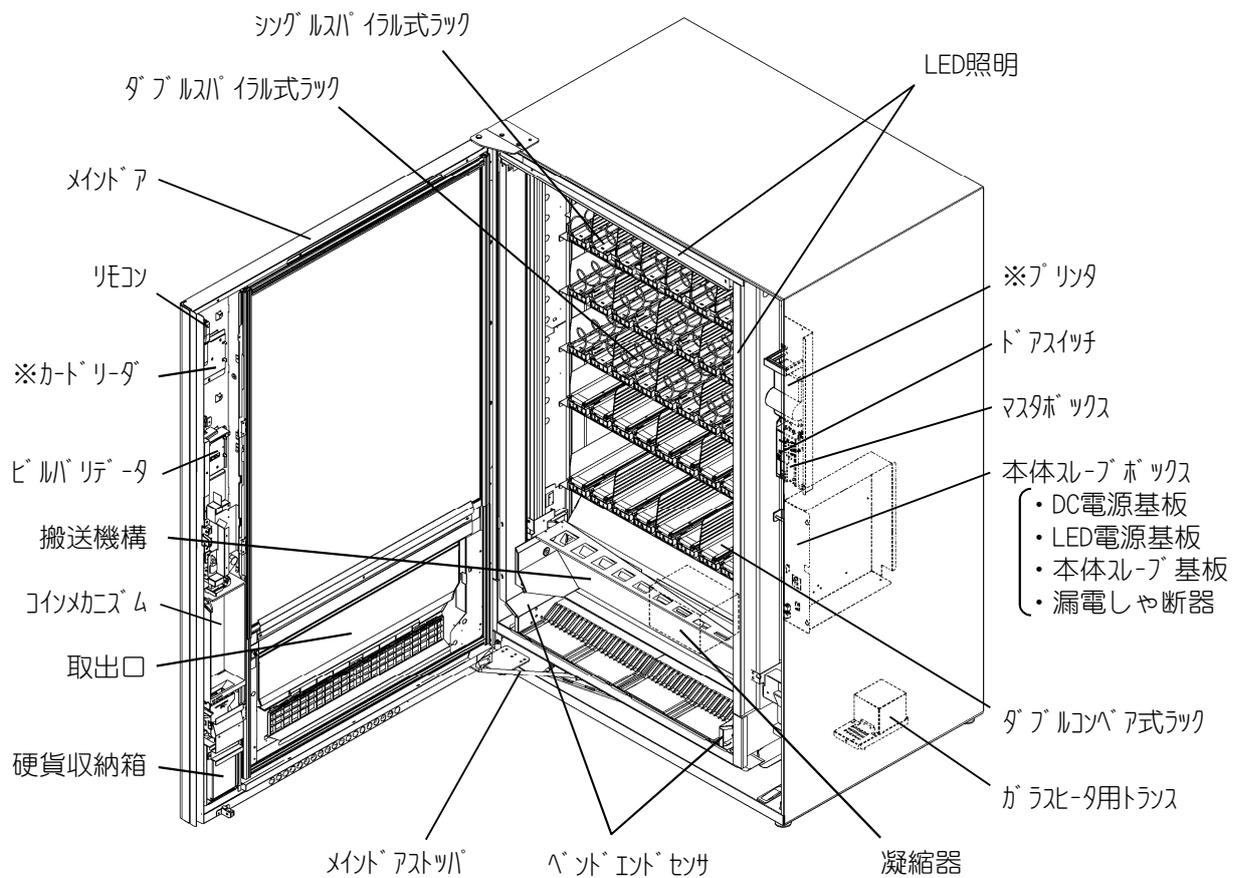


レベルングスクリー位置

内部構造図



正面図



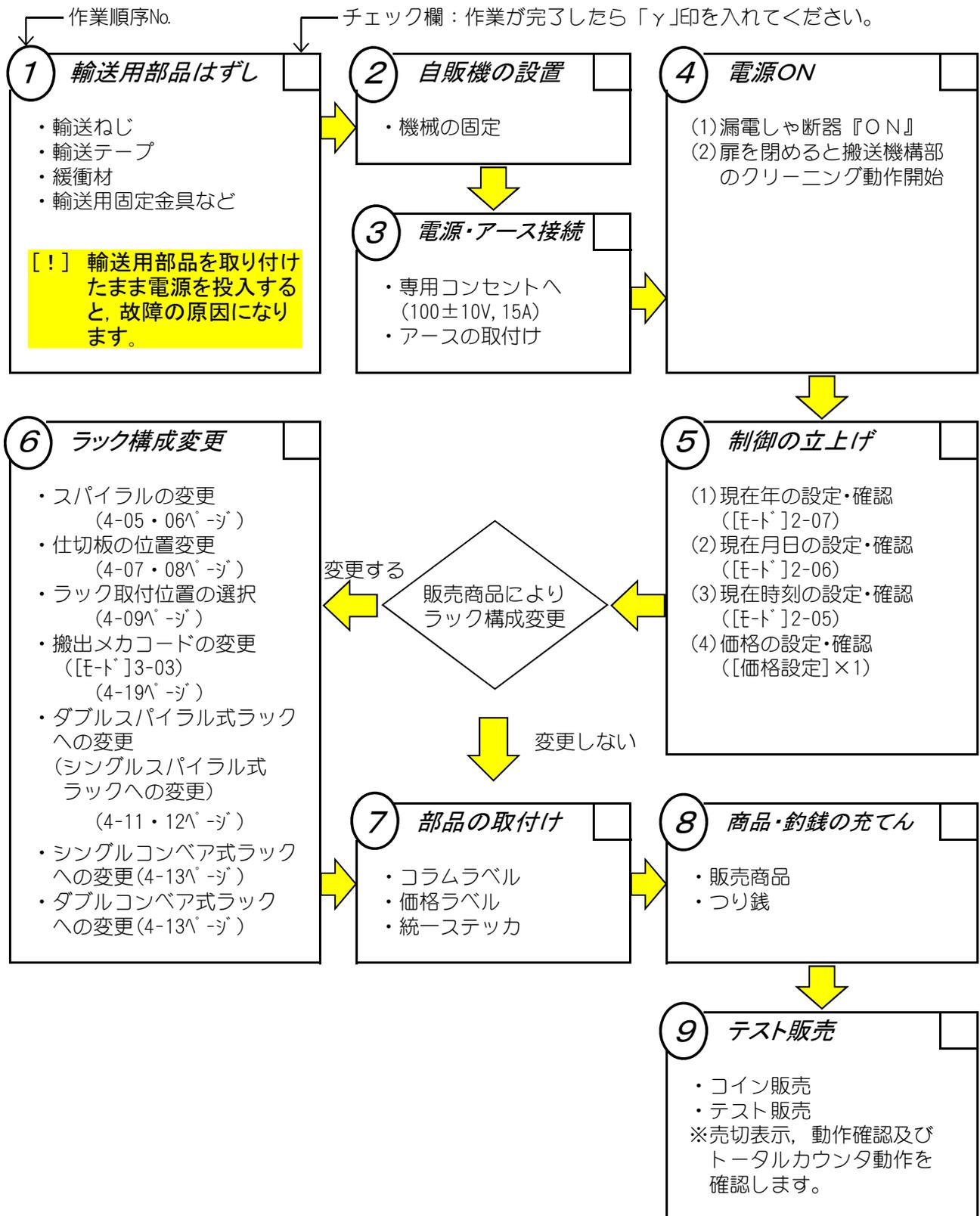
扉開放図

※印は、オプション部品です。
 ・ラック構成は仕向けにより異なります。

3. 据付け

設置・立上げの作業手順

設置・立上げに必要な作業内容と作業順序を示します。作業のくわしい内容は本文をご覧ください。

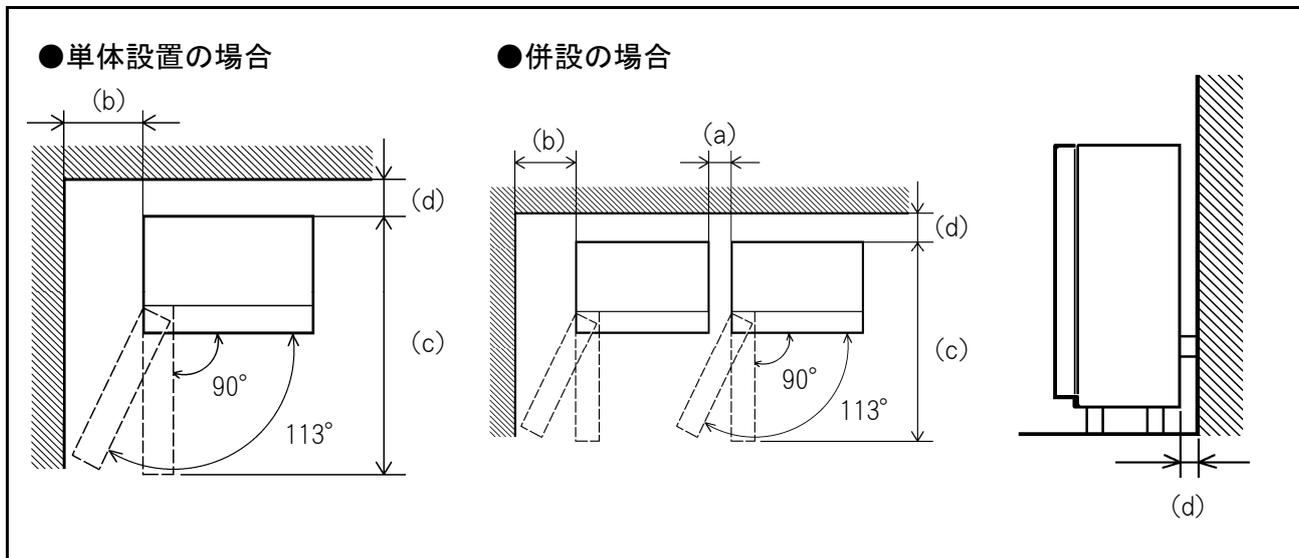


以上で作業完了です。

設置スペース

- 下記に記載の据付けスペースを確保するとともに、通風口をふさがらないでください。通風が悪いと性能低下の恐れがあります。

(1) 必要なスペース



自動販売機の据付け場所は、扉開閉および通気のため、つぎに示すスペースを確保してください。

① 扉開閉のために必要なスペース

(a) 自動販売機 相互間(左右)	113° に開いた時	20 mm以上
	90° に開いた時	20 mm以上
(b) 左側の壁	113° に開いた時	450 mm以上
	90° に開いた時	30 mm以上
(c) 自動販売機の 占有スペース	113° に開いた時	1911 mm以上
	90° に開いた時	1961 mm以上

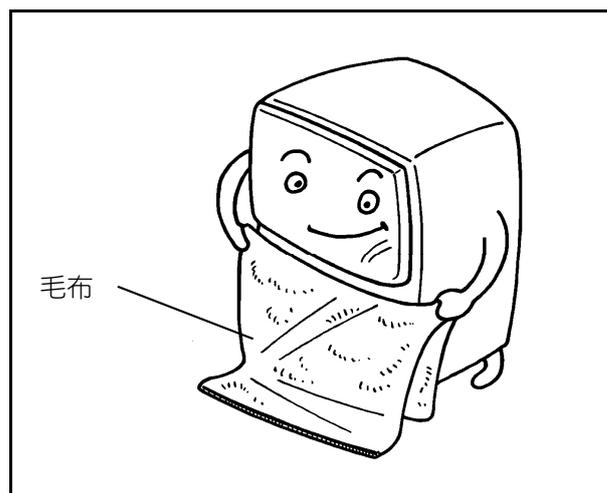
② 背面スペース

(d) 背面のスペース	20 mm以上
-------------	---------

機械の据付け

(1) 輸送・運搬時のご注意

- ① 輸送は正規の梱包状態で行ってください。
「はだか」での輸送は雨水の浸入によるトラブルや、傷つきの原因となるおそれがあります。
- ② 梱包を開いた後、据付け場所に運搬するときは、毛布などを敷いて塗装面に傷がつかないようにしてください。

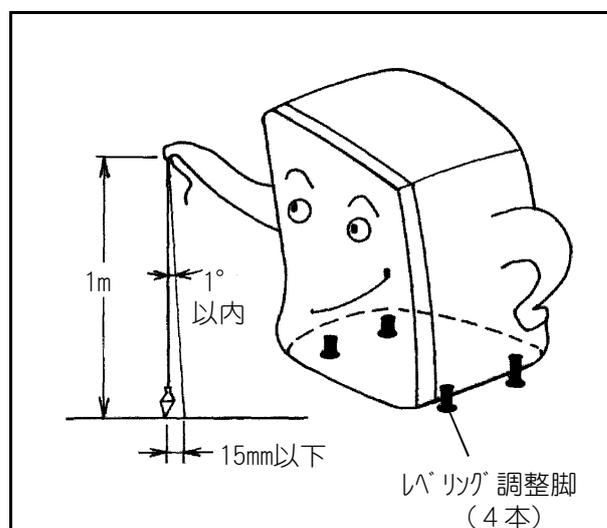


(2) レベリング調整

底面には、4個のレベリング調整脚（荷重を受ける）が付いています。

- ① 4個のレベリング調整脚を回して、機械の傾きを前後左右とも 1° 以内に調整してください。

[!] 機械の傾きは、機械の転倒及び誤動作の原因となることがあります。



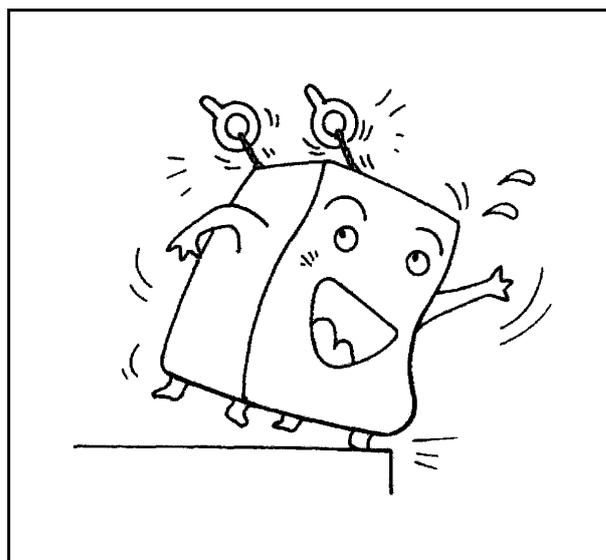
(3) 機械の固定（転倒防止）

設置場所の状況に応じて、つぎのいずれかの方法または、これらと同等以上の効果が認められる方法で転倒防止を行ってください。

くわしい内容は、付属の説明書および「(8) 据付け仕様」を参照ください。

- ① 固定金具を用いて、機械の脚を固定する。
- ② 機械の背面にあるボルト・ナットを利用して、チェーンで壁面に連結する。
- ③ 機械の脚部に「据付用鉄板」を固定する。

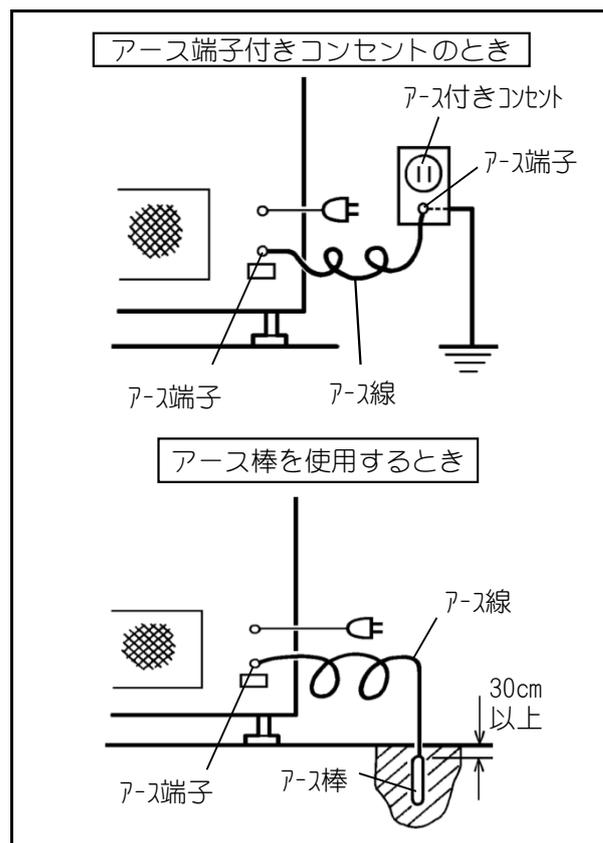
[!] 据付け後はたえず基礎のガタつき・ゆるみ等の点検を行ってください。



機械の据付け

(4)アース(接地)

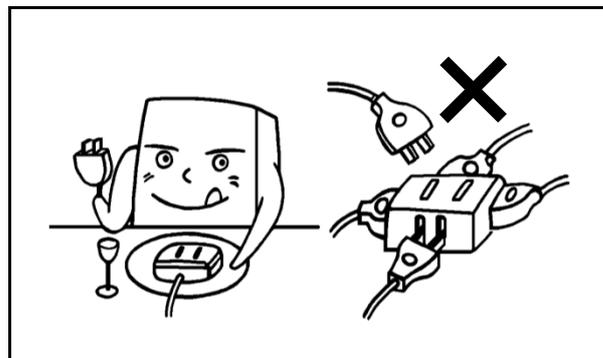
- ① アースの取付けかたは、右図を参考にしてください。
- ② 据付け場所を変更するときは、再度アースの取付けをしてください。



(5)電源

- ① 電源は必ず専用コンセントからとってください。
- ② 電源電圧は、90~100Vを確保してください。電流容量は、15A以上が必要です。電圧が低い場合は電力会社にご相談ください。

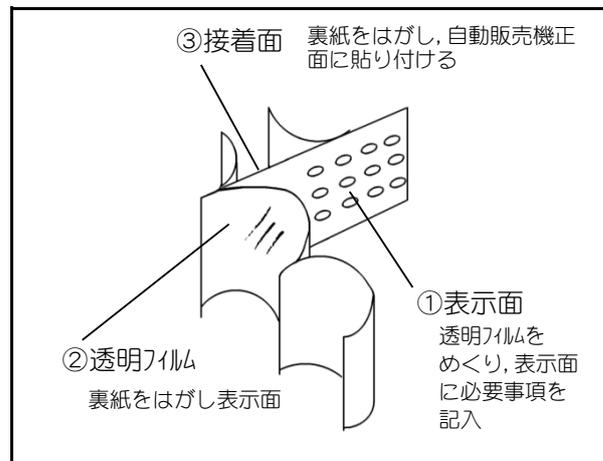
[!] タコ足配線はしないでください。火災、電圧低下の原因となります。



(6)統一ステッカーの貼付け

つぎの手順で、自動販売機正面の見やすい位置に統一ステッカーを貼付けてください。

- ① 付属の自動販売機統一ステッカーに、管理者名、連絡先住所、連絡先電話番号を黒色の油性フェルトペンで記入してください。
- ② 貼付面に汚れがあれば、清浄にした後、右図の番号順に貼付けてください。

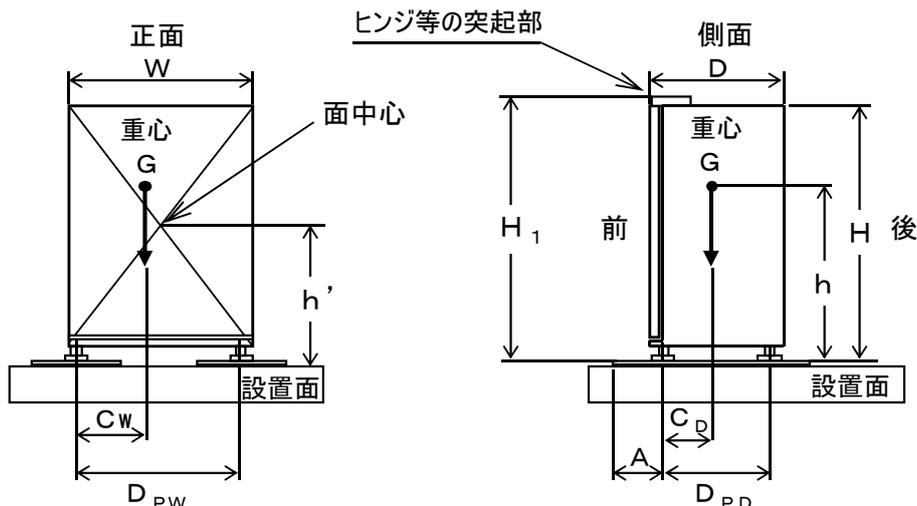


(7)転倒防止用鉄板を使用する場合

- ① 自動販売機の前脚から転倒防止用鉄板端面までの寸法（A寸法）は次ページを参照ください。
- ② 転倒防止用鉄板は裏表紙に掲載してある最寄りの弊社サービス機関窓口にご用命ください。

機械の据付け

(8)据付け仕様



	商品なし	商品満載	
G : 製品質量	kg	298	436
h : 重心高さ	mm	968	1062
CD : 重心から前側の脚の中心部までの距離	mm	320	339
CW : 重心から左側の脚の中心部までの距離	mm	554	554
DPD : 前後の脚の距離	mm	709	
DPW : 左右の脚の距離	mm	1106	
h' : 面中心の高さ	mm	960	
H×W×D : 外形寸法	mm	1830×1161× 837	
H1 : 突起部を含む高さ	mm	1,843	

- A, h, h' は最大高さとなるバッキングスクリューの高さを 4.5mm にしたときの値です。また商品満載時の質量は、最大質量の商品を装填したものです。バッキングスクリューを縮めた場合や転倒防止用鉄板(おもりの搭載)を使用した場合は重心高さが改善されるため別途計算してください。A 寸法は設置条件に合わせて別途計算し、適切な設置をしてください。
- 自販機内におもり等を用いて A 寸法を改善する際には、扉を開いたときの前方転倒には十分な注意をしてください。

	A 寸法 (mm)
前転倒角度 15 度を満足するための寸法 A0	A 寸法 : - 鉄板型式 : -
地階および 1 階 $A_1 = 0.5h - C$	A 寸法 : 195 鉄板型式 : 1100 型
2 階以上 $A_2 = 0.86h - C$	A 寸法 : 575 鉄板型式 : 1300 型 + 補助固定
最上階および屋上 $A_U = 2h - C$	据付施工は別途協議

- C は前方転倒に対する A 寸法として $C = C_D$ で算出しています。後倒れ・横倒れによる危険が想定される場合は別途計算するか、当社にご相談ください。
- $W > D$ の場合、 C_W および D_{PW} は省略、また $A_1 \geq A_0$ の場合、 A_0 は省略する場合があります。
- 鉄板型式の記号は据付基準マニュアル参照。 A_0 は、扉開、ラック引出しなどの最悪条件下での電安法の前転倒角度を満足するための A 寸法です。

※下記は上表の“商品満載”時のデータにて算出しています。

必要となる据付の概要 (地震力により自販機脚部に生じる地上面における引張荷重について)

後側脚部について (前方転倒への対応)

- ・固定金具 : E 型 × 1 枚
(固定金具の引張荷重 ⇒ 1 枚 : 925 [N])
- ・M10 あと施工アンカー : 1 本 ⇒ 最小へりあき寸法 : 40 mm 以上
- ・M12 あと施工アンカー : 1 本 ⇒ 最小へりあき寸法 : 50 mm 以上
(アンカーの引張荷重 ⇒ 1 本 : 1850 [N])

前側脚部について (後方転倒への対応)

- ・固定金具 : E 型 × 1 枚
(固定金具の引張荷重 ⇒ 1 枚 : 775 [N])
- ・M10 あと施工アンカー : 1 本 ⇒ 最小へりあき寸法 : 40 mm 以上
- ・M12 あと施工アンカー : 1 本 ⇒ 最小へりあき寸法 : 50 mm 以上
(アンカーの引張荷重 ⇒ 1 本 : 1550 [N])

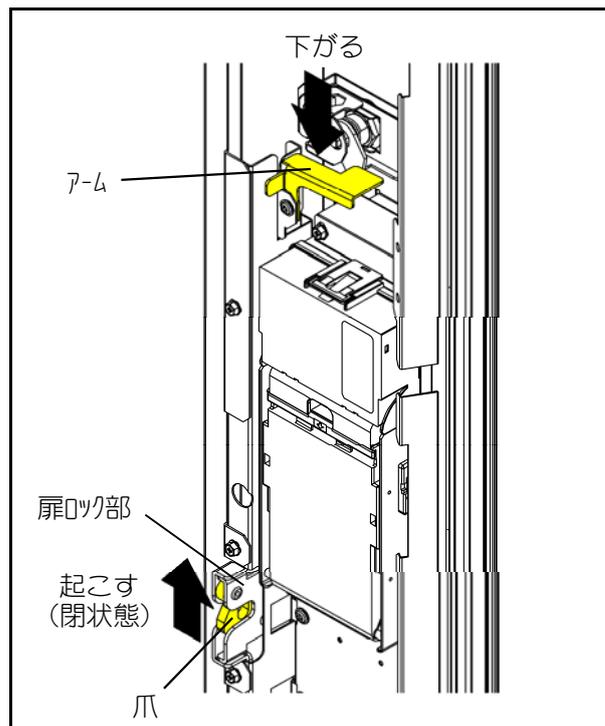
※固定金具とあと施工アンカーの必要数量が異なるときは多い方の数に合わせています。基本的には 4 箇所固定を推奨します。

メインドアロックの交換

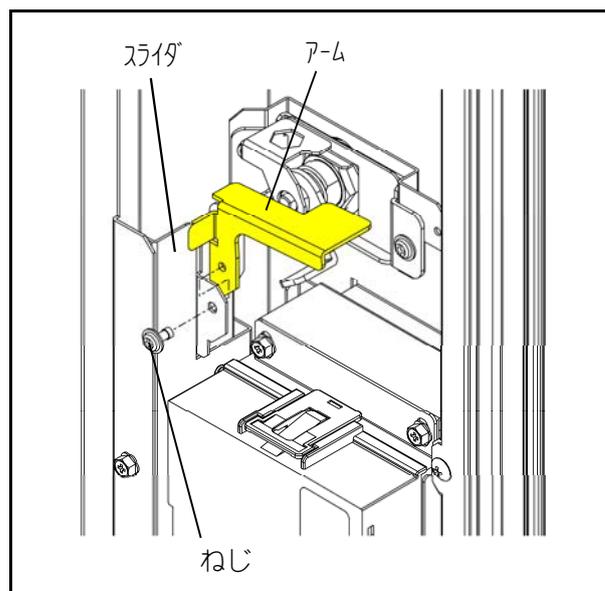
お客さまの方でご用意いただいたメインドアロックを現地で交換するときにはつぎの手順をお願いします。

(1) ロック機構の交換

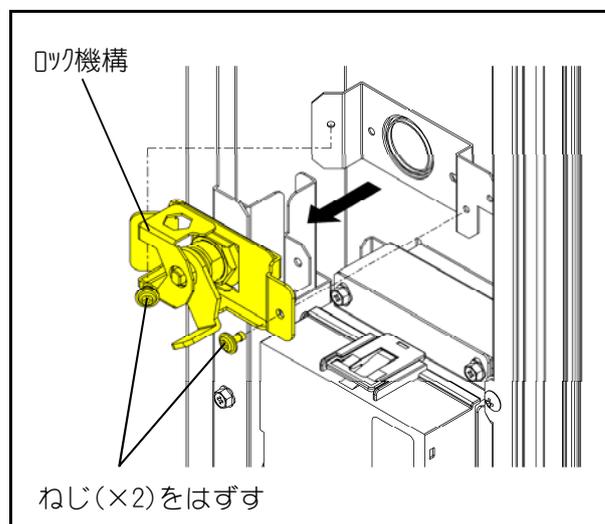
- ① 右図のように扉ロック部の爪を起こして閉状態にするとアームが下がります。



- ② ねじ1本をはずした後、アームを少し上に持ち上げ、右方向に取りはずします。



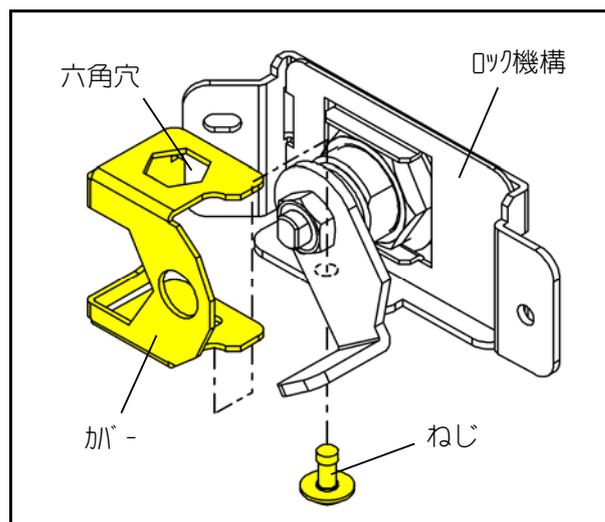
- ③ ねじ2本をはずし、ロック機構を取りはずします。



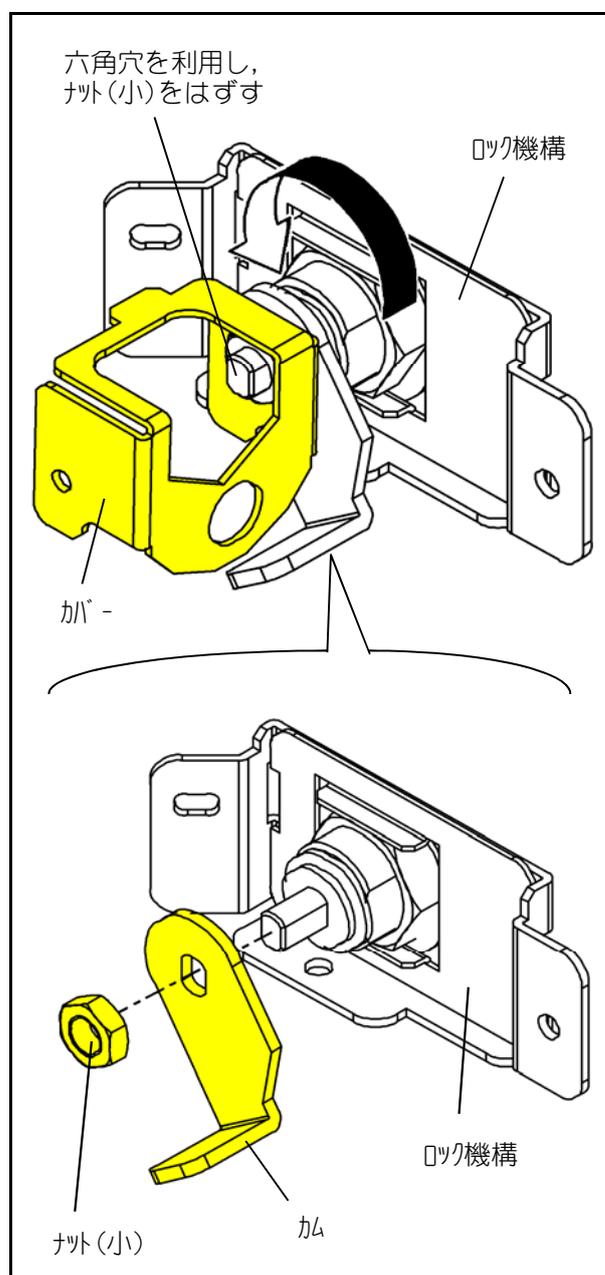
メインドアロックの交換

(1) ロック機構の交換(つづき)

- ④ 取付金下部のねじ 1 本をはずし、カバーを取りはずします。



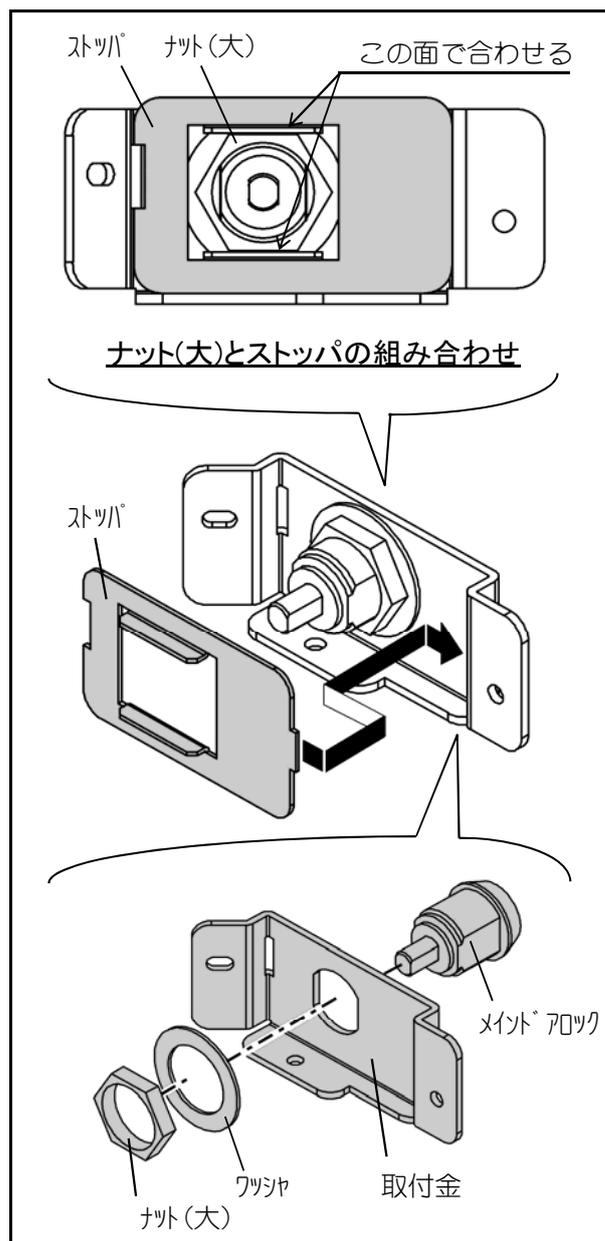
- ⑤ 右図のようにナット(小)をはずし、カムをメインドアロックより取りはずします。その際、カバー上部の六角穴を利用してナット(小)を取りはずしてください。



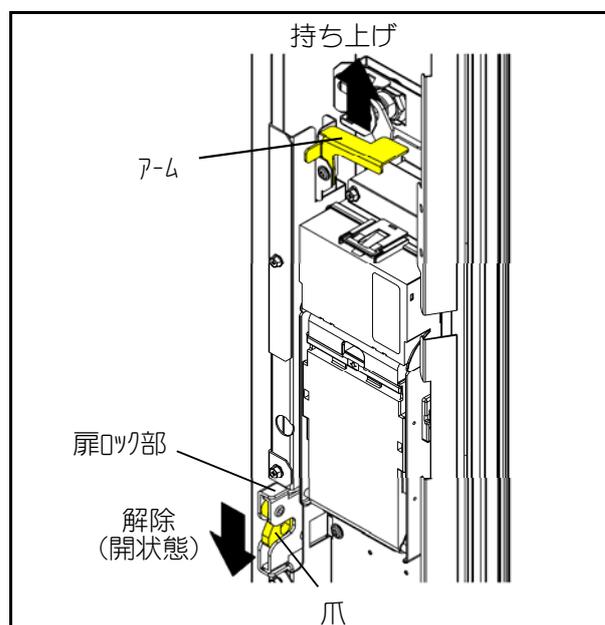
メインドアロックの交換

(1) ロック機構の交換(つづき)

- ⑥ ストップパをはずし、ナット(大)を取りはずすとメインドアロックと取付金、ワッシャがはずれます。(ナット(大)は手でゆるめることができます)
- ⑦ ご用意いただいたメインドアロックと交換し、②～⑥の逆手順でロック機構を組立て取付けます。その際、ストップパ角穴の内面にナット(大)の上下面が合うように少し緩めて位置合わせした状態で、ストップパの爪を取付金の角穴に差し込み取付けます。

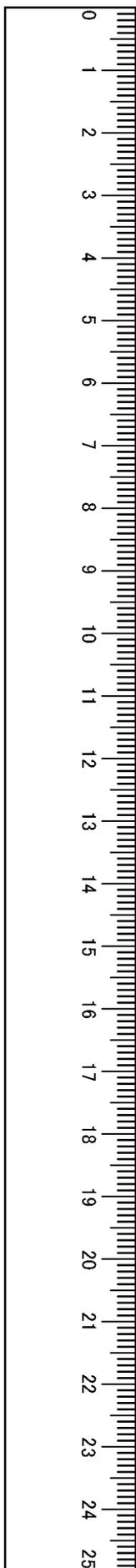
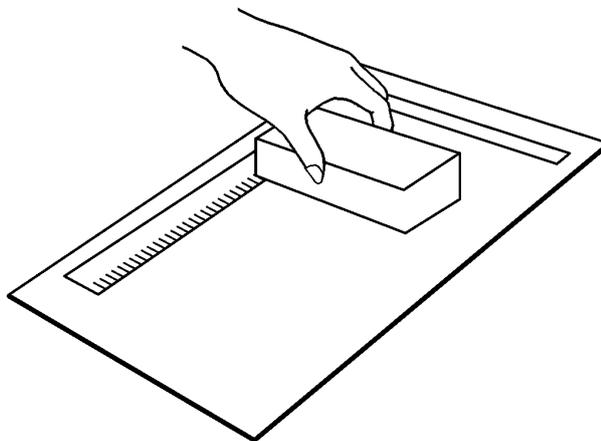


- ⑧ アームを手で持ちあげてください。扉ロック部が解除(開状態)になります。



販売商品サイズの確認

販売商品のサイズによって、ラック棚部の仕切板の位置やスパイラル等の設定変更が必要な場合があります。
販売商品のサイズがわからない場合は、左のものさしに商品をあてがってサイズをご確認ください。



ラック棚の引き出し方法

(1)ラック棚の引き出し

- ① 外扉を90°以上開きます。

[!] スパイラルを持ってラック棚を引き出すことは、おやめください。

[!] ラック棚をセットする時は手で持って静かに押してください。勢いをつけて押すとラック棚が破損する恐れがあります。

仕様により3パターンのラック棚があります。

A.1～2段目：下部にレバーが無い棚

- ② ラック棚の前面下部を両手で持ち、前方を少し持ち上げながらラック棚全体を手前に引き出します。
- ③ 上1～2段目は、ラック棚を一番手前まで引き出すと斜めに傾きます。最後まで手を離さず、ゆっくりと引き出してください。

[!] 急激に引き出すと破損する恐れがあります。

[!] 3～4段目にはレバー有りの棚の取付けがオプション対応で可能ですが、1～2段目には取付けることはできません。

B.3～4段目：下部にレバーが無い棚

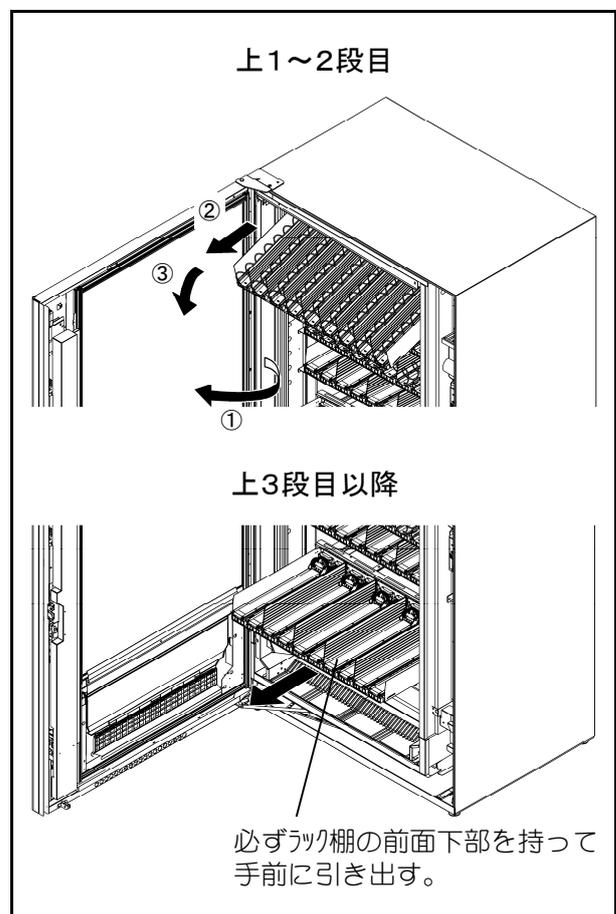
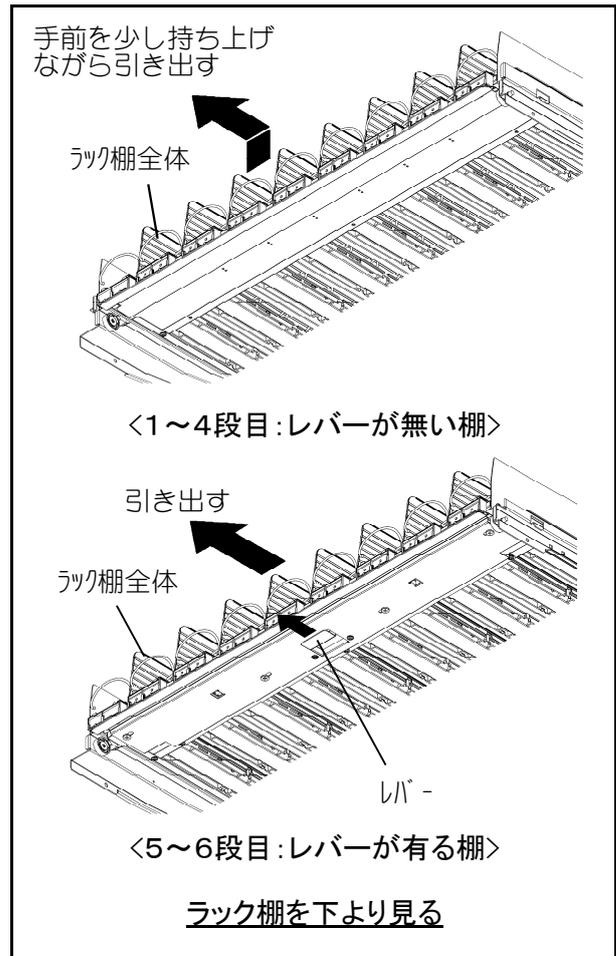
- ④ ラック棚の前面下部を両手で持ち、前方を少し持ち上げながらラック棚全体を手前に引き出します。

C.5～6段目：下部にレバーが有る棚(水平出し)

- ⑤ ラック棚下部中央のレバーを手前にスライドさせたままラック棚全体を手前に引き出します。レバーをスライドさせることでロックがはずれます。

[!] ラック棚を収納する際はロックが掛かる位置まで確実にラックを押し込んでください

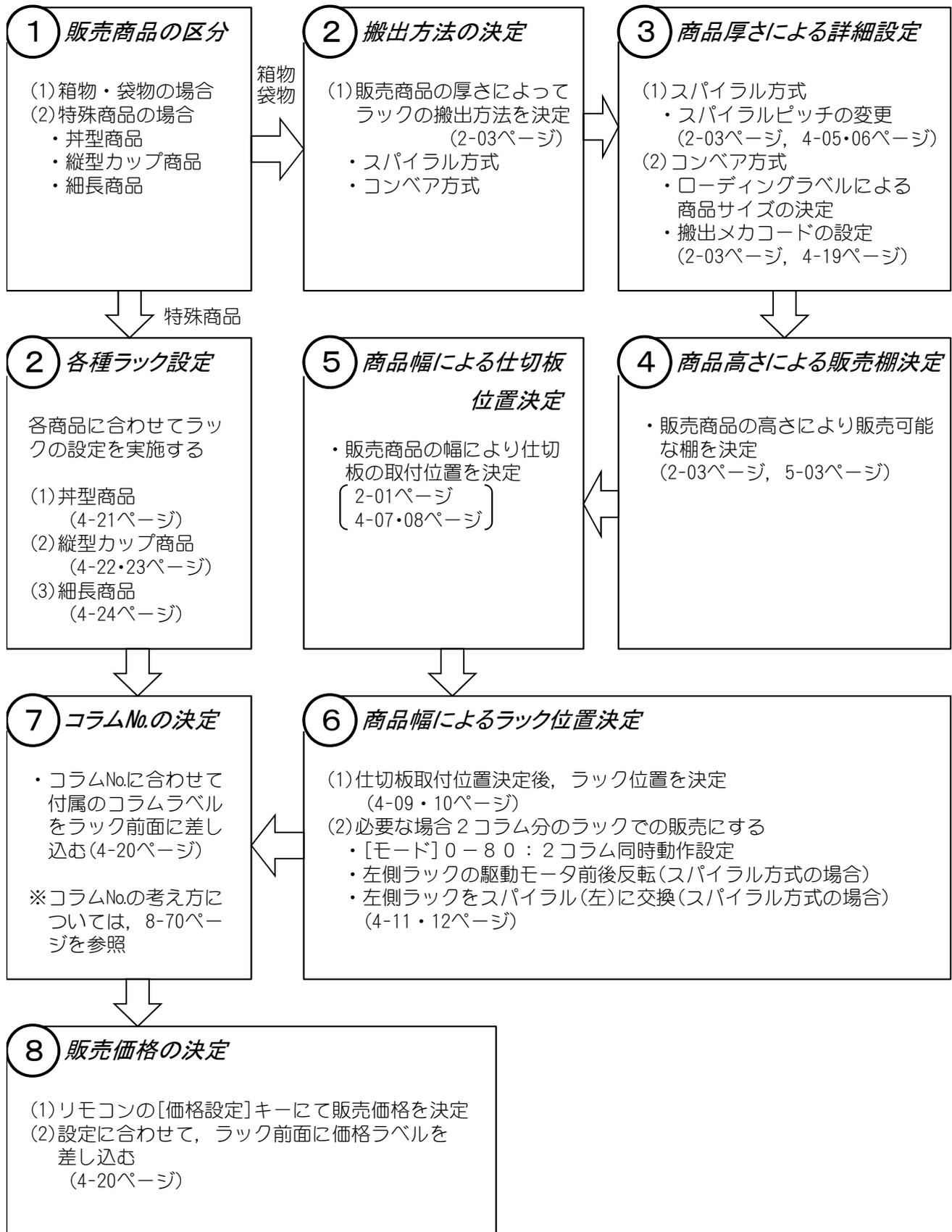
[!] ラック棚を収納する際は、静かに押し込んでください。ラック棚上の商品がずれると販売トラブルの原因となります。



各種ラック設定

本機は、販売商品に合わせてラック設定を行う必要があります。
次の手順でラック設定を行ってください。

(1)ラック設定の順序

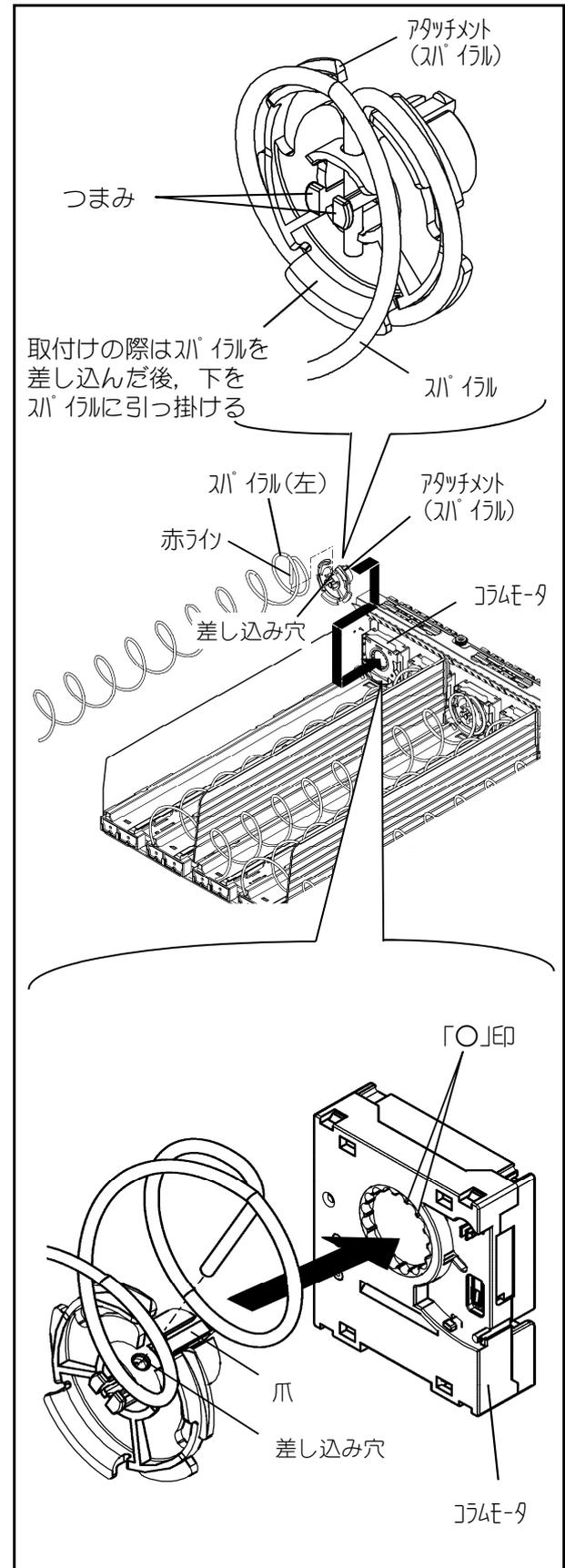


各種ラック設定

(2)スパイラルの変更

販売商品によりピッチの異なるスパイラルに変更する必要があります。

- ① アタッチメント(スパイラル)の中央のつまみを持ちながらスパイラルごと手前に取りはずします。
- ② アタッチメント(スパイラル)の下をスパイラルからはずし、上に引き抜きます。
- ③ 同じように代りのスパイラルの後先端をアタッチメント(スパイラル)の差し込み穴に挿入した後、下をスパイラルに引っ掛けます。
- ④ アタッチメント(スパイラル)の上部の爪(スパイラル差し込み穴側)がコラムモータのギアの2つ有る「○」印の間に入るようにして奥一杯まで押し込みます。
スパイラル先端は中心より下斜め45°の位置になります。
〔商品ガイド部の凸部の上方にスパイラル先端〕が来ます



各種ラック設定

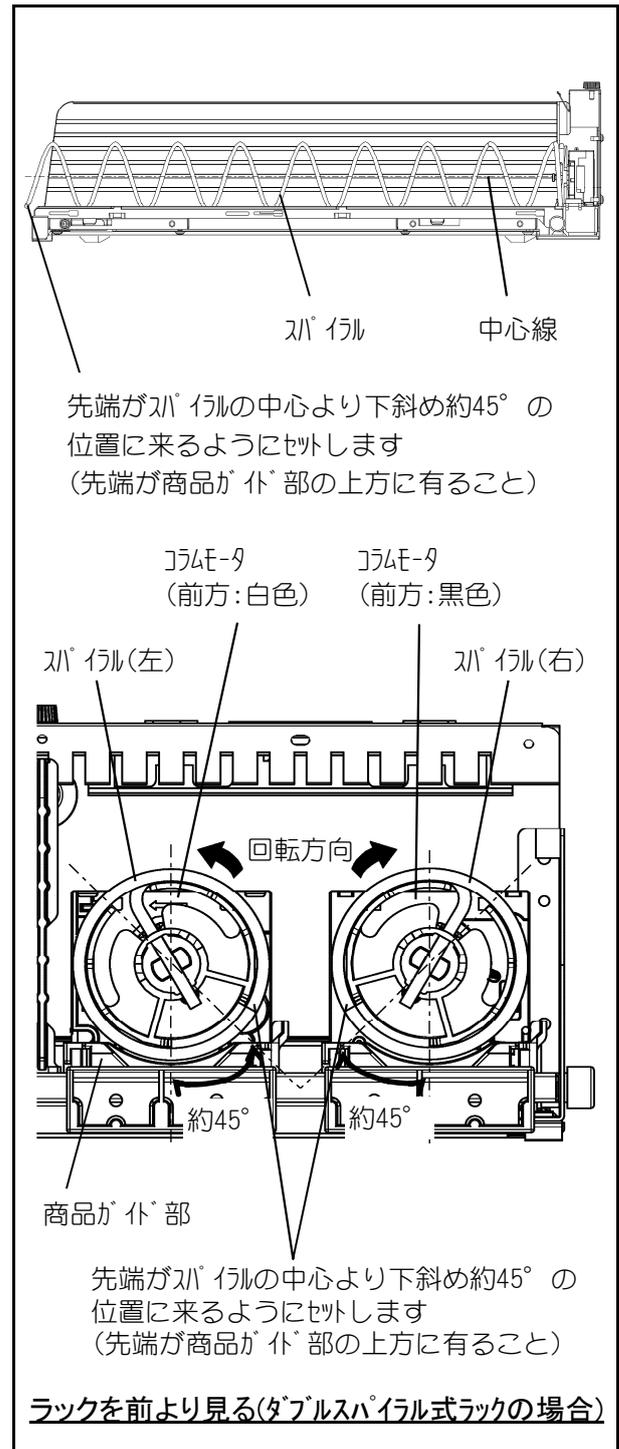
(2)スパイラルの変更(つづき)

[!] スパイラルの先端が中心より上にあると、商品がラック先端からはみ出して、販売トラブルの原因になります。

◇ スパイラルの種別については下表を参考にしてください。

ダブルスパイラル式ラック	取付位置	スパイラルの径	色	本数	コラムモータ
右側		30mm	黒	4本	黒色側前方
		45mm		1本	
		56mm		2本	
		87mm		3本	
左側		30mm	赤	4本	「→」印側 (白色側前方)
		45mm		1本	
		56mm		2本	
		87mm		3本	

[!] 出荷時のシングルスパイラル式ラックには、右側用のスパイラルが取り付けられています。左側用スパイラルを使用してシングルスパイラル式ラックにする場合は、コラムモータに「←」印が有る側(白色)を前にして使用ください。



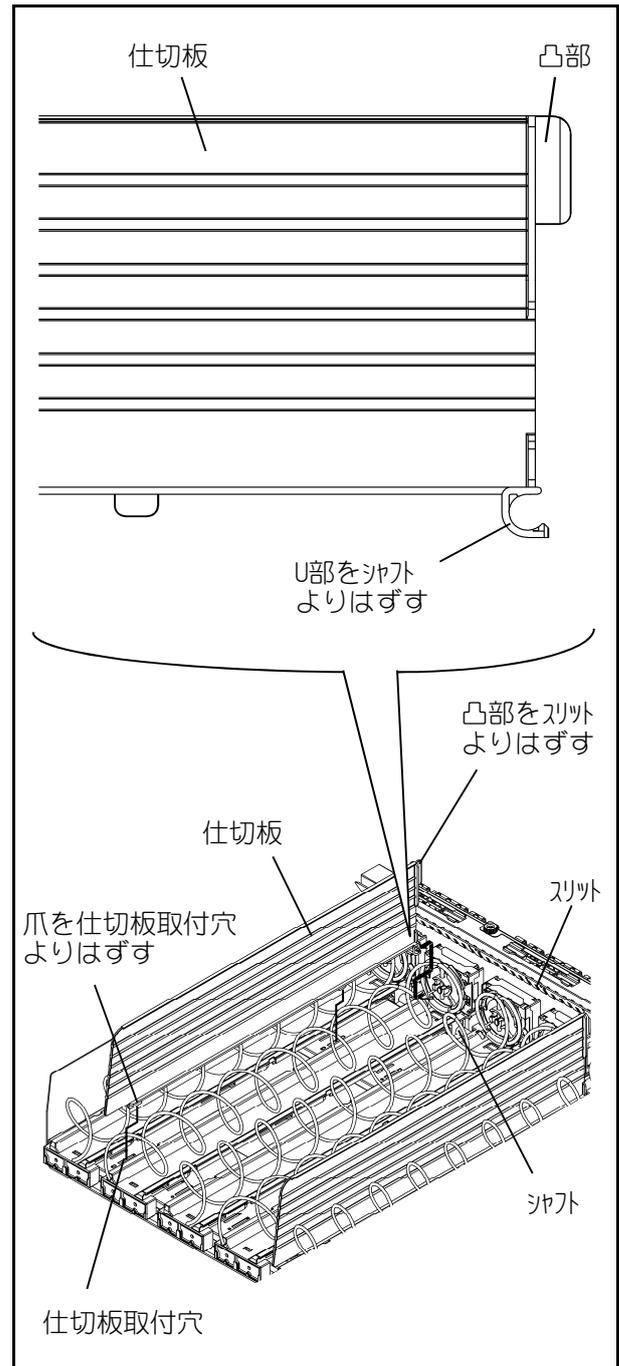
各種ラック設定

(3)仕切板の位置変更

販売商品の大きさにより仕切板の取付位置を変更する必要があります。

- ① 仕切板を手前に引っ張ります。
 - ・凸部がスリットからはずれます。
 - ・U部がシャフトからはずれます。
 - ・爪が仕切板取付穴からはずれます。
- ② 仕切板を上を持ち上げ、取りはずします。
- ③ 変更する取付位置の仕切板取付穴に仕切板手前側の爪を差し込み、奥に移動させます。仕切板の奥側の凸部をラック後ろのスリットに差し込みます。また、U部をシャフトに差し込みます。

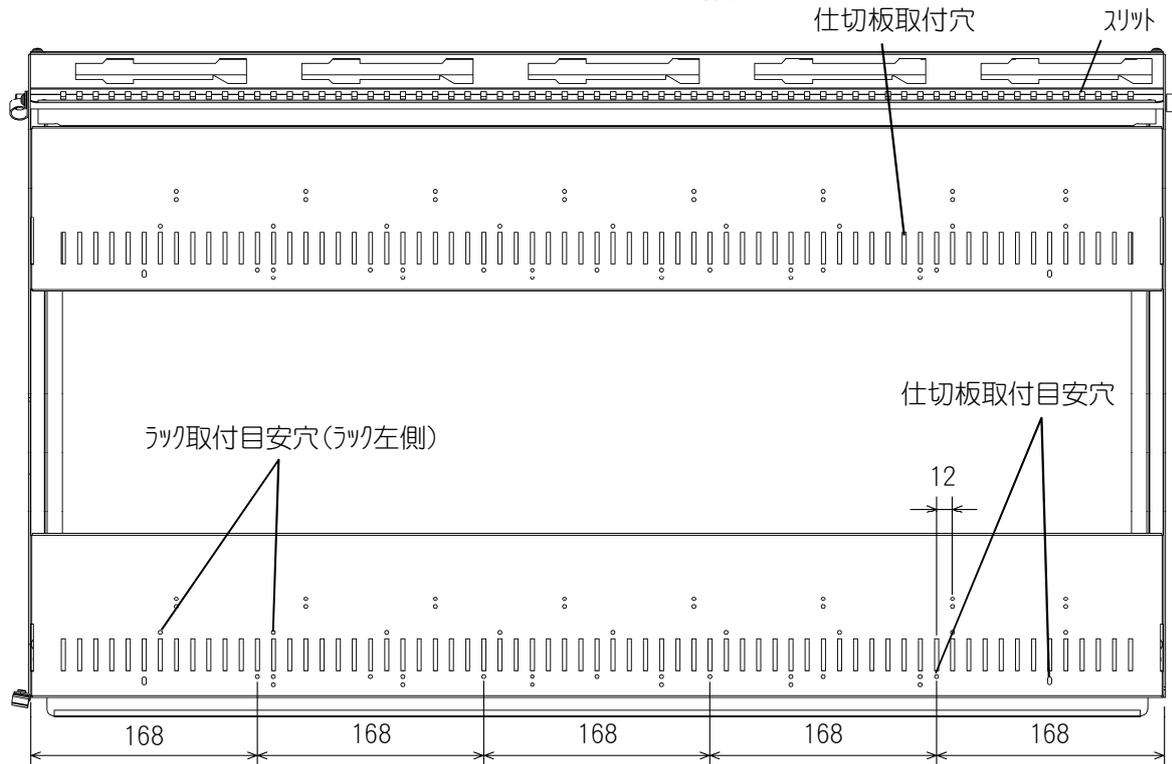
※ 仕切板の取付位置については、次ページの図の仕切板取付目安穴を目安にして取付けます。



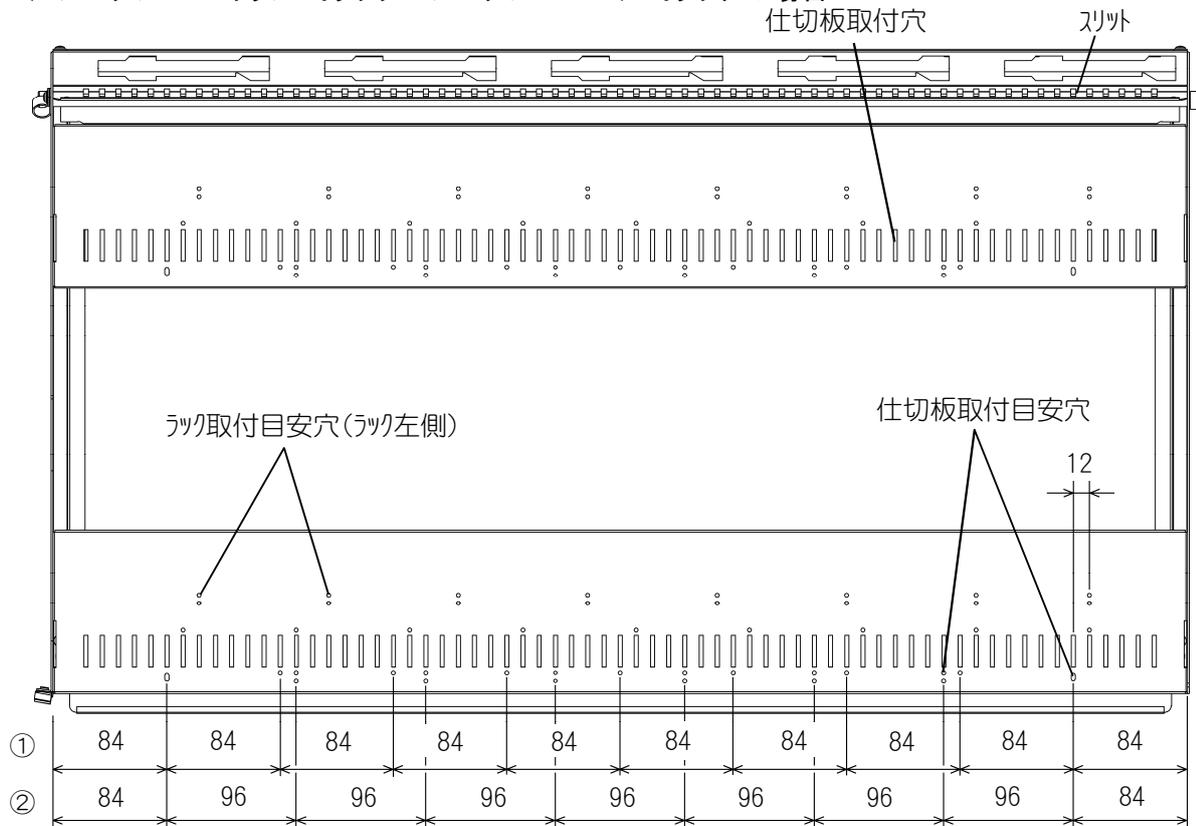
各種ラック設定

(3)仕切板の位置変更(つづき)

◆ ダブルスパイラル式ラック/ダブルコンベア式ラックの場合



◆ シングルスパイラル式ラック/シングルコンベア式ラックの場合



① 10列/棚対応時の仕切板取付寸法(目安穴: □, ○)

② 9列/棚対応時の仕切板取付寸法(目安穴: □, ○)

※スリット及び仕切板取付穴は12mmです。

ラックを上より見る

各種ラック設定

(4)ラック取付位置の選択

販売商品の幅により下表のようなラックの構成と取付位置を目安にしてください。

<販売商品幅が115mmまでの場合>

シングルスパイラル式またはシングルコンベア式を選択してください。

<販売商品幅が116～211mmまでの場合>

ダブルスパイラル式またはダブルコンベア式を選択してください。

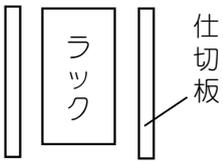
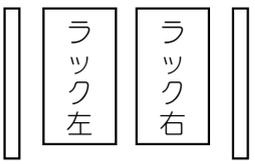
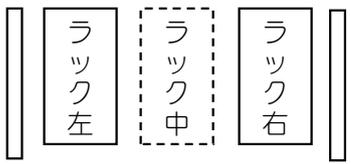
2ラックにて構成され、[モード]0-80:2コラム同時動作設定を行います。

<販売商品幅が212～283mmまでの場合>

ダブルスパイラル式またはダブルコンベア式を選択してください。

3ラックにて構成し、左側ラックと右側ラックにて[モード]0-80:2コラム同時動作設定を行います。

中央のラックはスパイラルまたはコンベアを取りはずします。

[モード]0-80:2 コラム同時動作設定		設定しない	設 定 す る	
ラック1つ飛ばし設定		しない	しない	する
ラック種類				
ラック幅 (mm)	販売商品幅 (mm)	・シングルスパイラル式ラック ・シングルコンベア式ラック	・ダブルスパイラル式ラック ・ダブルコンベア式ラック	
84	~79	○	-	-
96	~91	○	-	-
108	~103	○	-	-
120	~115	○	-	-
132	~127	-	-	-
144	~139	-	-	-
156	~151	-	○	-
168	~163	-	○	-
180	~175	-	○	-
192	~187	-	○	-
204	~199	-	○	-
216	~211	-	○	-
228	~223	-	-	○
240	~235	-	-	○
252	~247	-	-	○
264	~259	-	-	○
276	~271	-	-	○
288	~283	-	-	○

○：設定可能な寸法 -：設定不可の寸法

- ・ラック(左)：スパイラル方式の場合、ラック(右)に対して駆動モータ前後反転(前面：白)、スパイラル(左)を使用。
- ・ラック(中)：スパイラル及びコンベアを取りはずして使用。(ラックの商品ガイド部で販売商品保持)

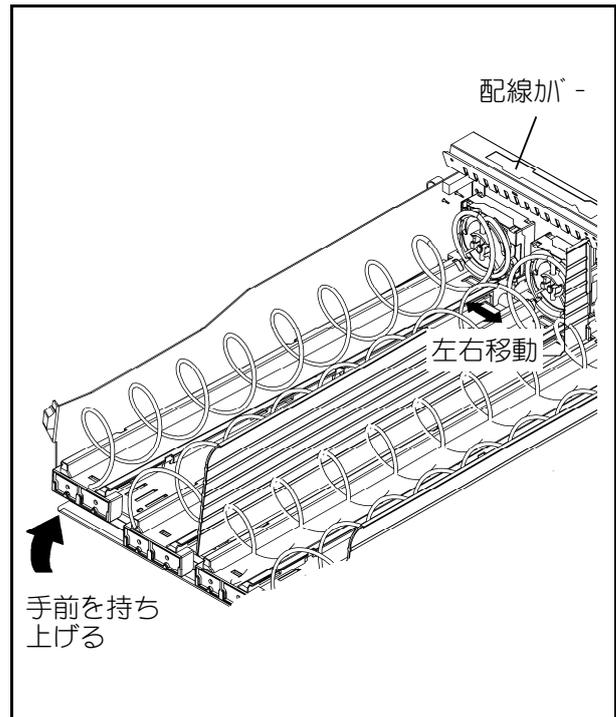
各種ラック設定

(5)ラックの位置変更

販売商品の大きさによる仕切板取付位置の変更に伴い、ラック位置も変更する必要があります。

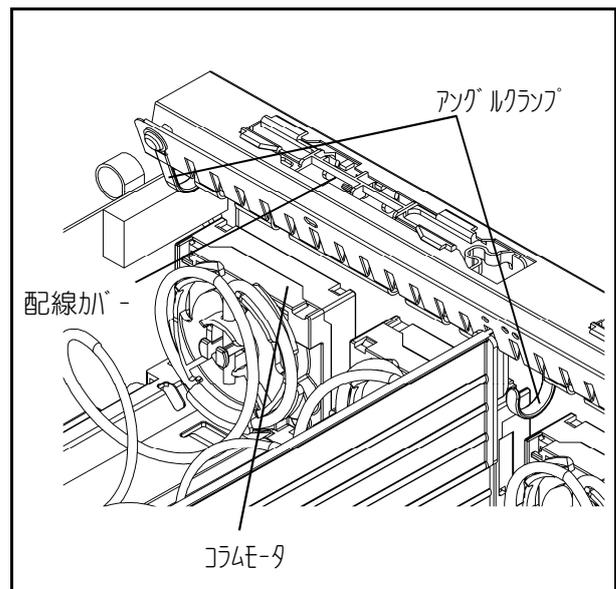
〈ラック位置を移動させる場合〉

- ① ラック棚を手前に引き出します。
- ② ラックの手前を少し持ち上げ、下部の凸部が角穴からはずれた状態で左右にスライドさせ、移動させます。
- ③ ラックの新たな取付位置が決定したら下部の凸部を角穴にセットします。
- ④ 必要に応じてコラムモータへの配線を配線カバーにてまとめます。



〈ラック位置変更に伴う配線処理〉

ラック位置の変更やコラムモータの取りはずしの際には、コラムモータのカプラをラック棚後方の配線カバー内に収めてください。また、残りの配線はアングルクランプにてきれいにまとめてください。

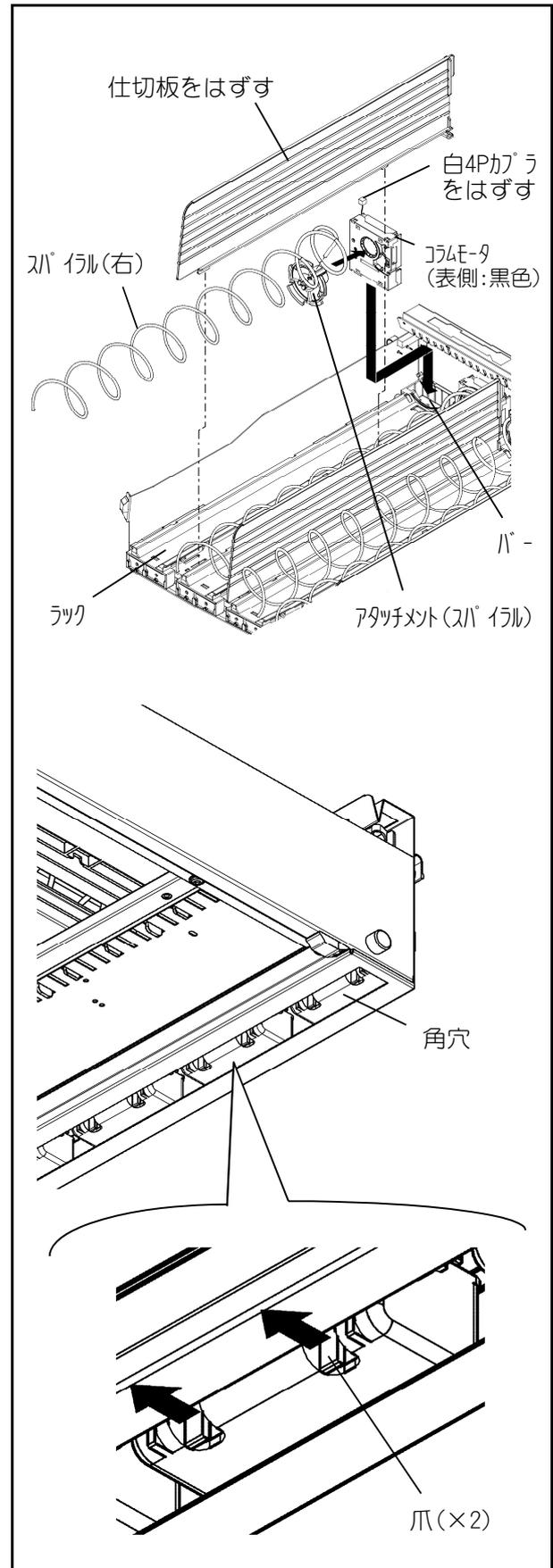


各種ラック設定

(6)ダブルスパイラル式ラックへの変更

シングルスパイラル式ラックからダブルスパイラル式ラックへの変更の際は、次の手順で行います。

- ① ダブルスパイラル式ラックにする箇所中央にある仕切板を取りはずします。
- ② アタッチメント(スパイラル)のつまみを持ちながら左側のラックのスパイラルごと手前に取りはずします。
- ③ アタッチメント(スパイラル)の下をスパイラル(右)からはずし、上に引き抜きます。
- ④ ラック棚を引き出し、裏側奥の角穴より見えるラックの爪2箇所を手前に押しつけてコラムモータを取りはずします。
- ⑤ ラック位置の変更が必要な場合には、左右にスライドさせ移動させます。



各種ラック設定

(6)ダブルスパイラル式ラックへの変更(つづき)

- ⑥ コラムモータの前後をひっくり返してラックに取付けます。
〔コラムモータの「←」印がある側(白色)を前にする〕
- ⑦ スパイラル(左)の後先端を先程はずしたアタッチメント(スパイラル)の差し込み穴に挿入した後、下をスパイラルに引っ掛けます。
- ⑧ アタッチメント(スパイラル)の上部の爪(スパイラル差し込み穴側)がコラムモータのギアの2つ有る「○」印の間に入るようにして奥一杯まで押し込みます。
スパイラル先端は中心より下斜め45°の位置になります。
- ⑨ 1つ飛ばしで設定する際は、中央のラックのスパイラル及びアタッチメント(スパイラル)を取りはずしてください。
- ⑩ リモコンの[モード]0-80:2コラム同時動作設定で左側のラックNo.と右側のラックNo.を同一Grに設定します。
コラムNo.は左側のラックNo.が有効になります。

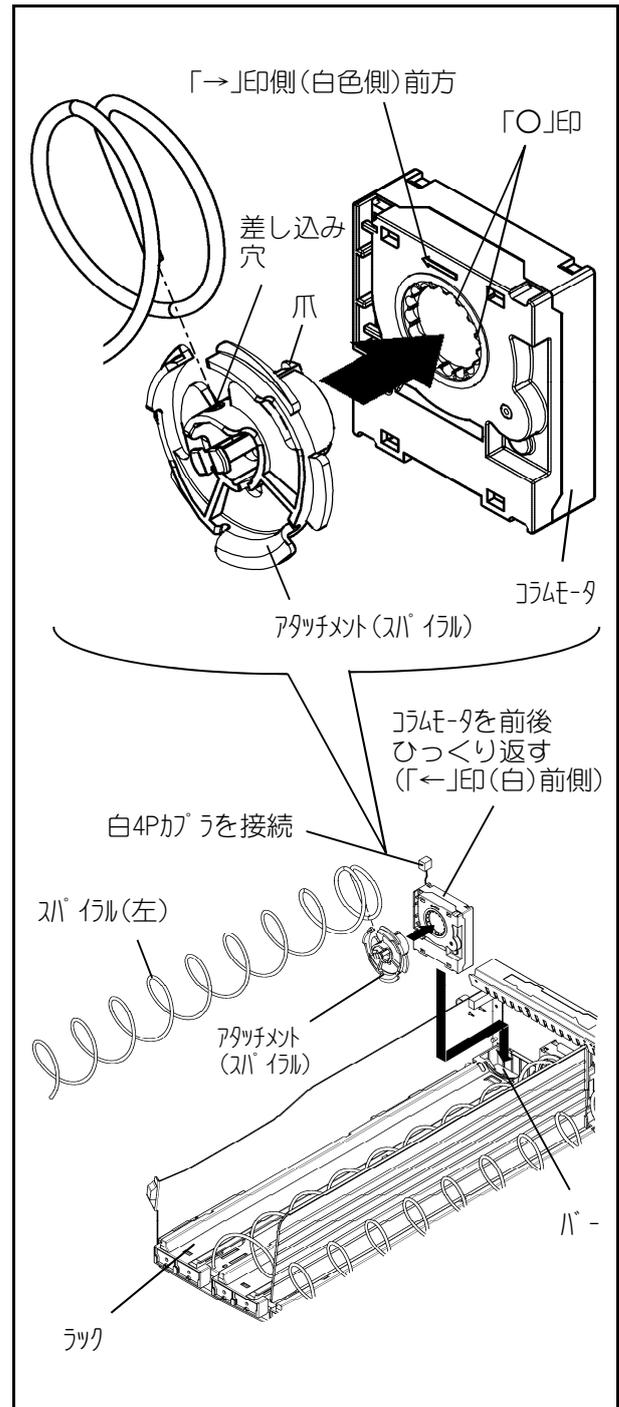
[!] 使用するスパイラルは左右とも同一ピッチのものを使用してください。

(7)シングルスパイラル式ラックへの変更

- ◇ ダブルスパイラル式ラックからシングルスパイラル式ラックに変更する場合

4-11・12ページの手順と逆手順を行い、[モード]0-80でGrを解除しても可能ですが、現状のままラック間に仕切板を取付けた後、[モード]0-80のみ解除しても販売可能です。
但し、スパイラルが逆に回転しますので商品の充てん位置などが左右反転して行う必要があります。

[!] 左側コラム以外は価格が「0」設定になりますので、再度設定してください。

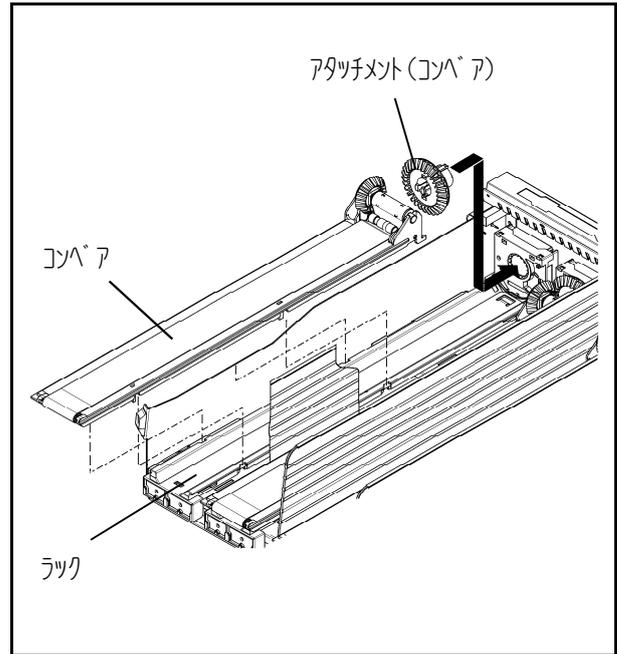


各種ラック設定

(8) シングルコンベア式ラックへの変更

シングルスパイラル式ラックからシングルコンベア式ラックへの変更の際は、次の手順で行います。

- ① アタッチメント(スパイラル)のつまみを持ってスパイラルごと手前に取りはずします。
- ② ラック位置の変更が必要な場合には、左右にスライドさせ移動させます。
- ③ コラムモータの黒色が表側になっているのを確認します。
白色が表側の場合は、前後ひっくり返して取付けます。
- ④ コラムモータにアタッチメント(コンベア)を奥一杯まで押し込みます。
- ⑤ 右図のようにコンベアをラック上に取付けます。
- ⑥ 販売する商品サイズに合わせてリモコンの[モード] 3-03にて、搬出メカコード(12~14, 16)を設定します。(詳細は4-19ページ参照)



(9) ダブルコンベア式ラックへの変更

シングルスパイラル式ラックからダブルコンベア式ラックへの変更の際は、上記(8)の設定以外に次の手順を行います。

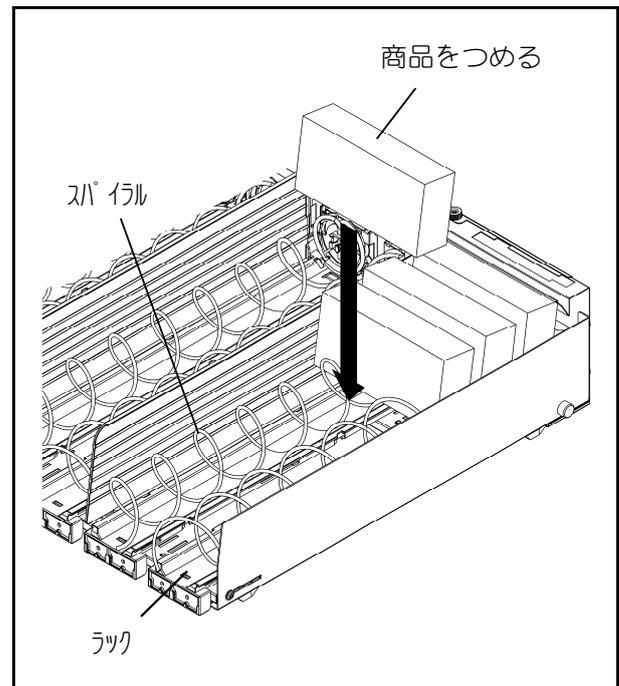
- ① ダブルスパイラル式ラックにする箇所中央にある仕切板を取りはずします。
- ② リモコンの[モード] 0-80: 2コラム同時動作設定で左側のラックNo.と右側のラックNo.を同一Grに設定します。
コラムNo.は左側のラックNo.が有効になります。

商品の充てん方法

(1) ラックへの商品の充てん

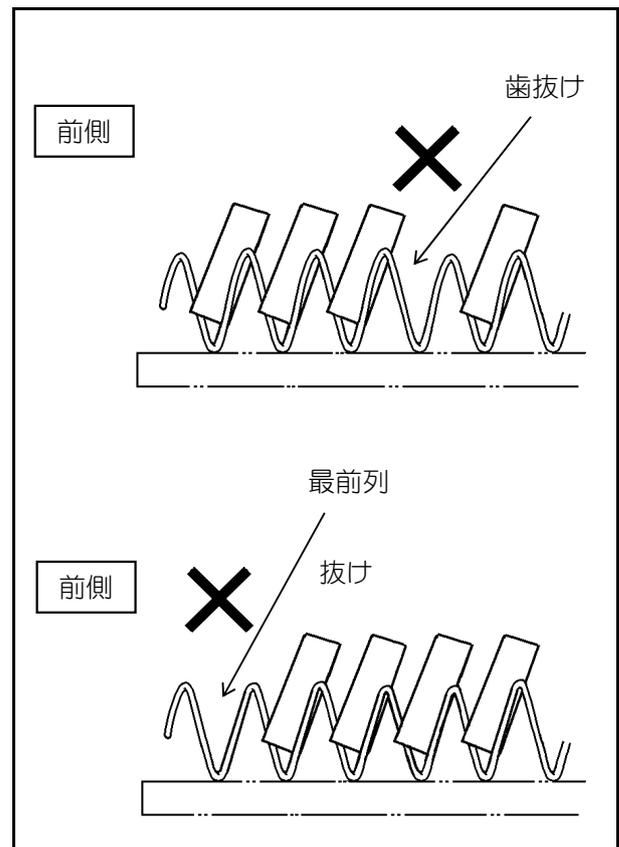
ダブルスパイラル式ラック
シングルスパイラル式ラック

- ① 選択ボタンに対応した商品をラックに充てんします。



- ② 商品は奥側から順に歯抜けや最前列が抜けないように収納してください。

[!] 歯抜けで收容すると、売切れになります。



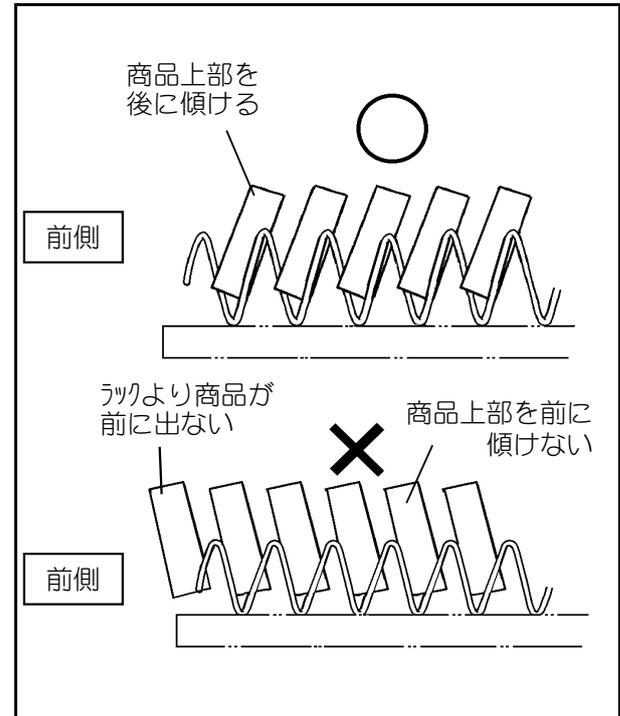
商品の充てん方法

(1)ラックへの商品の充てん(つづき)

ダブルスパイラル式ラック
シングルスパイラル式ラック

- ③ 井型商品を除く全ての商品は、右図のように商品の上部を後に傾けるように収納してください。
- ④ 商品がラックより前に出ないように収納してください。

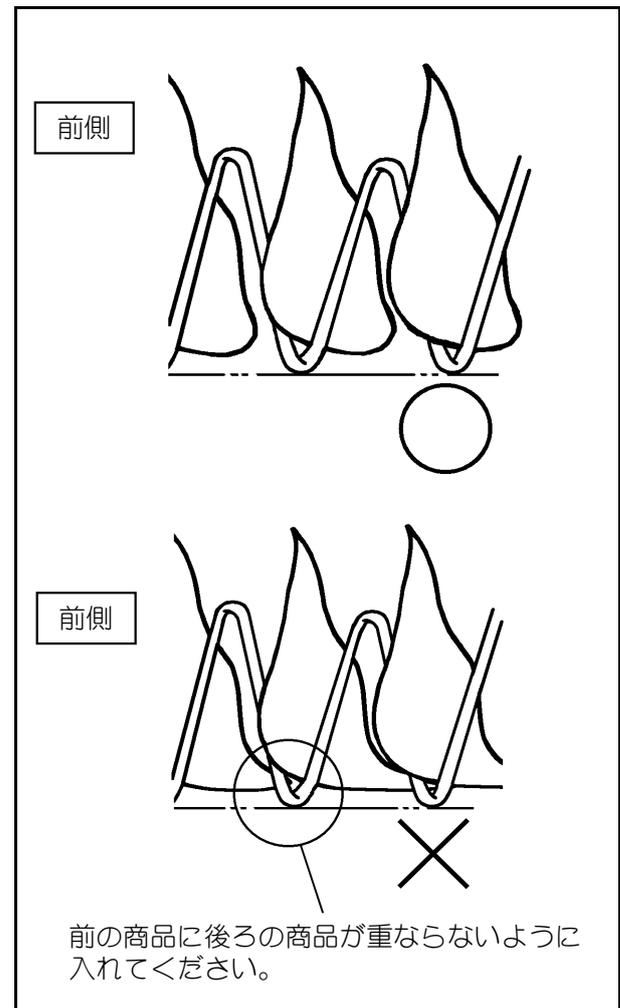
[!] ラックより商品が前に出ますと搬送機構の動作トラブルの原因となります。



- ⑤ 袋に入った商品を充てんするときには、前の商品に後ろの商品が重ならないように充てんしてください。

[!] 袋同士が重なっていると商品の2個落ちなどの販売トラブルの原因になります。

- ⑥ 隣のラックの商品同士がぶつからないように充てんしてください。



商品の充てん方法

(1)ラックへの商品の充てん(つづき)

ダブルスパイラル式ラック
シングルスパイラル式ラック

- ⑦ 商品によっては袋のとじ代やしわがスパイラルに引っかかるものがあります。とじ代やしわがスパイラルにからまないように注意して充てんするようにしてください。

[!] とじ代やしわがスパイラルに引っかかっていると、商品の2個落ちなどの販売トラブルの原因になります。

- ⑧ ラック幅より大きい商品は、充てんしないでください。

[!] ラック幅より大きい商品は、販売トラブルの原因となります。

- ⑨ 袋に引っ掛け穴がある場合はスパイラルに引っ掛かるのを防止するため、袋を折りたたみテープで固定してください。

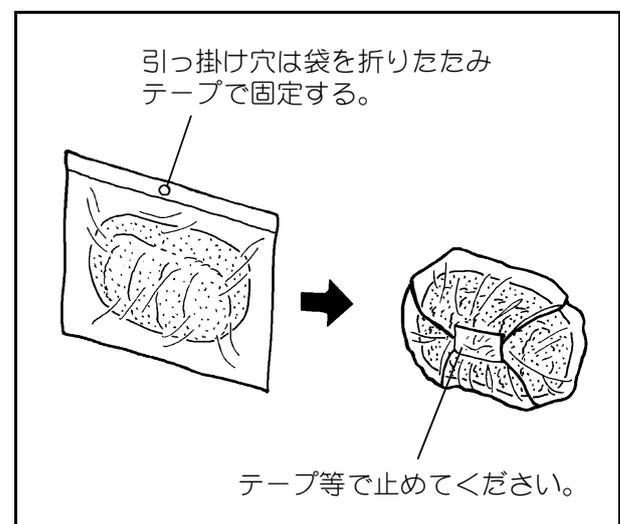
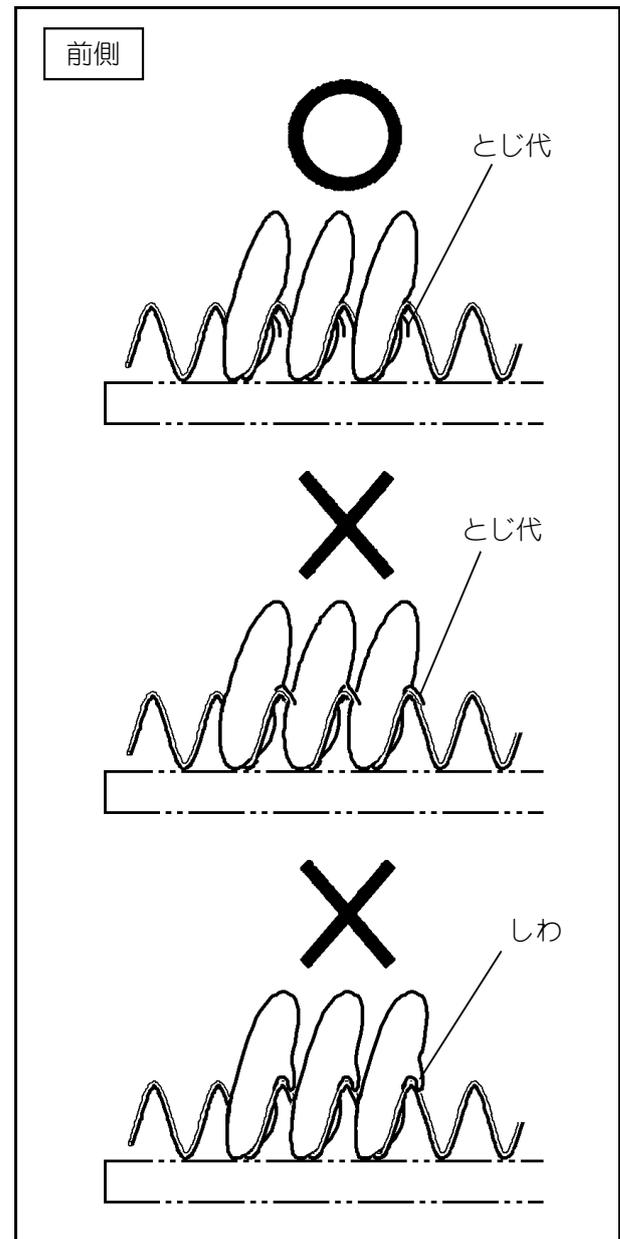
- ⑩ 中身に比べて袋が極端に大きい場合は、袋の余った部分をテープ等で止めてから充てんしてください。

[!] 袋がスパイラルにからみついた場合、商品の2個落ちなどの販売トラブルの原因になります。

- ⑪ 商品とスパイラルの間に5mm程度隙間があることを確認してください。

[!] 商品を無理に詰めると、商品を販売出来ない場合があります。

[!] 著しく露のついた商品は補充しないでください。
販売不具合が生じる場合があります。

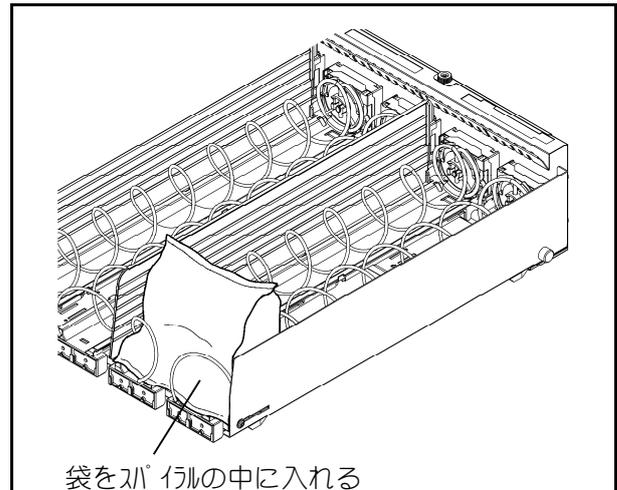


商品の充てん方法

(1) ラックへの商品の充てん(つづき)

ダブルスパイラル式ラック

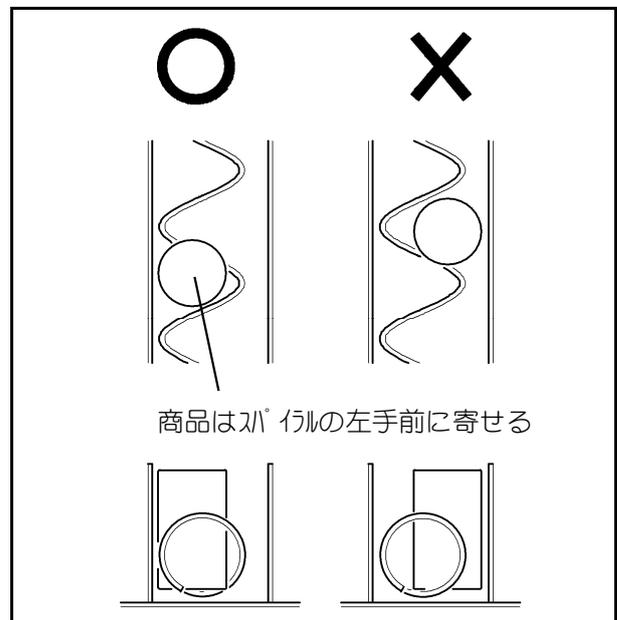
- ⑫ 中身に比べて袋の大きい商品は袋の下部両端をスパイラルの中に入れて充てんしてください。



シングルスパイラル式ラック

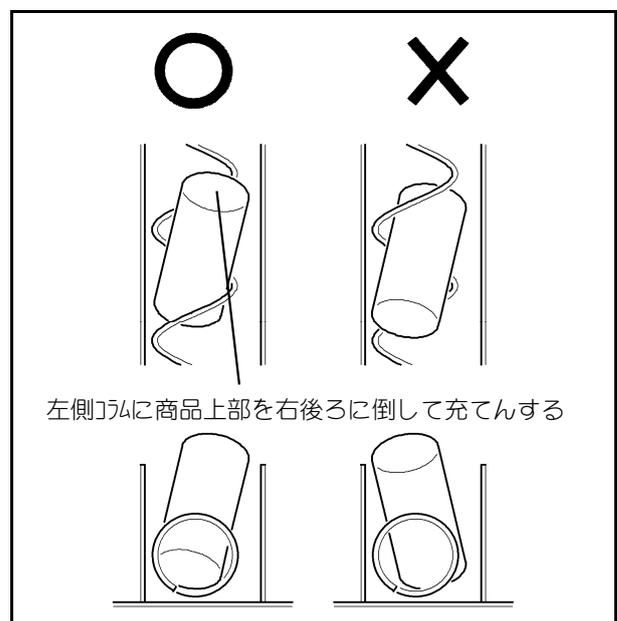
- ⑬ 円筒容器商品で背の低いもの(直径55mm以下で安定して直立するもの)はスパイラルの左手前に寄せて充てんしてください。

[!] スパイラルの左奥に寄せて充てんすると、ラック内で商品が転倒して正常に販売できません。



- ⑭ 円筒容器(背の高いもの)商品は左側コラムで商品上部を右後ろに倒して充てんしてください。

[!] 商品上部が手前に倒して充てんしたり、右側コラムに充てんすると販売トラブルの原因となります。



- ⑮ 背の高い商品は確実に後ろに傾けて充てんし、テスト販売を行って前に倒れてこないことを確認してください。

[!] 最前列の商品が前に倒れてラック前端より前に出ますと搬送機構の動作トラブルや販売トラブルの原因となります。

商品の充てん方法

(1)ラックへの商品の充てん(つづき)

シングルスパイラル式ラック

- ⑯ 薄い商品を標準幅の右側コラムで販売する場合は、スパイラルと仕切板の隙間から商品がすり抜けないことを確認してください。
すり抜けてしまう場合は、左側コラムで販売してください。

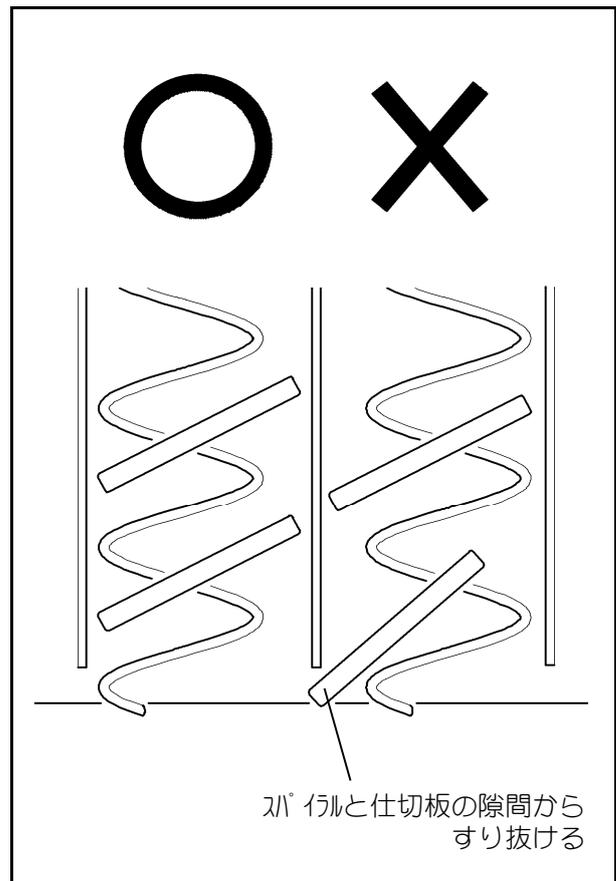
[!] 薄い商品を左側コラムで販売すると、商品がスパイラルと仕切板の隙間からすり抜けて2個落ちなどの販売トラブルの原因になります。

- ⑰ 商品とスパイラルの間隙がない場合には、左端のコラム以外で販売してください。

[!] 商品がスパイラルに巻き込まれるように左側に傾くため、搬送機構に当たって販売トラブルの原因となります。

- ⑱ 袋の中に小さい中身商品が複数入っている商品は右側コラムで販売してください。

[!] 商品によっては、中身商品の重心バランスが一定でないため、販売できない場合があります。



商品の充てん方法

(1) ラックへの商品の充てん(つづき)

ダブルコンベア式ラックへの商品の充てん シングルコンベア式ラックへの商品の充てん

- 商品の奥行寸法と、コンベア式ラックの両側面にあるローディングラベルの奥行方向に並んでいる線の間隔とを見比べて、間隔が商品寸法に一番近く、かつ、商品寸法よりも大きい列の番号(2~4, 6)を選びます。
- 商品が線と線の間に入るように、商品をコンベアベルトの上に並べてください。
(商品と商品の間は詰めないでください。)
特にラックの最前列の商品はスタートラインより後になるように商品を置いてください。

[!] 商品間はどんな小さな商品でもローディングラベルの「2」の間隔以上詰めないでください。

[!] 商品が線をまたいで並べられた場合、次販売商品がラック先端からはみ出して販売トラブルの原因になります。

[!] 商品同士が重ならないように充てんしてください。重ねて充てんすると商品の2個落ちなどの販売トラブルの原因になります。

[!] 商品より長いはしやストローを取付けた物を販売すると、販売時に折れる場合がありますのでご注意ください。

[!] ローディングラベルの最も奥の番号の縦位置より後には商品を充てんしないでください。販売トラブルの原因になります。

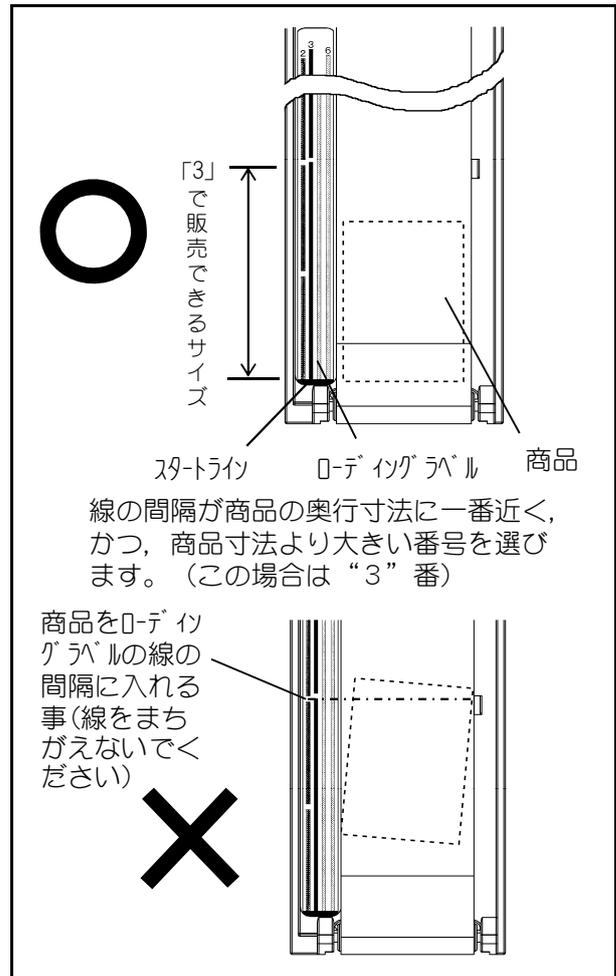
- リモコンの[モード]3-03にて番号(2~4, 6)に対応した搬出メカコード(12~14, 16)に設定してください。

ローディングラベル		奥行寸法(mm)	搬出メカコード*
メカコード番号	色		
2	赤	~ 39	12
3	青	~ 79	13
4	黄	~118	14
6	緑	~180	16

[!] 商品寸法よりも狭い間隔の搬出メカコードを設定して販売した場合、次販売商品がラック先端からはみ出して、販売トラブルの原因になります。

[!] 販売商品の形状により、搬出メカコード、収納数は異なる場合があります。

- ◇ メインドアが開いている状態でテンキーボタンを使って各コラムの価格設定、搬出メカコードならびに賞味期限設定を簡単に確認することができます。



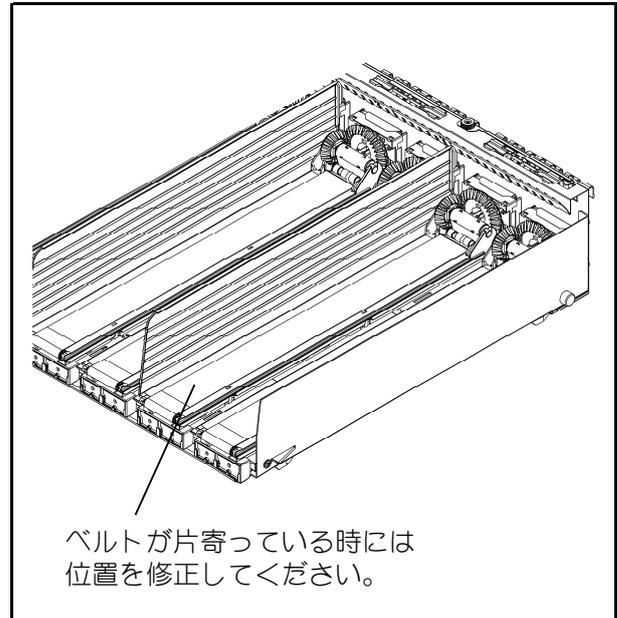
商品の充てん方法

(1)ラックへの商品の充てん(つづき)

ダブルコンベア式ラックへの商品充てん時の注意
 シングルコンベア式ラックへの商品充てん時の注意

- ① コンベアベルトが左右どちらかに片寄っている場合は、ベルトの中央とプーリの中央が一致するようにベルトの位置を修正してください。

[!] ベルトが片寄ったままの状態で使用し続けると販売トラブルの原因になります。



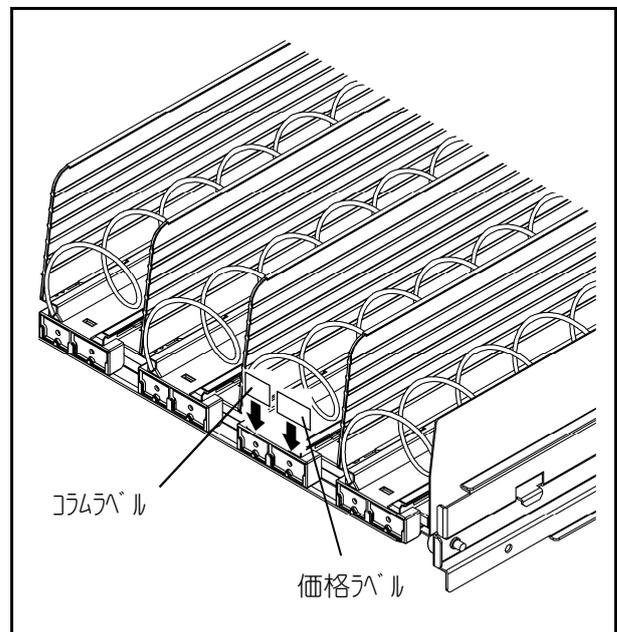
ダブルスパイラル式ラック
 シングルスパイラル式ラック
 ダブルコンベア式ラック
 シングルコンベア式ラック

(2)コラムラベルの差し込み

- ① 付属のコラムラベルを右図のように差し込みます。

(3)価格の変更

- ① リモコンの「価格設定」キーを使って、設定および変更します。
- ② 設定・変更した価格に合わせて各ラックの価格ラベルを差し換えます。



特殊商品のラック設定と商品の充てん方法

(1) 井型商品の販売方法

ダブルスパイラル式ラック

井型商品を販売する場合は、スパイラルピッチや仕切板取付位置の変更以外に左右のスパイラルの取付角度の見直しを行う必要があります。

- ・スパイラルピッチ…… 87mmピッチを使用
(左右共)
 - ・仕切板取付位置……幅156mmに設定
- ① アタッチメント(スパイラル)のつまみを持ってスパイラル(左)(右)ごと手前に引っ張り取りはずします。
 - ② スパイラル(左)(右)(87mmピッチ)に交換し、アタッチメント(スパイラル)ごと180°回転した位置で再度、コラムモータに差し込みます。

[!] スパイラル(右)を180°回転して取付けないと搬送機構トラブルまたは2個落ちなどの販売トラブルの原因となります。

[!] スパイラルの先端が上を向くので他のコラムの商品の搬出時に商品が引っ掛かる恐れがあります。
井型商品は最上段のラックで販売することをお勧めします。

- ③ 井型商品の上部を前に傾けながらうつ伏せにしてラックに充てんします。

[!] ラックより商品が前に出ますと搬送機構の動作トラブルの原因となります。

[!] 商品の大きさによっては取出口から取り出せない場合があります。
取り出せることを確認した上で充てんしてください。

- ④ 商品充てん後、リモコンの[テスト]×1：単品テスト販売にて商品が正しく搬出されるかご確認ください。
もし、正しく搬出されない場合は、次の作業を行って再度テスト販売で確認してください。

<搬出されずラックに商品が残る>

スパイラルを一度はずし、少しだけ下記方向にずらしてから、再度取付ける。

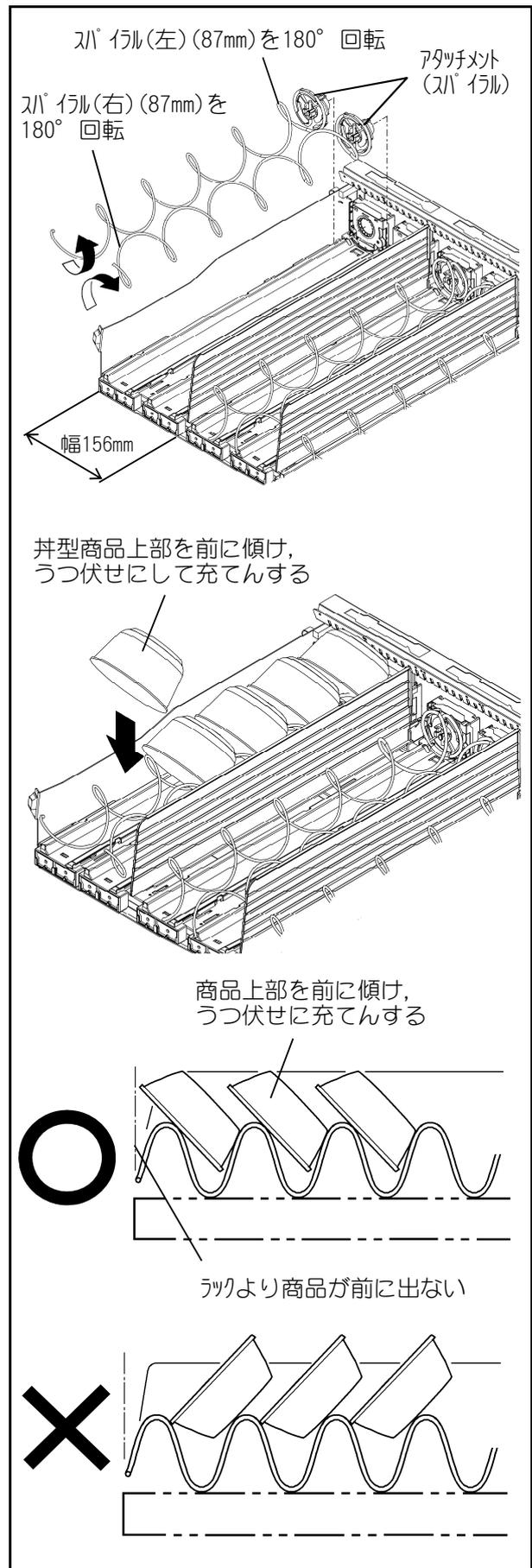
- ・スパイラル(左)：反時計方向にずらす
- ・スパイラル(右)：時計方向にずらす

<商品が2個搬出される>

スパイラルを一度はずし、少しだけ下記方向にずらしてから、再度取付ける。

- ・スパイラル(左)：時計方向にずらす
- ・スパイラル(右)：反時計方向にずらす

[!] 井型商品以外を販売するように戻す際は、必ずスパイラル(左)(右)の取付位置を元の待機位置に戻してください。
販売トラブルの原因となります。



特殊商品のラック設定と商品の充てん方法

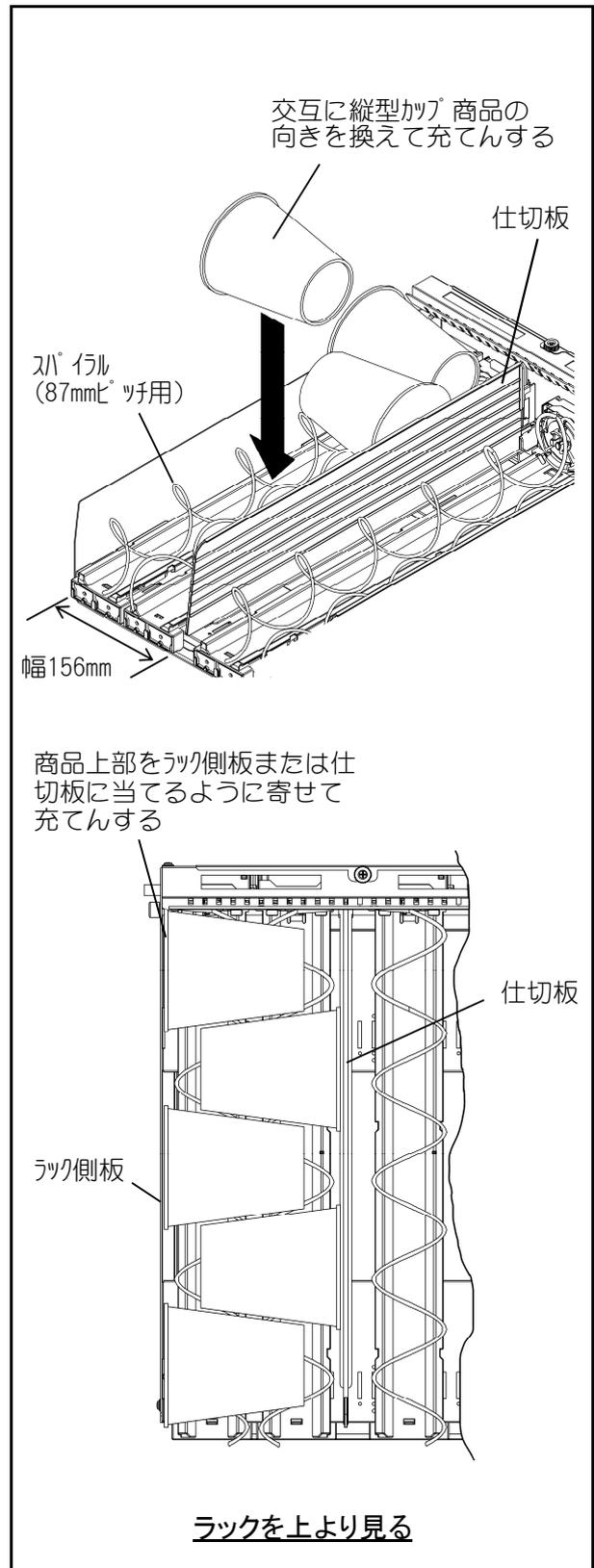
(2)縦型カップ商品の販売方法

ダブルスパイラル式ラック

縦型カップ商品を販売する場合、スパイラルピッチや仕切板取付位置の変更を行う必要があります。

- ・スパイラルピッチ…………… 87mmピッチを使用
- ・仕切板取付位置…………… 幅156mmに設定

- ① 縦型カップ商品をラックに交互に向きを換えて横に寝かして充てんします。
その際、商品上部をラックの側板または仕切板に当てるように寄せて充てんします。



特殊商品のラック設定と商品の充てん方法

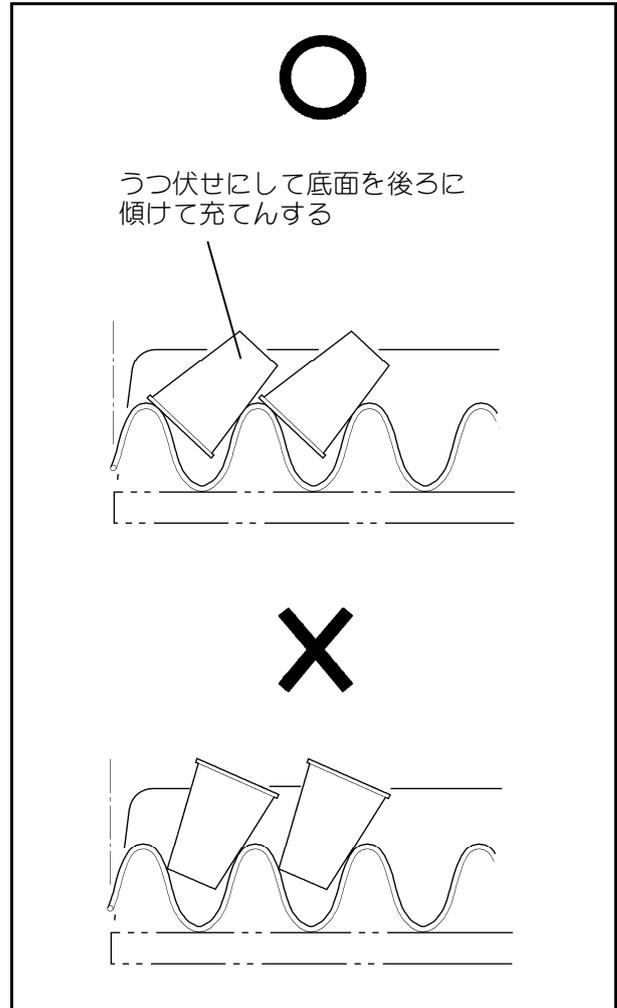
(2)縦型カップ商品の販売方法(つづき)

シングルスパイラル式ラック

縦型カップ商品を販売する場合、スパイラルピッチや仕切板取付位置の変更を行う必要があります。

- ・スパイラルピッチ…………… 8.7mmピッチを使用
- ・仕切板取付位置…………… 幅8.4mmまたは9.6mmに設定

- ① うつ伏せにして底面を後ろに傾けてラックに充てんします。



特殊商品のラック設定と商品の充てん方法

(3)細長商品の販売方法

シングルスパイラル式ラック

細長商品(ガムや筒状商品など)を販売する場合は、仕切板取付位置の変更以外にスパイラル待機位置設定の見直しを行う必要があります。

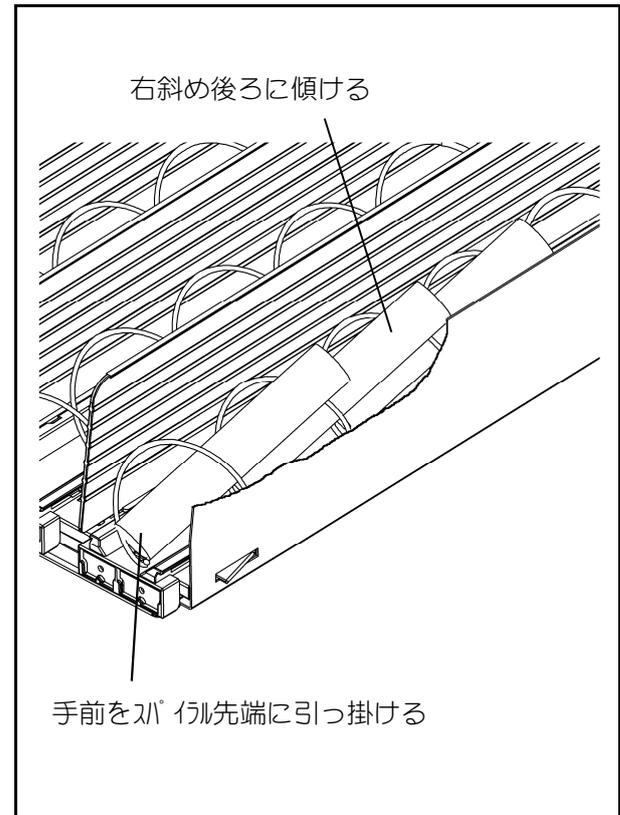
- ・仕切板取付位置……幅84mm

- ① スパイラルをアタッチメント(スパイラル)ごと手前に引っ張り取りはずします。
- ② スパイラル(右)を使用している場合は、反時計回りに90°回転させた位置で再度、コラムモータに差し込みます。
〔スパイラル(左)を使用している場合は時計回りに90°回転させる〕

[!] スパイラルを90°回転させないと搬送機構トラブルまたは2個落ちなどの販売トラブルの原因となります。

- ③ 図のように商品の手前をスパイラル先端部に引っ掛け、右斜め後ろに傾けて充てんします。
- ④ 商品充てん後、リモコンの[テスト]×1：単品テスト販売にて商品が正しく搬出されるか確認してください。
もし、正しく搬出されない場合は、次の作業を行って再度テスト販売で確認してください。

- ・搬出されずラックに商品が残る：スパイラルをはずし、少しだけ時計回りにずらしてから再度取付ける。
- ・商品が2個搬出される：スパイラルをはずし、少しだけ反時計回りにずらしてから再度取付ける。



ヘルスコード機能

ヘルスコード装置は、冷却中に停電や故障により庫内温度が 10°C を越えた場合、安全のため販売を中止するものです。

[!] ヘルスコード機能を有効にした場合、充てんする商品の温度は 10°C 以下の物を充てんしてください。 10°C 以上の物を充てんとすると庫内温度が 10°C を越え、ヘルスコードが働く原因となります。

(1)確認方法

ヘルスコード機能が動作すると、リモコンで設定されたコラムだけが販売中止となります。このときヘルスコード動作中ランプも点灯します。

(2)対処方法

ヘルスコードが動作している場合は、現在の庫内温度が 10°C 以下でも、庫内温度が一度 10°C を越えたと考えられます。

※商品の安全を確認してください。

(3)解除方法

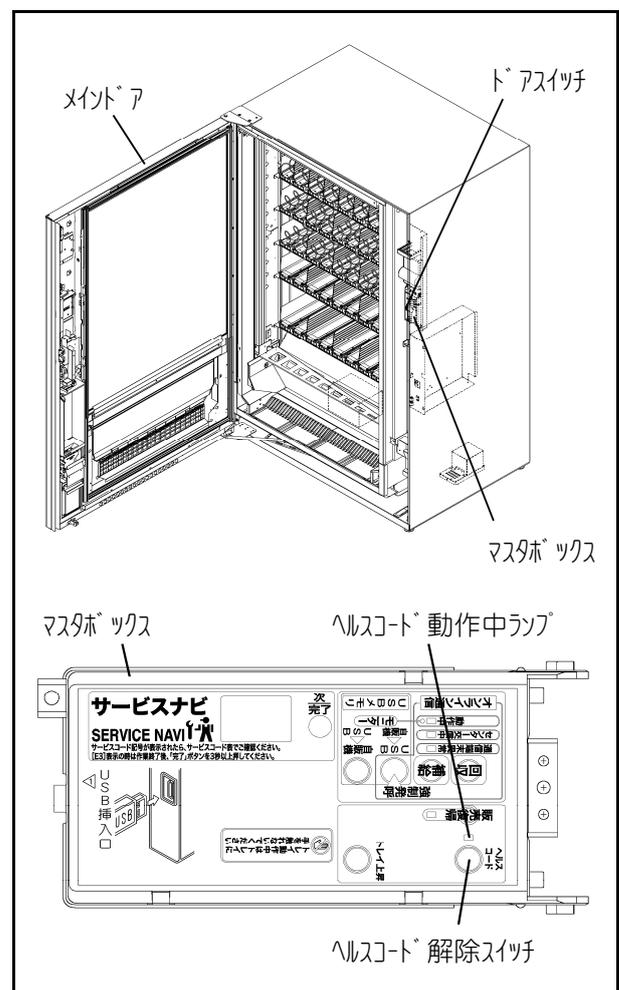
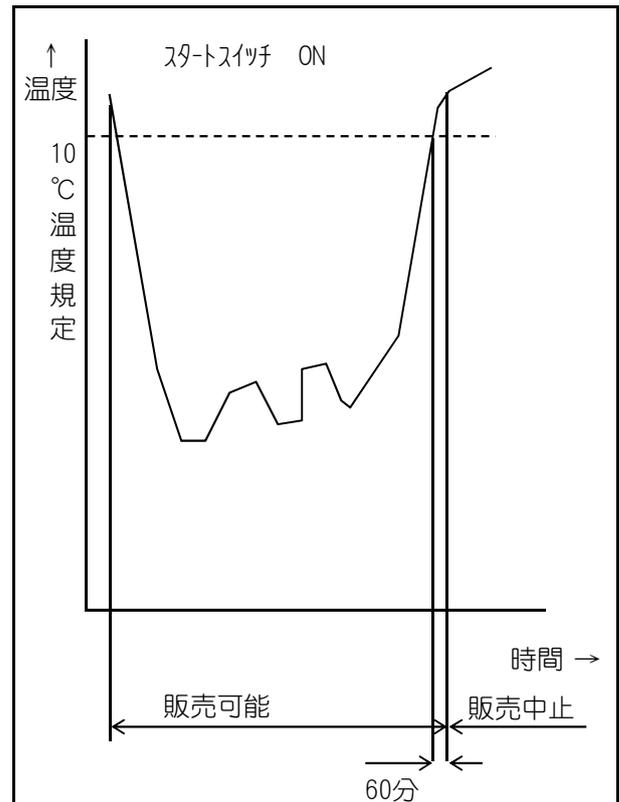
ヘルスコード動作の解除は、メインドアを閉めることによりドアスイッチがONとなり、庫内温度が 10°C を越えていても販売可能となります。このとき、ヘルスコード動作中ランプは消灯し、販売できるようになります。

また、マスタボックスのヘルスコード解除スイッチでも解除することができます。

(4)機能

- ① 庫内温度 10°C を越えて60分を経過した場合に動作します。
- ② 販売商品によってはヘルスコード機能が不要な場合があります。
リモコンによりヘルスコード有効コラムから解除してください。

※ヘルスコード有効コラムの設定はリモコンで行います。



リモコンスイッチの使い方

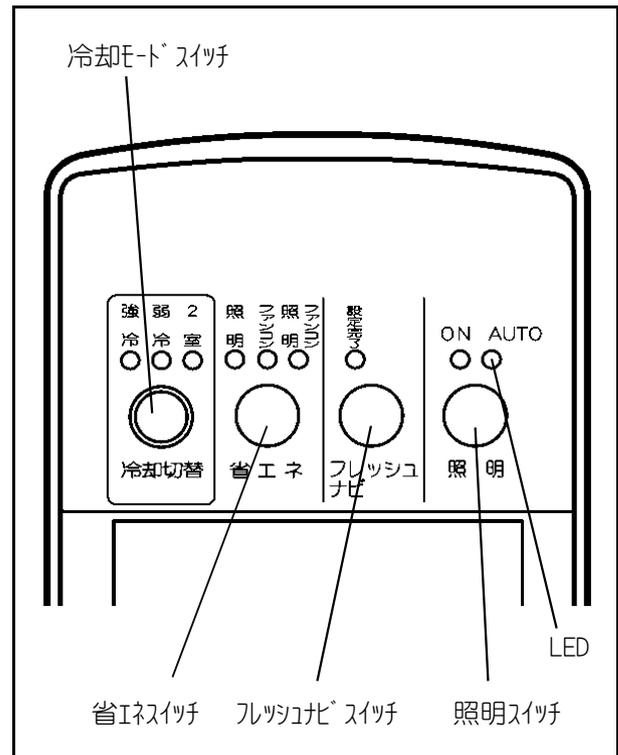
リモコンの各スイッチにはつぎの機能があります。

(1)照明スイッチ

照明スイッチで照明器具の点灯設定を3段階に切替えられます。

- ① LED「ON」点灯…………… 照明は常時点灯します。
- ② LED消灯…………… 照明は常時消灯します。
- ③ LED「AUTO」点灯……… 照明器具自動点滅器（フォトセンサ）と省エネタイマにより自動的に点灯／消灯します。

[!] 照明スイッチを押すとLED表示が下記のように切替わります。

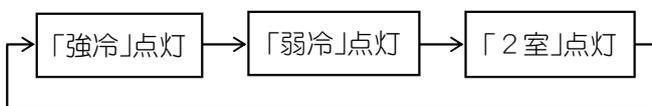


(2)冷却モードスイッチの操作

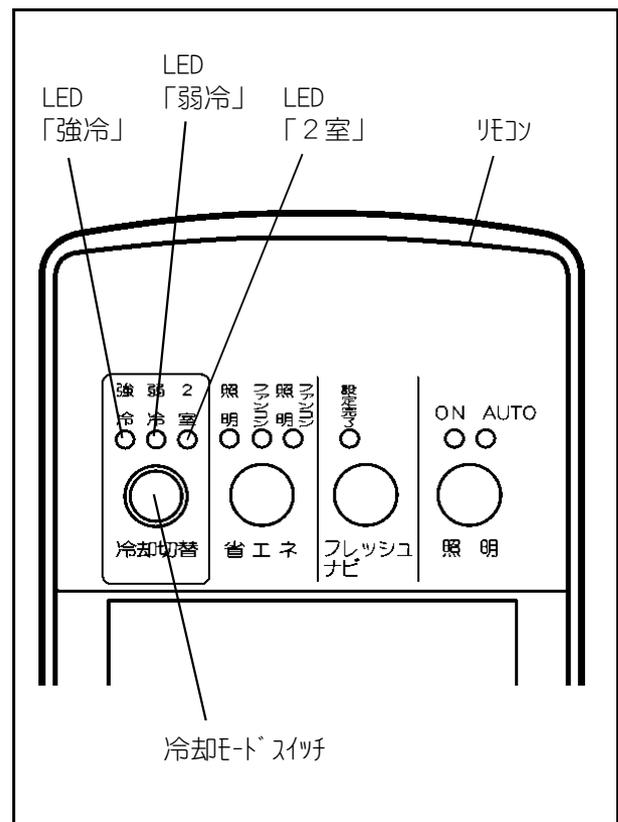
庫内の冷却制御は、リモコン上部のモードスイッチ長押しにて3段階に切替えられます。

- ① LED「強冷」点灯…………… 強冷モードで運転します。
- ② LED「弱冷」点灯…………… 弱冷モードで運転します。
- ③ LED「2室」点灯…………… 2室モードで運転します。
〔上3段：弱冷〕
〔下3段：強冷〕

[!] 冷却モードスイッチを押すとLED表示が下記のように切替わります。



[!] 2室モードで運転する場合は、本リモコン操作以外に本体左右側面のフラップを操作する必要があります。



(3)フレッシュナビ(賞味期限機能)スイッチ

賞味期限設定は、リモコンの[モード]0-08にてつぎの3種類を選択できます。詳細は「賞味期限管理機能」をご覧ください。

- 1：一括フレッシュナビ設定
- 2：コラム別フレッシュナビ設定
- 3：1週間の期限管理設定

賞味期限管理機能

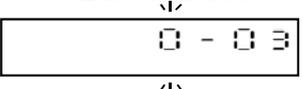
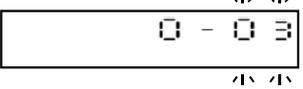
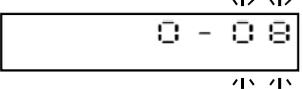
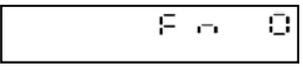
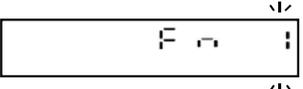
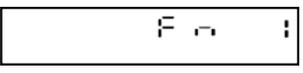
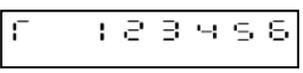
(1)賞味期限管理機能概略

- 賞味期限管理機能とは、各コラム（各商品）に賞味期限を設定しておき、該当日・時刻に該当コラムの売切れランプを点灯させ、販売できなくする機能です。
- 賞味期限管理機能には以下の3仕様があります。運用方法に応じて選択御願います。

	一括フレッシュナビ	コラム別フレッシュナビ	1週間期限管理設定
賞味期限日付	月日（1日のみ）	月日（複数可）	曜日/時刻（複数可）
対象コラム	任意（複数可）	任意（複数可）	任意（複数可）
設定期間	最大180日間	最大180日間	最大7日間
動作	賞味期限日付を過ぎたら 該当コラムの商品を売切れ にします。	賞味期限日付を過ぎたら 該当コラムの商品を売切れ にします。	その曜日・時間になったら 該当コラムの商品を売切れ にします。

(2)初期設定

- モード0-08にてどの機能を使用するか設定します。

<p>1  を押す。</p> <p>2  を押す。</p> <p>3   を押す。</p> <p>4  を押す。</p> <p>5   を押す。</p> <p>データが点滅し、変更可能になります。 ※確認のみを行う場合は終了キーを押してください。 ※出荷時は「0：設定しない」に設定されています。</p> <p>6  を押す。</p> <p>7  を押す。</p> <p>待機状態に戻ります。</p>	<p>デジタル表示 リモコン液晶表示</p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p> </p> <p>※：点滅表示</p>
---	--

0:設定しない
1:一括フレッシュナビ設定
2:コラム別フレッシュナビ設定
3:1週間の期限管理設定

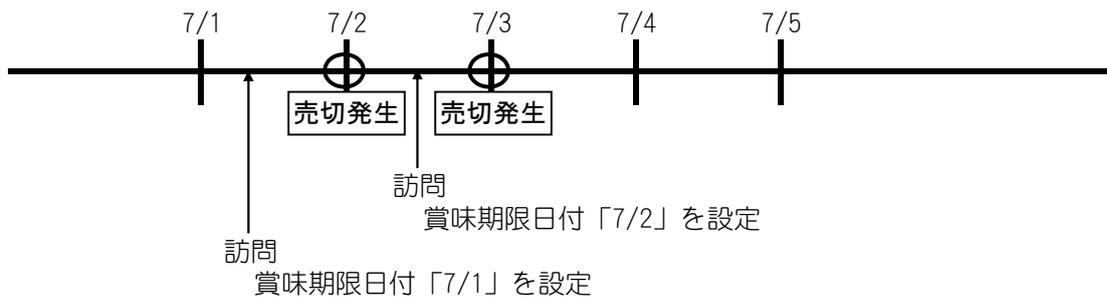
- ・設定を切換た時は記憶しているフレッシュナビのデータ（日付・該当コラム）はクリアします。このときに売切れ状態も解除します。

賞味期限管理機能

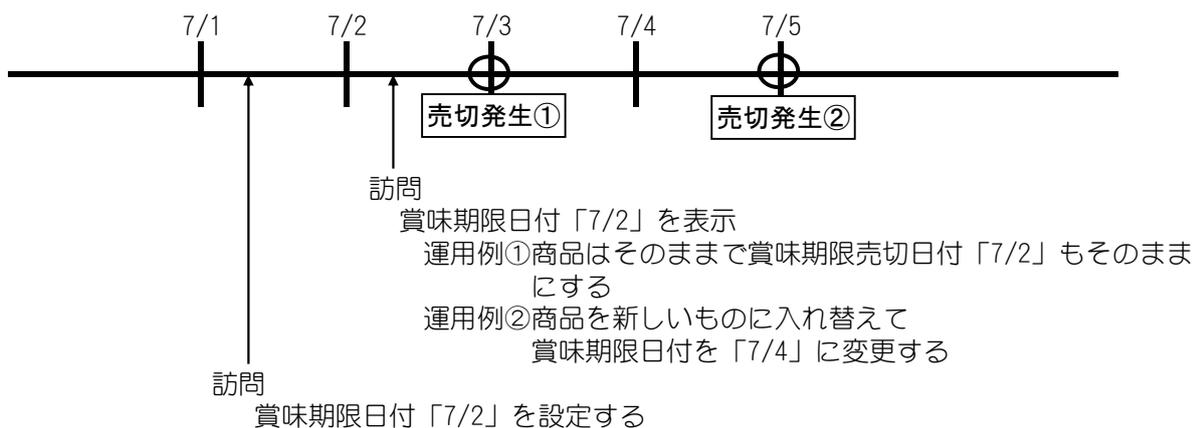
(3)一括フレッシュナビ

- ① ルートマン巡回→扉開時に、設定された賞味期限日付を一体表示器に表示するとともに、リモコン上のフレッシュナビボタン上の設定完了ランプが点灯します。
 - ② 賞味期限日付を設定します。（一日のみ）
 - ③ 対象コラムを設定します。（複数選択可能）
 - ④ 設定完了ランプが点灯します。
- ※ 設定忘れや状態確認のために未設定で扉を閉めると、ブザーにてアラーム音を鳴らし、注意を促します。
- ※ 既設定のデータで問題ない場合は、リモコン上のフレッシュナビボタンを押すだけで設定有効となります。
- ⑤ 賞味期限日付を過ぎたら該当コラムの商品を売切れにします。
- ※ [販売休止]キー×4：「賞味期限前販売停止日数の設定・確認」で、賞味期限前販売停止日数を設定すると、賞味期限日付よりもその日数分だけ前で販売が停止します。

★パターン1



★パターン2



- ・ 設定を切替た時は記憶しているフレッシュナビのデータ（日付・該当コラム）はクリアします。このときに売切れ状態も解除します。

賞味期限管理機能

(4)一括フレッシュナビ設定手順

毎扉開時に期限日付（賞味期限間近になった商品を販売することを防止するため、売切表示させ販売停止する日付）を設定する機能です。
[モード]0-08にて「1」を設定していると実行される機能です。

1

ON
○ 自販機の扉が閉⇒開すると、以前の一括フレッシュナビ設定が自動的に解除され、以前の設定日付表示が点滅します。

デジタル表示

1203

リモコン液晶表示

1203

2

△ アップ **（** **ダウ** **▽** **）** を押す。

日付を変更します。押し続けると早く変わります。

1213

1213

3

○
フレッシュナビ を押す。

期限日付が設定されます。

1213

1213

4

○ + **購入** を押す。
テンキーボタン 購入ボタン (例：No.15コラム)

テンキーボタン+購入ボタンを押すことで対象コラムを設定します。手順4を繰り返すことにより複数のコラムを指定できます。また、全コラム一括設定の場合は「99」+購入ボタンで設定できます。コラムNoと設定日付が表示されている内容を解除したい場合は「0」+購入ボタンで行います。複数コラム設定されている場合は購入ボタンを押すことで順番に設定内容の表示を切り替えて解除することもできます。

1213

CL 15 12 13

↑ 交互表示

CL 15

5

○
フレッシュナビ を押す。

ON
● フレッシュナビボタン上の設定完了ランプが点灯し、設定が完了します。

■

123456

※：点滅表示

補足

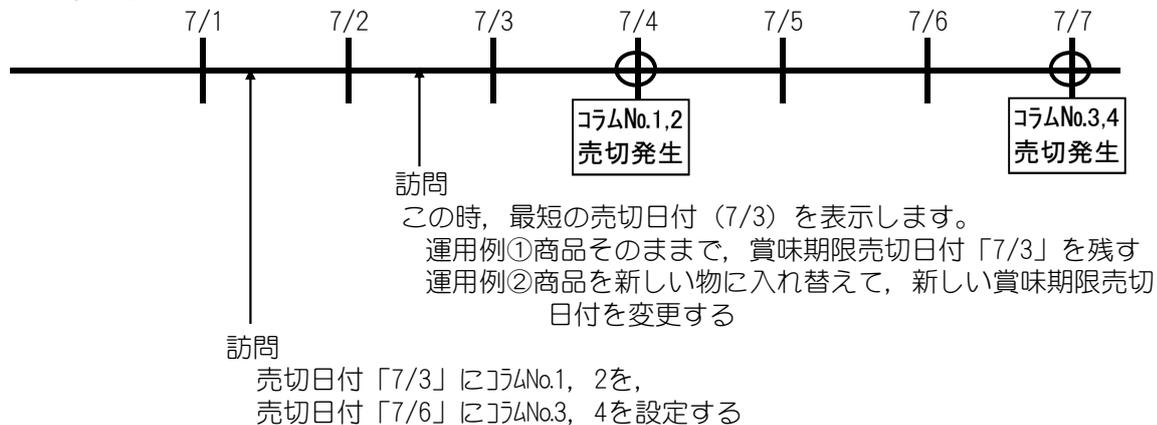
1. 設定範囲 期限日付：1月1日から12月31日
コラム：任意コラム
2. [販売休止]キー×4：「賞味期限前販売停止日数の設定・確認」で、賞味期限前販売停止日数を設定すると、賞味期限日付よりもその日数分だけ前で販売が停止します。
3. 設定を変更せずに確認する場合は手順3の後購入ボタンを押してください。
4. 本設定が正常に行われずに扉開⇒閉した場合は、アラームとしてブザーを鳴らし、購入ボタンを押すごとにデジタル表示に対象コラムNoを表示します。
5. 売切れ表示日付に現在日付がなった場合に該当コラム売切れ表示になります。
6. 設定データは[モード]0-08が「1：一括フレッシュナビ設定」のときのみ有効です。

賞味期限管理機能

(6)コラム別フレッシュナビ

- ① ルートマン巡回→扉開時に、各コラム毎の賞味期限売切日付（月、日）をリモコンにて入力します。
 - ② 賞味期限日付を設定します。（複数可能）
 - ③ 対象コラムを設定します。（複数選択可能）
 - ④ 設定完了ランプが点灯します。
- ※ 設定忘れや状態確認のために未設定で扉を閉めると、ブザーにてアラーム音を鳴らし、注意を促します。
- ※ 既設定のデータで問題ない場合は、リモコン上のフレッシュナビボタンを押すだけで設定有効となります。
- ⑤ 賞味期限日付を過ぎたら該当コラムの商品を売切れにします。

★パターン1



- ※ [販売休止]キー×4：「賞味期限前販売停止日数の設定・確認」で、賞味期限前販売停止日数を設定すると、賞味期限日付よりもその日数分だけ前で販売が停止します。

賞味期限管理機能

(7)コラム別フレッシュナビ設定手順

期限日付(賞味期限間近になった商品を販売することを防止するため、売切表示させ販売停止する日付)をコラム別に設定する機能です。
[モード]0-08にて「2」を設定していると実行される機能です。

- 0**  設定完了ランプ点灯により、コラム別フレッシュナビ日付の設定状態が判別できます。
(点灯：設定有、消灯：設定無)

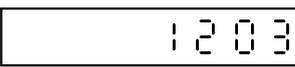
- 1**  を押す。
フレッシュナビの日付の確認になります。
設定されている一番若い日付が表示されます。この状態で購入ボタンを押すと押すたびに設定されているコラムNo.を表示します。
(未設定の場合は「-----」と表示されます。)

- 2**  を押す。
購入ボタン
設定された日付とコラムNo.が表示されます。
(未設定の場合は「-----」と「End」が表示されます。)

- 3**  アップ  ダウン を押す。
フレッシュナビ日付を変更することができます。
この時点でフレッシュナビの設定モードになります。

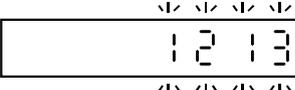
- 4**  +  を押す。
テンキーボタン 購入ボタン (例：No.15コラム)
テンキーボタン+購入ボタンを押すことで対象コラムを設定します。手順4を繰り返すことにより複数のコラムを指定できます。また、全コラム一括設定の場合は「99」+購入ボタンで設定できます。
コラムNo.と設定日付が表示されている内容を解除したい場合は「0」+購入ボタンで行います。複数コラム設定されている場合は購入ボタンを押すことで順番に設定内容の表示を切り替えて解除することもできます。
手順4で【点検/クリア】キーを2秒以上押すと、設定データが全てクリアされます。

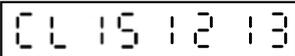
- 5**  終了 を押す。
待機状態に戻ります。

デジタル表示 リモコン液晶表示
 

(例 12月3日)

 
↑ 交互表示


 
(例 12月13日)

 
↑ 交互表示


 
※：点滅表示

賞味期限管理機能

(7)コラム別フレッシュナビ設定手順(つづき)

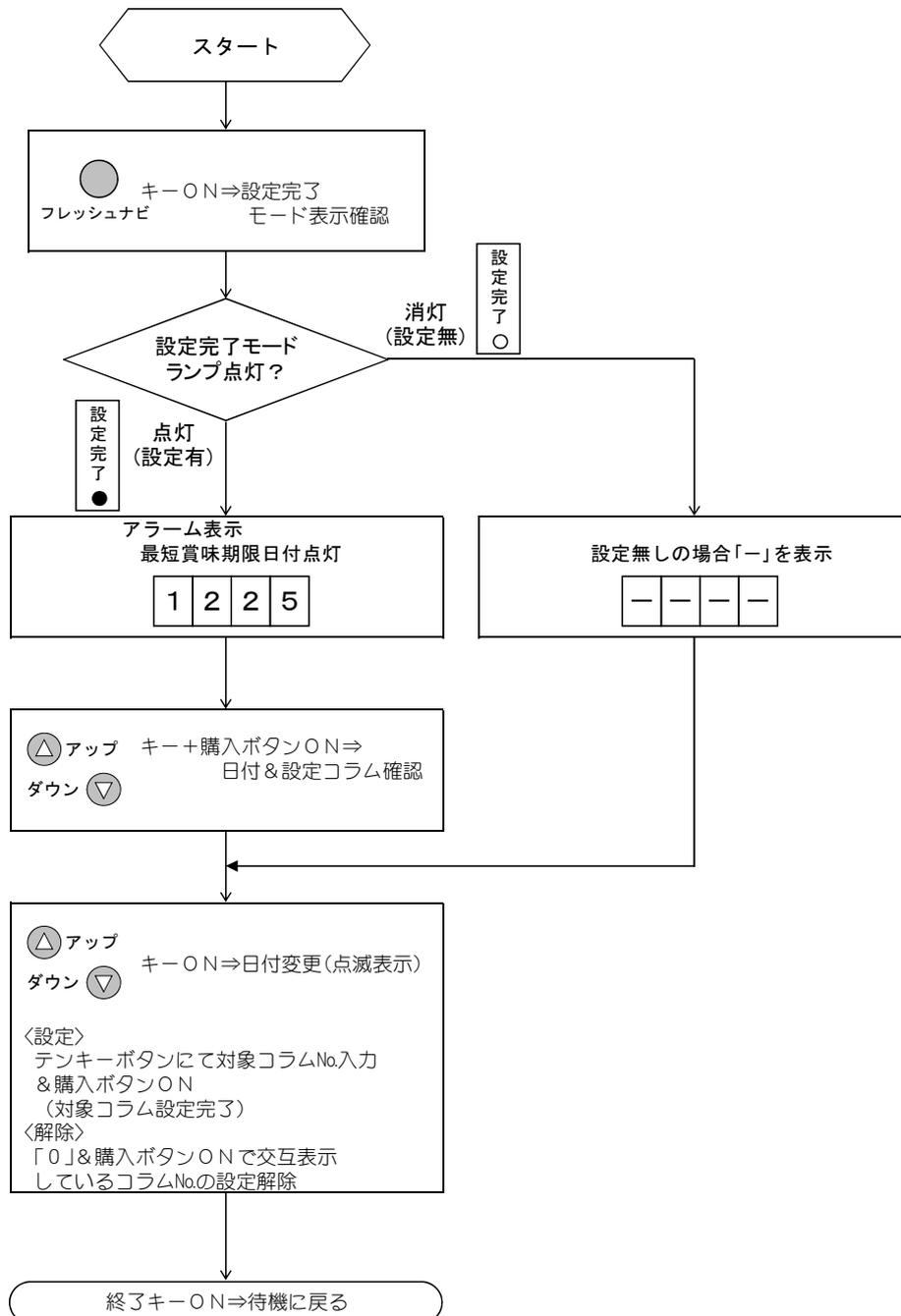
補 足

1. 設定範囲 期限日付：現在日付から180日後まで
コ ラ ム：任意コラム
2. [販売休止]キー×4：「賞味期限前販売停止日数の設定・確認」で、アラーム日数を設定すると、現在日付からアラーム日数後の日までの間に賞味期限日の来るコラムがあると、ドアを閉めたときにブザーが鳴り、そのコラムの売切ランプが点滅し、デジタルに賞味期限日が点滅します。
3. 設定をせずに確認する場合は、手順1の後に[アップ(ダウン)]キーで日付を選択し、購入ボタンを押してください。
4. 手順4で[点検/クリア]キーを2秒以上押すと設定データが全てクリアされます。
5. 設定データは[モード]0-08が「2：コラム別フレッシュナビ設定」のときのみ有効です。
6. 手順4で1つでもコラムを設定すると、リモコンのフレッシュナビボタン上の設定完了ランプが点灯します。逆に、コラムすべてを設定解除するとランプは消えます。

賞味期限管理機能

(8)コラム別フレッシュナビフローチャート

・[モード]0-08:フレッシュナビの設定・・・「2」:コラム別フレッシュナビの場合



賞味期限管理機能

(9)1週間期限管理設定

- ① 賞味期限(販売停止したい曜日・時間)を入力し、賞味期限に該当コラムの商品を売切れとします。

下表に販売状態やリモコンのランプやスイッチ操作の関係を例を使って示します。
(例：賞味期限設定を「5-23」(木曜23時)に設定した場合)

A：リモコンにて任意のコラムに賞味期限を「5-23」(木曜23時)に設定する
→設定後にリモコンの設定完了ランプが点灯

B：賞味期限が過ぎてからリモコンのフレッシュナビスイッチを押して売切を解除する
→リモコンの設定完了ランプは点灯し、販売も可能になる
→つぎの週の賞味期限に再設定される

※下記操作は、賞味期限設定の一括クリアです。通常使用しません。

C：その後、リモコンのフレッシュナビスイッチを2秒間以上押し続ける
→全てのコラムの賞味期限設定が解除され、設定完了ランプも消灯する
(全コラムを同一の期限設定にした場合、販売不可時は販売中ランプと蛍光灯が消灯し、準備中ランプが点灯します)

曜日	日	月	火	水	木	金	土	
操作	A：賞味期限(木曜23時)を設定 ↓ 通常のローディングで結構です					23:00	B	C
設定完了ランプ	消灯	点灯				点滅	点灯	消灯
販売状態	販売可					販売不可	販売可	

木曜23時になったので売切になります

- ・リモコンのフレッシュナビスイッチを押して売切を解除した後に次に売切にしたい曜日と時間を設定します。
- ・解除のみの場合は、次の木曜23時が売切に設定されます。

※ 全コラムを同一の賞味期限設定にした場合、販売不可時は販売中ランプと蛍光灯が消灯し、準備ランプが点灯します。

賞味期限管理機能

(10)1週間賞味期限設定手順

フレッシュナビの設定(モード0-08)にて、「3:1週間の期限管理」設定時に本設定が有効になります。
対象コラムと賞味期限(曜日-時)を設定します。

1 販売休止  を押す。

1週間賞味期限の設定項目になります。

デジタル表示

FL

リモコン液晶表示

FL

2  書込み を押す。

期限の終りが表示されます。

0-00

0-00

3  アップ  ダウン を押す。

期限(日)の終りを変更することができます。
押し続けると早く変わります。

2-00

2-00

{ 0:全曜日(毎日) 1:日曜日 } ↑
{ 2:月曜日 3:火曜日 4:水曜日 } ↑
{ 5:木曜日 6:金曜日 7:土曜日 }

4  書込み を押す。

2-00

2-00

5  アップ  ダウン を押す。

期限(時)の終わりを変更することができます。
押し続けると早く変わります。

2-02

2-02

{ 01~24:01~24時 } ↑
{ 00:未設定(売切にしない) }

6  書込み を押す。

期限(日, 時)が設定され, 表示します。

2-02

2-02

7  を押す。

テンキーボタン

対象コラムの番号を入力します。
訂正ボタンを押すと入力キャンセルし, 手順6に戻ります。

CL 7

CL 7

8  購入 を押す。

購入ボタン

交互表示し, コラムは現在表示している賞味期限の
曜日順に設定されます。
0→購入と押せばコラム表示が消え, そのコラムの
賞味期限設定は解除します。液晶リモコン側はコラム
番号と賞味期限の曜日順を同時に表示します。

CL 7

CL 7 2-02

↑ 交互表示

2-02

9  終了 を押す。

待機状態に戻ります。

FL

FL 123456

※ : 点滅表示

賞味期限管理機能

(10)1週間賞味期限設定手順(つづき)

補 足

1. 設定範囲

曜日：0：全曜日 1：日曜日 2：月曜日 3：火曜日 4：水曜日 5：木曜日
6：金曜日 7：土曜日
時：00～24（01～24：01～24時，00：未設定（売切にしない））
コラム：任意のコラム
99：全コラム

2. 賞味期限が1週間を超えるものは設定できません。

3. 現在の内容を確認するときは、手順6の後に購入ボタンを押してください。

現在設定中のコラムのNo.と賞味期限の時間が交互表示し、購入ボタンを押すたびに設定されているコラムNo.の若い方から表示します。（手順8のデジタル表示）
交互表示しているコラムNo.時の，0→購入で解除します。

4. 手順8の時に，【アップ(ダウン)】キーを押すと手順3に戻ります。

賞味期限の時間とコラムの両方を設定してください。
賞味期限の時間が0またはコラムを設定しないと賞味期限設定は行いません。

5. コラム入力時，99を入力すると全コラム一括で設定ができます。

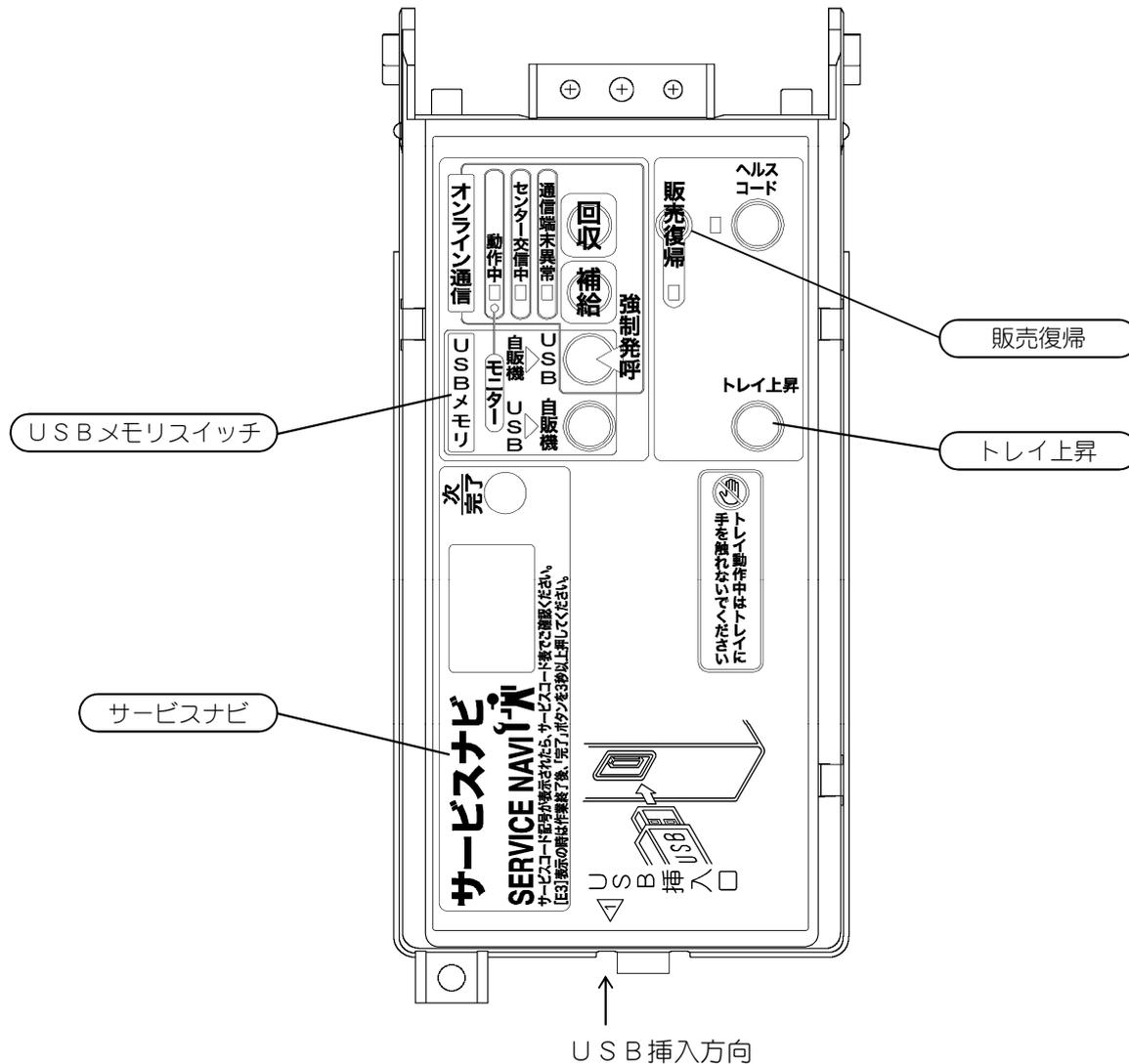
6. 設定データは売切れになっても消えません。設定データは保持します。

7. いずれかのコラムに設定有りの場合は，リモコンの設定完了ランプが点灯します。
全てのコラムに設定無しの場合は消灯します。8. 賞味期限により売切れが発生している時は，リモコンの設定完了ランプが点滅します。
売切れはフレッシュナビスイッチを押すと解除されます。

9. フレッシュナビスイッチを2秒間以上押し続けると全コラムの設定をクリアします。

マスタボックスの名称とはたらき

(1)マスタボックスの外観と各機能概要



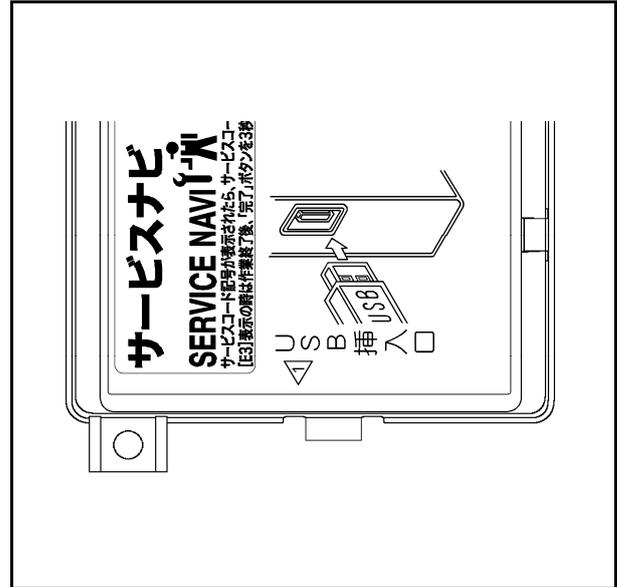
機能項目	機能概要	参照ページ
サービスナビ	<ul style="list-style-type: none"> ● ナンセンスコールを減らし、簡単な故障はその場で対応してもらえるような、簡易ガイドスを用意、そのため販売チャンスを逃しません。 ● 表示画面の番号を早見表で調べれば故障の対応のしかたがすぐわかります。 	4-40
USBメモリスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ● USBから自販機（マスタボックス）へデータを書き込むまたは書き換える場合に使用します。 逆に自販機からUSBへの書き込みも可能です。 	—
USB▷自販機	USBから自販機へデータを書き込みする場合に使用します。	—
自販機▷USB	自販機からUSBへデータを書き込みする場合に使用します。	—
販売復帰	<ul style="list-style-type: none"> ● 搬送機構関連の異常が発生した場合(故障コード1292, 1295, 1297, 2403, 2499)に解除するためのスイッチです。 搬送機構が待機位置に戻っている状態で販売復帰スイッチを押すとNo.1コラムの販売動作を行います。 必ずNo.1コラムに商品を入れた後、本スイッチを押してから外扉を閉めてください。 	4-39
トレイ上昇	<ul style="list-style-type: none"> ● 本スイッチを2秒間長押しすると搬送機構の商品トレイが上限まで移動します。 	—

マスタボックスの名称とはたらき

(2)各機能の操作方法

● プログラム書込操作

- ① プログラムを書き換える場合は、電源をOFFにしてから、USBを正しい方向で完全に奥まで差し込んでください。
- ② その後、電源をONしてください。
ブザーが鳴り、モニタが点滅したら書込みがスタートしています。
- ③ プログラムの種類によっては、自動的に書込みがスタートしないものもあります。
その際は、「USB▶自販機」スイッチを押してください。ブザーが鳴り、モニタが点滅し、書込みがスタートします。
- ④ モニタが点灯し、ブザーが鳴ったら書き込み終了です。
- ⑤ 電源をOFFして、USBを引き抜いてください。



● 販売復帰スイッチ

- ・販売系の故障が発生した時に、ランプが点灯します。
- ・スイッチを押す（連続押しはできません）と、故障解除を行います。
- ・複数コラムがある場合は、若いコラム順に故障解除を行います。
故障解除を行っている時（ランプ点滅時）は、スイッチは受け付けません。
- ・ランプが消灯している時に、スイッチを押すと受け付けますが動作しません。
- ・故障解除を行っても故障解除しなかった時は、再びランプを点灯させます。

状態	ランプ
故障中	点灯
故障解除開始～終了まで	点滅
解除終了～待機(故障無)	消灯

マスタボックスの名称とはたらき

(3) サービスナビ・サービスコード一覧表

サービスナビ

SERVICE NAVI

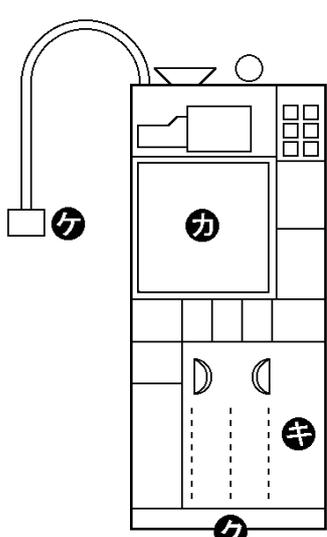
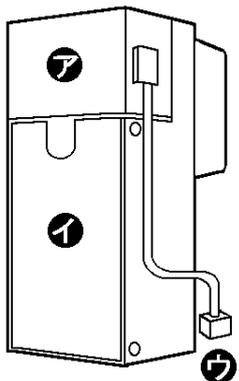
次完了

サービスコード記号が表示されたら、サービスコード表でご確認ください。
[E3]表示の時は作業終了後、「完了」ボタンを3秒以上押ししてください。

表示画面

他のサービスコードを表示させるときに使用します。
冷却装置のフィン清掃後に押ししてください。

サービスナビに表示が出ている場合は、下記の内容をご確認ください。

画面表示	表示内容	確認・点検箇所
A0	設定不良です。リモコンの点検キーで故障コードを確認の上、サービスマンにご連絡ください。	<p>● 硬貨識別装置</p>  <p>● 紙幣識別装置</p> 
A1	ただいま販売休止中です。 しばらくすると販売可能となります。	
C0	硬貨検銭部にコインが詰まっていますか？  7	
C1	硬貨払出部にコインが詰まっていますか？  7	
C2	硬貨検銭部のコネクタが正しく装着されていますか？  7	
C3	つり銭カセットが正しく装着されていますか？  8	
C4	硬貨選別装置のコネクタが外れていませんか？  7	
C5	紙幣識別装置にお札が詰まっていますか？  A または  1	
C6	紙幣識別装置にお札が満杯になっていませんか？  1	
C7	紙幣識別装置のフタが外れていませんか？  1	
C8	紙幣識別装置のコネクタが外れていませんか？  7	
E0	一旦、電源スイッチを切ってからもう一度、電源を入れてください。再度表示する場合は、リモコンの点検キーで故障コードを確認の上、サービスマンにご連絡ください。	
E1	ハンディターミナル通信パスワードが間違っていないですか？	
E3	冷却装置のファン（凝縮器）が目詰まりしていませんか？ 〔清掃が終わりましたら「次/完了」ボタンを長押ししてください〕	
E4	搬出機構部に商品が詰まっていますか？ 商品搬送機構を点検下さい。	
F0	リモコンが通信異常です。	

5. 棚位置の変更

棚位置変更

本機では、2、4、5段目の棚位置を変更することができます。

(1)使用工具

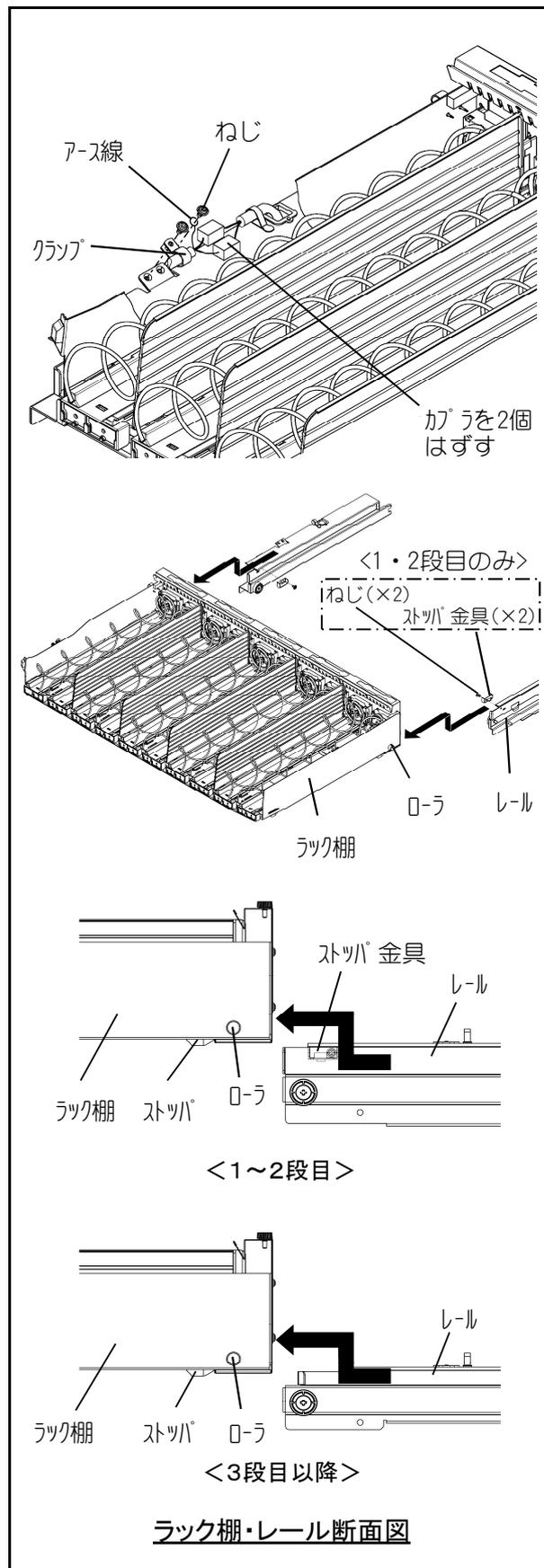
- プラスドライバ（長さ：130mm以下）

(2)電源をOFFする

- ① 漏電しゃ断器のレバーをOFF側にします。

(3)ラック棚の取りはずし

- ① ラック棚からの配線をまとめているクランプをねじをはずして取りはずします。
- ② ラック棚からの配線のカプラを取りはずします。
- ③ ねじ1本をはずし、ラック棚からのアース線をはずします。
- ④ 1・2段目のラック棚を取りはずす場合は、ラック棚の手前を少し持ち上げ、右図のように左右のレールのねじをゆるめ、ストップ金具を取りはずします。
- ⑤ ラック棚の前面下側を持ち、前方を少し持ち上げながら、ラック棚全体を手前に引き出します。
〔1段目と2段目ラック棚は引き出すと斜めに傾きます〕
- ⑥ 一番手前まで引き出しますとラック棚のストップがレール側のローラに当たり、停止します。ラック棚を少し持ち上げた状態で手前に取りはずします。

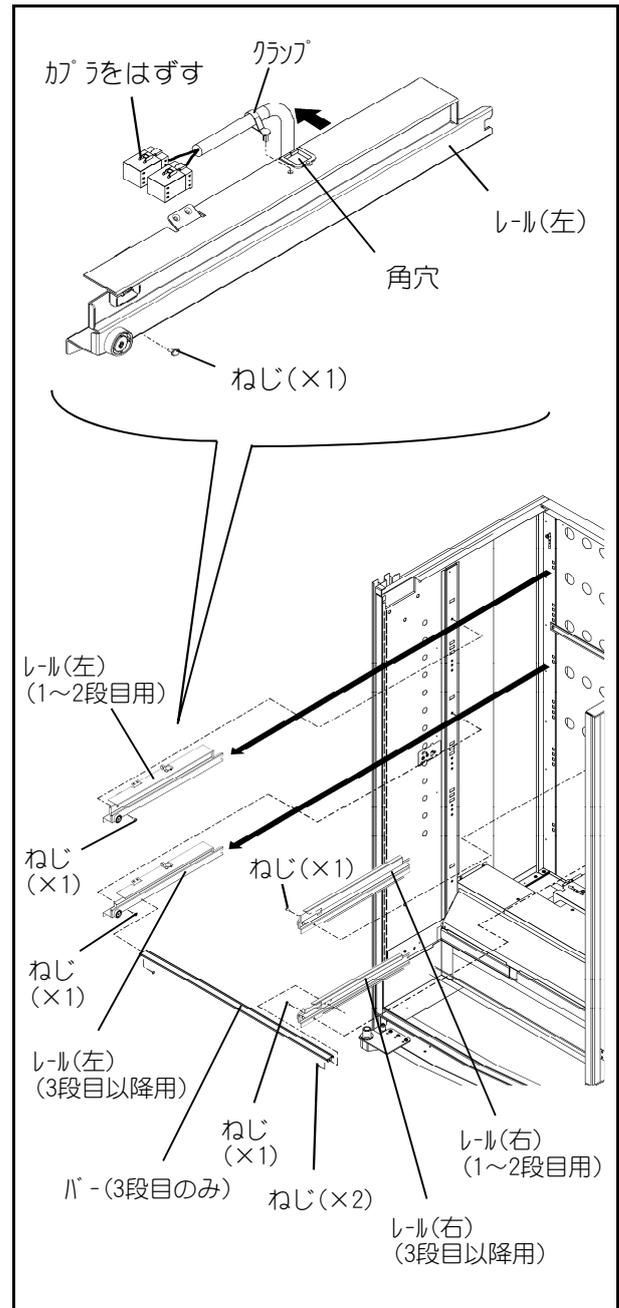


棚位置変更

(4) レールの取りはずし

- ① ねじをはずし、移動したい棚位置の左右のレールをはずします。
 その際、左側のレールのクランプをはずして角穴より配線を取りはずします。

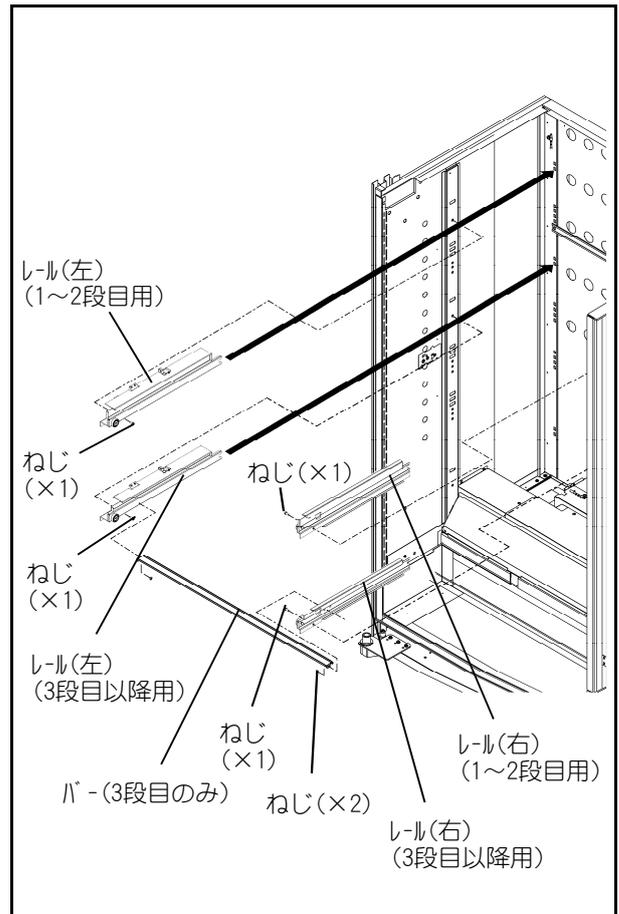
[!] レールは、1～2段目と3段目以降で形状が異なりますのでご注意ください。



棚位置変更

(6) レールの取付け

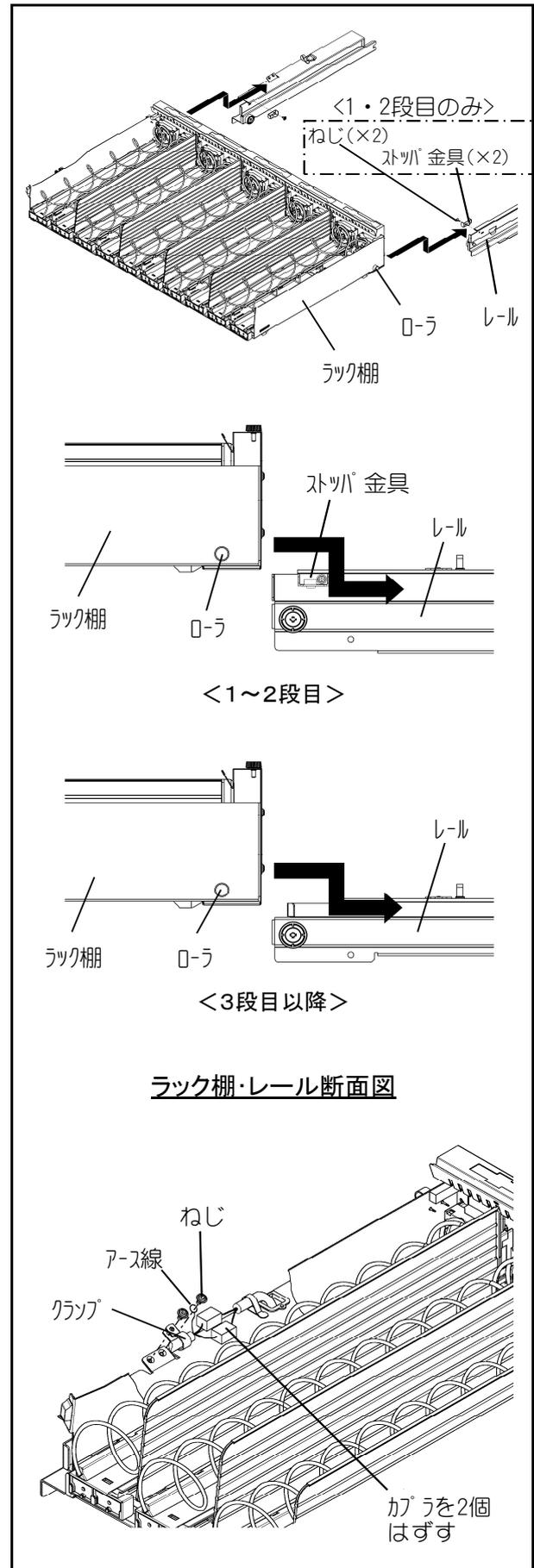
- ① (5)ラック棚設定例を参考に取りはずした配線を再度、左側のレールの角穴に差し込み、クランプを穴に差し込み固定します。
- ② 左右のレールの奥側にある突起やフックを移動したい棚位置の角穴に差し込み、ねじにて固定します。
その際、配線をかみ込まないように注意して取付けます。



棚位置変更

(7)ラック棚の取付け

- ① ラック棚前方を少し持ち上げながらラック棚のローラを左右のローラの後に入れ奥に押し込みながら少しずつ降ろしていきま。
- ② その後、ラック棚をゆっくりと奥いっぱいまで押し込みます。
- ③ 1・2段目のラック棚を取付けた場合は、ラック棚の手前を少し持ち上げ、右図のように左右のレールにストップ金具をねじにて取付けます。
- ④ ラック棚からの配線をレール(左)のカプラに接続し、配線はねじを使用し、クランプにて固定します。
またアース線はねじにてレール(左)に固定します。
- ⑤ 漏電しゃ断器のレバーをON側にし、一度メインドアを閉めます。
(クリーニング動作が行われます)
- ⑥ ラック棚位置を変更した後は、リモコンの[モード]0-60:Yメカ停止位置設定にてパルス数の変更を行います。
〔 詳細な各棚のパルス数については5-03ページ〕
による



6. 冷却モードの変更

冷却モードの変更

庫内冷却制御を変更する場合は、つぎの手順で行ってください。

- (1) 冷却モードの組合せ
- (2) 冷却モードスイッチの切換操作
- (3) ルーバーの切換操作

(1)冷却モードの組合せ

① 冷却モードの組合せの種類

冷却モードスイッチとルーバーの切換えにより、下図の3種類の組合せができます。

※ 2室時の上庫内の保冷は周温により変動します。
弱冷温度領域を保証するものではありません。

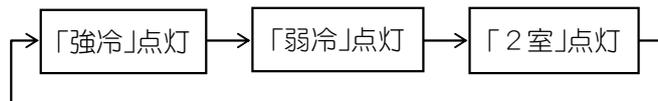
庫内設定	1 室 時		2 室 時
ルーバー	上 向 き		奥 向 き
冷却モードスイッチ	強 冷	弱 冷	2 室
ルーバーと各棚の冷却制御	<p>①</p>	<p>②</p>	<p>③</p>

(2)冷却モードスイッチの切換操作

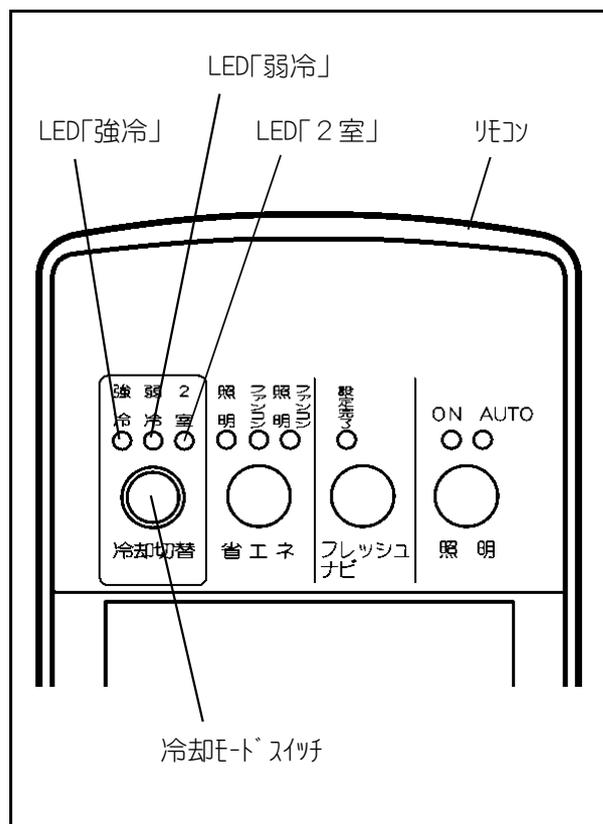
リモコン上部の冷却モードスイッチ長押しにて3段階に切替えられます。

- ① LED「強冷」点灯……強冷モードで運転します。
- ② LED「弱冷」点灯……弱冷モードで運転します。
- ③ LED「2室」点灯……2室モードで運転します。
〔上3段：保冷〕
〔下3段：強冷〕

[!] 冷却モードスイッチを押すとLED表示が下記のように切替わります。



[!] 2室モードで運転する場合は、本リモコン操作以外に本体左右側面のルーバーを操作する必要があります。



冷却モードの変更

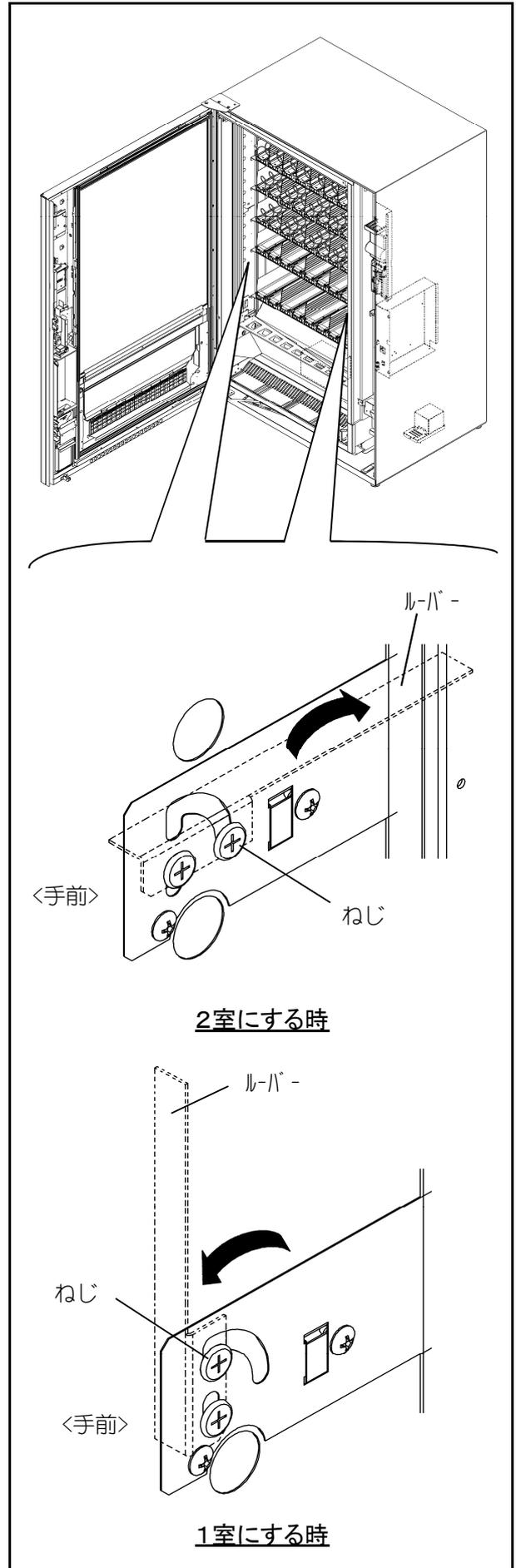
(3)ルーバーの移動

① 2室にするとき

本体両側面のルーバーのねじを少し持ち上げた後、奥側に倒します。

② 1室にするとき

本体両側面のルーバーのねじを上に移動させた後、下に降ろします。



7. 定期的清掃と点検

保守・点検時期と内容

各部の保守・点検時期と内容を次に説明します。

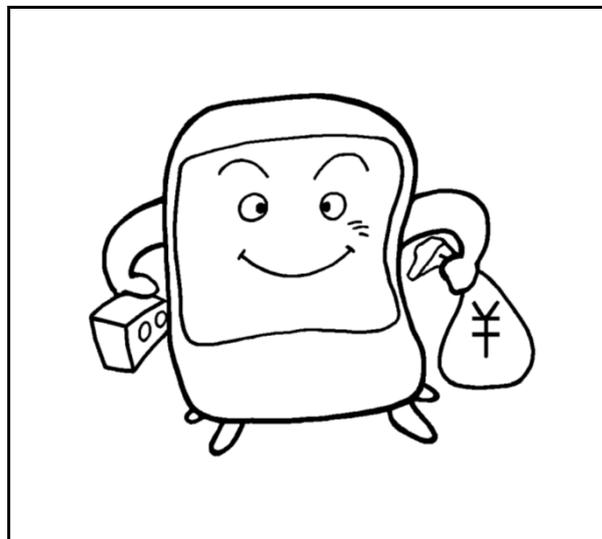
内 容	保守・点検の時期		
	訪問時	毎月1回	6ヶ月毎
回収	金庫内のお金	○	
清	商品取出口部	○	
	本体の内外部	○	
	ラック	○	
	搬送機構	○	
	蒸発皿		○
掃	凝縮器		○
	コインメカニズム		○
	ビルバリ		○
点 検	表示	○	
	漏電しゃ断器		○
	蛍光灯		○
	据付け		○

お金の回収

- ① 商品を補充するたびに、金庫内の売上金を回収してください。

[!] 防犯のため、できるだけ売上金を金庫内におかないようにしてください。

- ② 売上金を回収した後は、金庫を元の位置に正しく置いてください。



訪問時の清掃

(1)商品取出口部

[!] 直接ホース等からの水洗いは避けてください。

- ① 商品取出口部内に落ちているパンくず等は、ブラシ又は掃除機で取り除きます。
- ② 水または湯をふくませた布でよく拭き取る。
- ③ その後、乾いた布で水分を拭き取る。

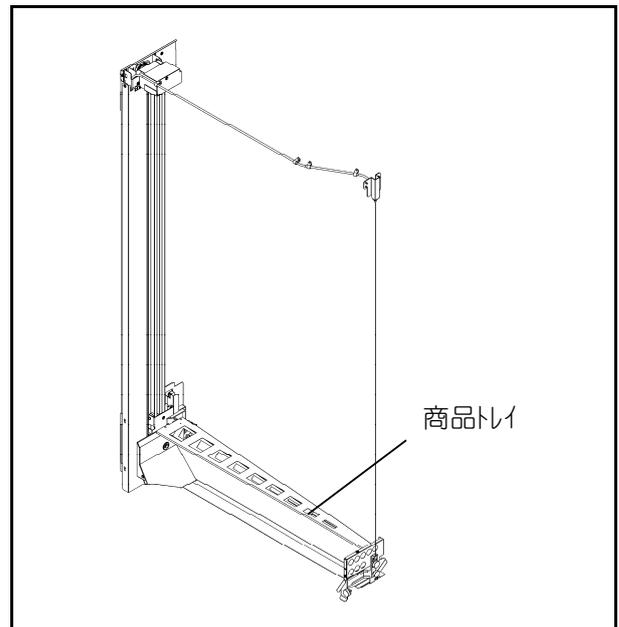
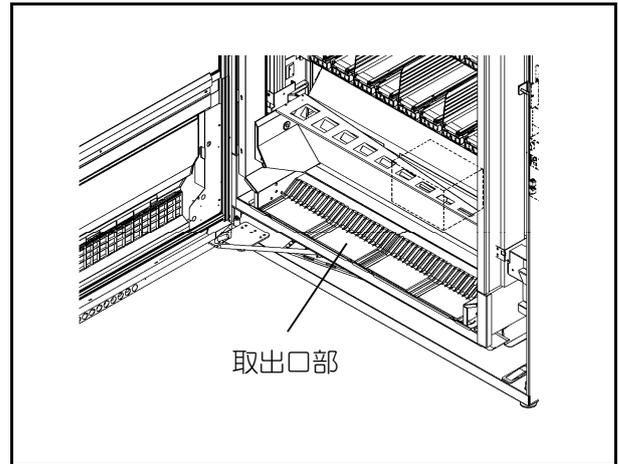
(2)本体の内外部の汚れ

- ① 内外部の汚れがあれば、湯を含ませた布でよく拭き取る。
- ② その後、乾いた布で水分を拭き取る。
- ③ 搬送機構を移動させて下部も拭き取る。

[!] 外装の汚れがひどいときは、ワックスを基材としてクリーナー(例:昭和石油製オートポリッシュなど)をお試しください。

(3)搬送機構

- ① 搬送機構の商品トレイ部を乾いた布で拭き取る。



訪問時の清掃

(4)ラック

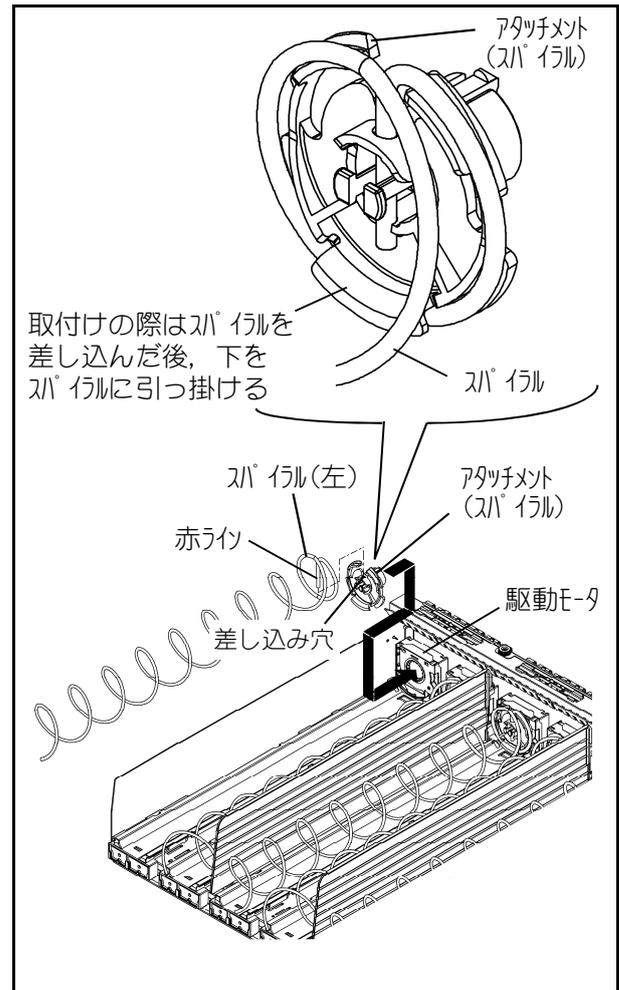
ダブルスパイラル式ラック
シングルスパイラル式ラック

- ① 棚を引き出します。
- ② アタッチメント(スパイラル)のつまみを持ちながらスパイラルごと手前に取りはずします。
- ③ スパイラル及び商品ガイド部(商品を充てんしている所)を水または湯を含ませた布でよく拭き取る。

[!] 販売商品の中身が付着している際は、きれいに拭き取り除去してください。カビ等の原因となります。

- ④ その後、乾いた布で水分を拭き取る。
- ⑤ 元のようにスパイラルを差し込みます。

[!] アルコールやシンナー等での清掃はやめてください。破損の恐れがあります。



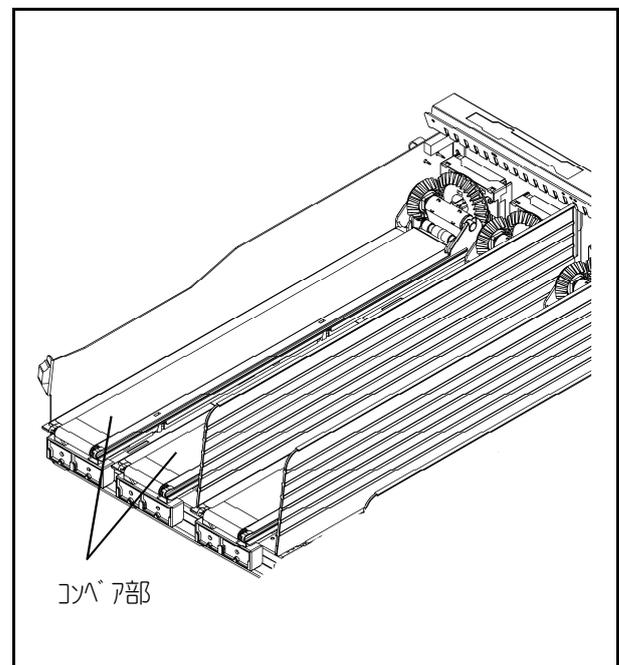
ダブルコンベア式ラック
シングルコンベア式ラック

- ① 棚を引き出します。
- ② コンベア部を水または湯を含ませた布でよく拭き取る。

[!] 販売商品の中身が付着している際は、きれいに拭き取り除去してください。カビ等の原因となります。

- ③ その後、乾いた布で水分を拭き取る。

[!] アルコールやシンナー等での清掃はやめてください。破損の恐れがあります。



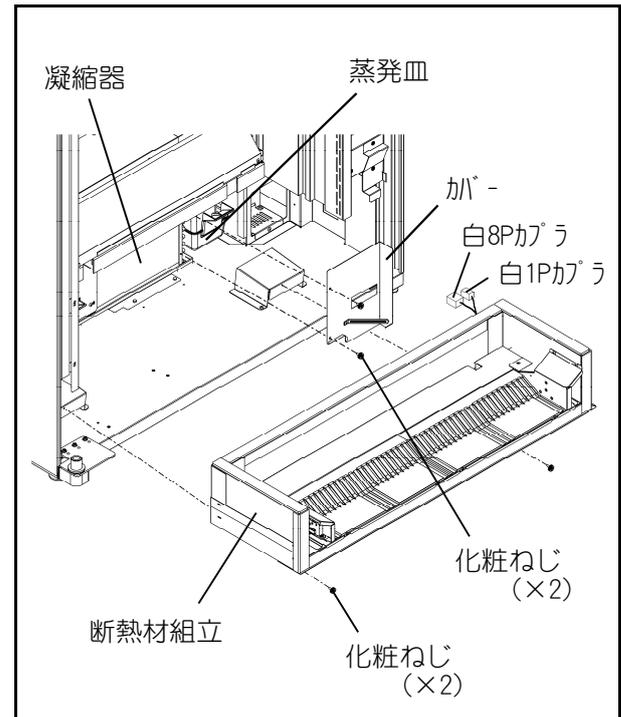
1ヶ月毎の清掃

(1) 蒸発皿

- ① 搬送機構のトレイをラック棚の3～6段目あたりを目安に手でゆっくり押し上げます。

[!] トレイを上にはげすぎると断熱材組立が取りはずせません。

- ② 化粧ねじ2本をはずして、断熱材組立をはずします。その際、白1Pカブラと白8Pカブラを取りはずします。
- ③ 化粧ねじ2本をはずして、カバーを取りはずします。
- ④ 蒸発皿を少し持ち上げてフックをはずし、降ろしながら手前に引き出します。蒸発皿に水がたまっている場合は捨てる。
- ⑤ 蒸発皿を水道水で水洗いする。
- ⑥ 水気を拭き取ってから、元の位置に戻す。



(2) 凝縮器

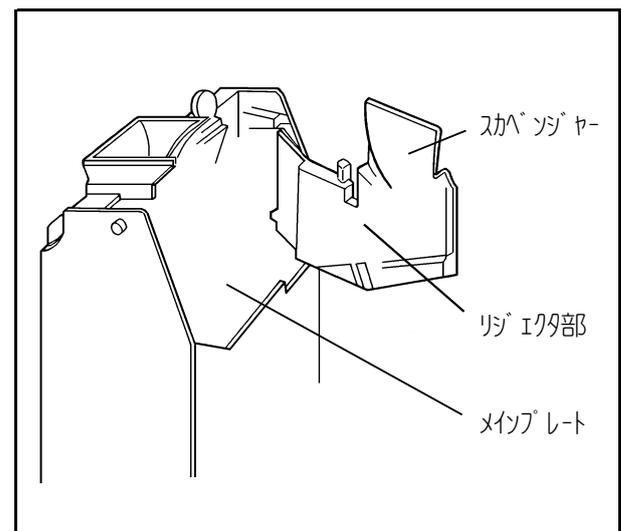
- ① ブラシまたは掃除機でゴミやホコリを取る。

[!] 清掃をせず、ごみやほこりがついたまま放置しますと、冷却効果が低下したり、冷却装置が故障する恐れがあります。

(3) コインメカニズムの汚れ

[!] 汚れがひどいと硬貨を受け付けられない原因になりますので、1ヶ月に1度程度の清掃周期で実施ください。

- ① リジェクト部を開け、スカベンジャー、メインプレート等の硬貨通路面を、水またはぬるま湯を含ませたガーゼ等の布で拭く。
- ② その後、乾いた布で水分を拭き取る。

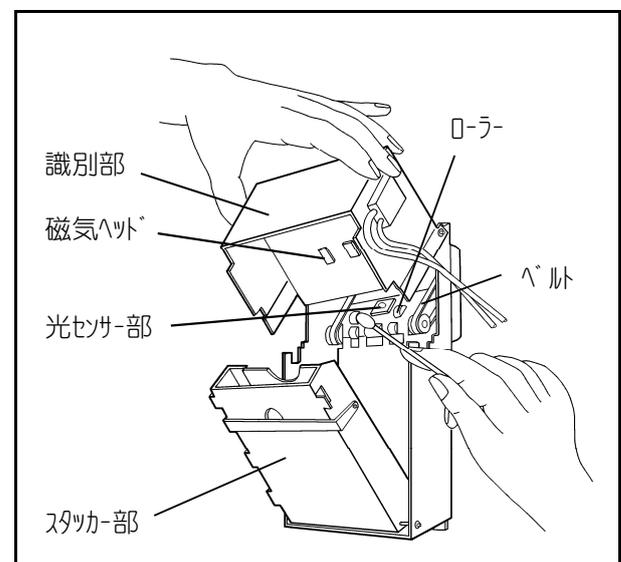


(4) ビルバリの汚れ

[!] 汚れがひどいと紙幣を受け付けられない原因になりますので1ヶ月に1度程度の清掃周期で実施ください。

[!] 汚れがひどい場合は、市販品のヘッドクリーナーやアルコールを付けて拭き取ってください。

- ① スタッカ部と識別部を開け、ローラーやベルトの汚れを綿棒等で拭き取る。
- ② 識別部の磁気ヘッドや光センサー部を綿棒等で拭き取る。



点検のしかた

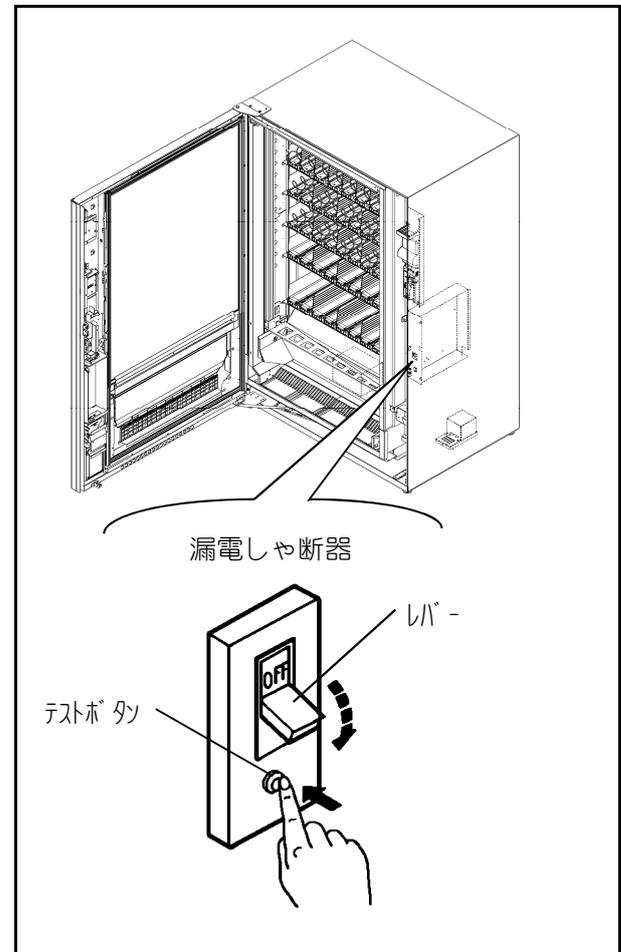
(1)表示

- ① 商品を補充するたびに、自動販売機に取付けられている各種「警告表示銘板」および「自動販売機統一ステッカ」が損傷していないか調べてください。
- ② 損傷している場合は、補修または交換をしてください。

[!] 交換の際は、お買上げの販売店またはサービス機関にご連絡ください。

(2)漏電しゃ断器

- ① テストボタンを押してレバーが「OFF」になれば正常です。
- ② 電源の再投入は、テストボタンで動作確認後、約3分してから、レバーを上へ倒して「ON」にしてください。



(3)設置場所の安全確認

設置場所の据付け面のがたつきや固定金具のゆるみなどを6ヶ月に1度および震度5以上の地震が発生した場合は必ず点検してください。異常がある場合は専門の自動販売機設置業者またはお買上げ先へ修繕を依頼してください。

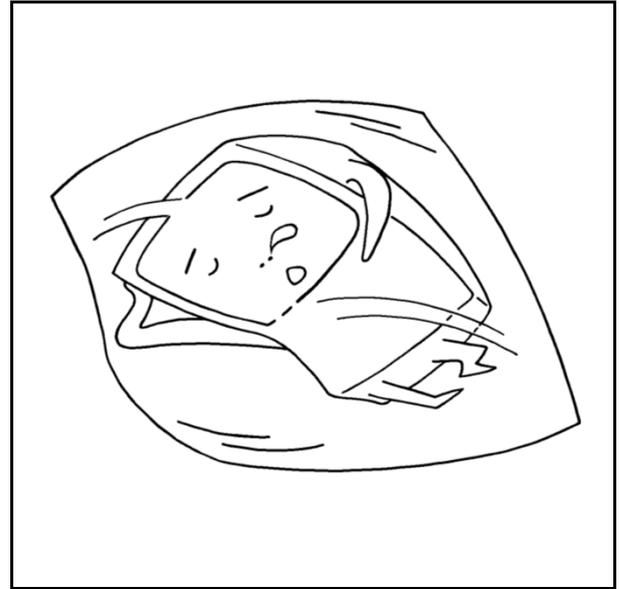
[!] 不完全な設置状態のまま使用すると、転倒事故の原因になります。

長期間ご使用にならないときは

自動販売機を長期間ご使用にならないときは、つぎの方法で保管してください。

[!] 保管するときは自動販売機を積み上げないでください。転倒事故、けがの原因になります。

- ① 漏電しゃ断器を「OFF」にし、電源プラグを抜いてください。
- ② ラックに収納してある部品をすべて取出してください。
- ③ 自動販売機の内部・外部の汚れをきれいにふきとってください。
- ④ ビニールカバーなどを本体にかけて保存してください。

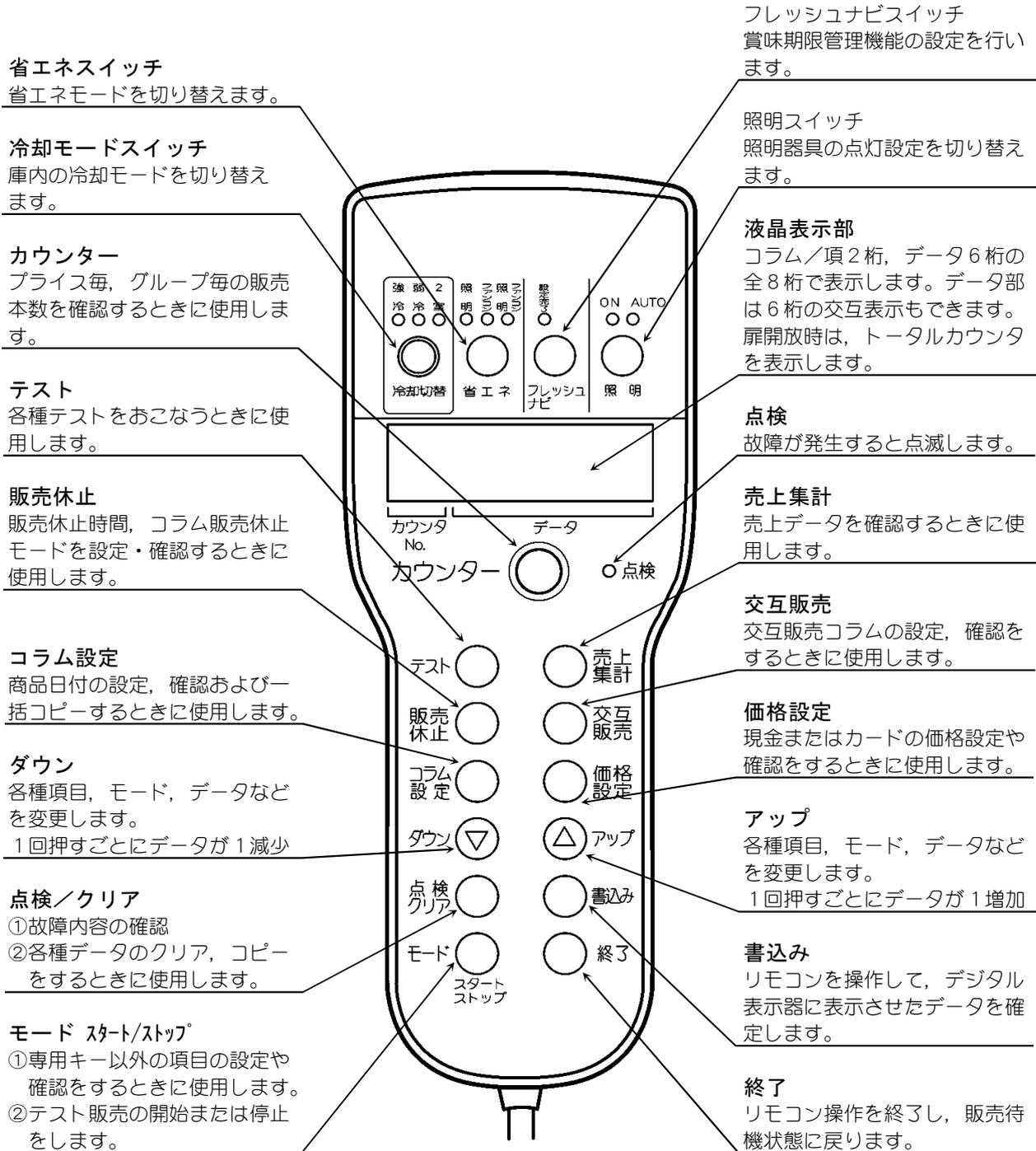


8. リモコン

ここでは、リモコンを使う上で覚えていただきたい基本的な操作や知識について説明しています。

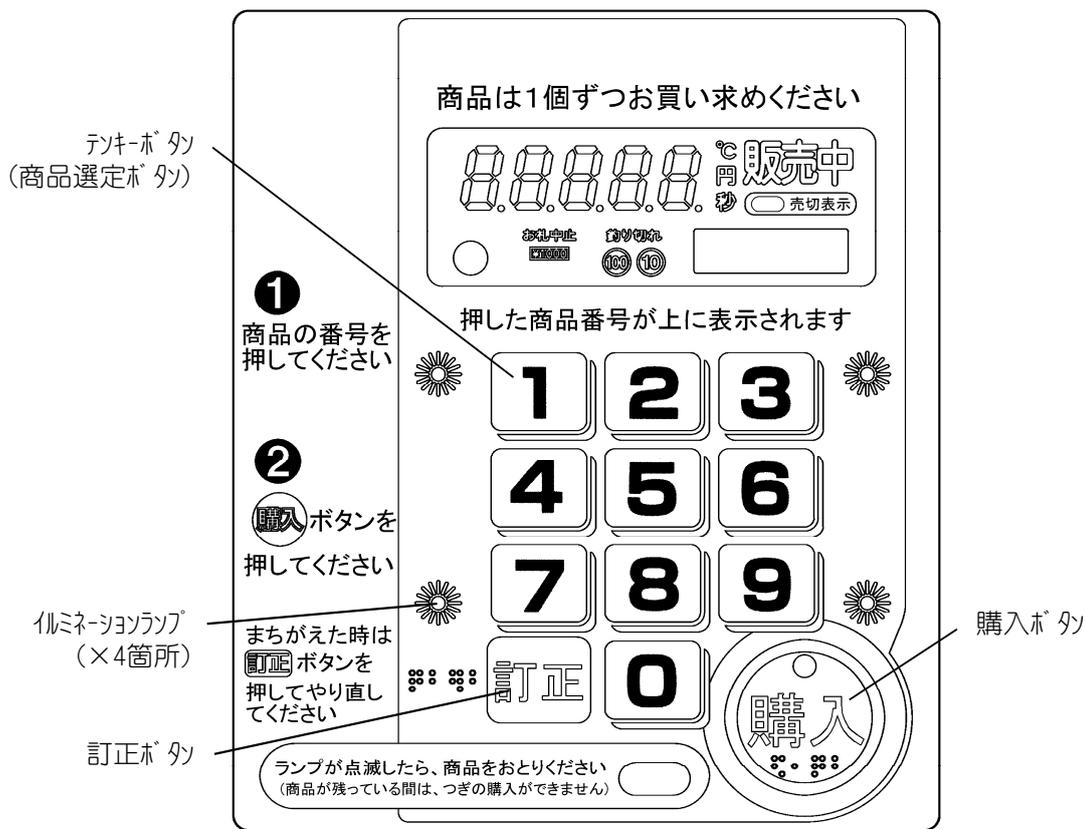
リモコン各部の名称とはたらき

このリモコンのキーには、1または複数の項目を操作する機能があります。名称とはたらきはつぎの通りです。



テンキーボタンによる設定データの確認

- ・外扉が開いている状態でテンキーボタンを使って各コラムの価格設定ならびに搬出メカコードを簡単に確認することができます。



(例) テンキーボタン「1」の設定内容を確認したい場合

操作手順	テンキーボタン操作	デジタル表示部	内容
1	外扉が開いている状態で ① 購入 (押釦テンキー)	CL 1	コラムNo.を表示
2		120	現金設定価格を表示
3		100	カード付機のみカード設定価格を表示
4		11	搬出メカコードを表示
5		操作手順2～4を 繰り返し表示	

基本的な操作のしかた

キーを操作して自動販売機の機能設定、確認、販売テストや故障内容の確認をおこないます。
ここではキーの基本的な操作方法について説明します。操作の内容はリモコンの液晶表示部およびメイン
ドアにあるデジタル表示器に表示されます。

(1)機能の設定をする

1 設定する機能項目を選択する(例:販売価格の設定)

 価格設定 を押す。

設定の項目表示になるまで専用キーを押します。

デジタル表示 リモコン液晶表示
 

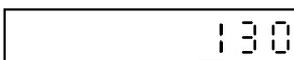
(例:120円初期設定)

2 データを入力する

 アップ  ダウン  を押す。

 アップ を1回押すごとにデータが1増加

 ダウン  を1回押すごとにデータが1減少

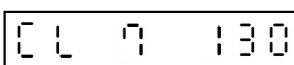
 

3 入力したデータを確定する

 +  購入 を押す。

テンキーボタン 購入ボタン

(設定によっては  書込み を押す場合もあります。)

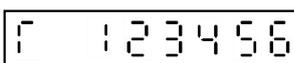
 

↑ ↓ 交互表示



4 販売待機状態に戻る

 終了 を押す。

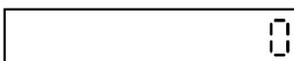
 

(2)設定されている機能内容を確認する

1 確認する機能項目を選択する(例:販売休止モードの確認)

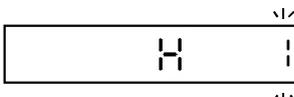
 販売休止 を押す。

確認の項目表示になるまで専用キーを押します。

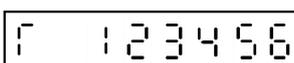
2 項目内容を選択する

 アップ  ダウン  を押す。

3 販売待機状態に戻る

 終了 を押す。

基本的な操作のしかた

(3) データをクリアする

1 データをクリアする機能項目を選択する(例:トータル売上個数のクリア)

 売上集計 を押す。

データをクリアする項目表示になるまで専用キーを押します。



2 項目内容を選択する

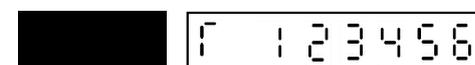
 を2秒以上押し続ける。

点検/クリアキーを2秒以上押し続けると、データがクリアされます。



3 販売待機状態に戻る

 を押す。

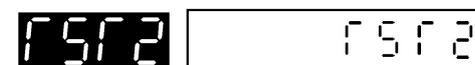


(4) 設定データをテストする

1 テストする項目を選択する(例:連続テスト販売)

 を2回押す。

テストする項目表示になるまで専用キーを押します。



2 項目内容を選択する

 () を押す。

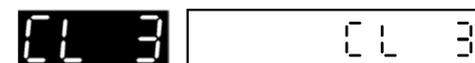
または  +  を押す。
テンキーボタン 購入ボタン



(例: コラム3)

3 テストを開始する

 を押す。



4 テストを停止する

 を押す。



5 販売待機状態に戻る

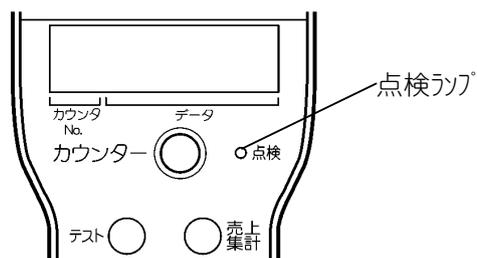
 を押す。



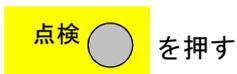
基本的な操作のしかた

(5)故障コードを確認する

1 点検ランプが点滅する



2 故障コードを表示する



デジタル表示 リモコン液晶表示

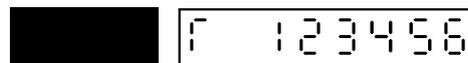


(例:故障コード 10)

3 故障の対処をする

故障コード一覧表をごらんになって故障の内容を確認し、対処します。

(6)操作を終了する



販売待機状態に戻ります。液晶表示部にトータルカウンタ値を表示します。

【終了】キーを押す以外にもつぎの方法で操作を終了することができます。

- ① 何もせずにそのまま30秒以上置く。
- ② 返却レバーを操作する（自動解除）。

専用キーの機能項目とデータ範囲

テスト、売上集計、販売休止、交互販売、コラム設定、価格設定、点検／クリアをまとめて専用キーと呼びます。

専用キーには、1または複数の項目が操作できる機能があります。

ここでは、専用キーの機能項目とその有効データ範囲について説明します。

複数の項目機能を有するキーを操作するときは、キーを押した回数で項目を選ぶことができます。

ひとつの項目の操作中に同じ専用キーを押すと、つぎの項目に移ります。

別の専用キー操作に移るときは、現在の操作を終了し、あらためてつぎの操作に移ります。

キーを押すごとに機能項目の内容、データ範囲とデジタル表示器に表示される文字が替わります。

テスト ● キー

操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
1回目	F5F1	単品テスト販売 コインテスト販売(コイン投入時)		—
2回目	F5F2	連続テスト販売 (テンキーボタン/リモコン)	搬出メカはシングルバンド	—
3回目	F5F3	位置修正半回転テスト	Yメカを移動せずにコラムモータを半回転動作	—
4回目	F5F4	順送りテスト販売 (テンキーボタン/リモコン)		—
5回目	F5F5	コラムモータ単品テスト販売	Yメカは移動せずにコラムモータのみ動作	—
6回目	F5F6	コラムモータ順送りテスト販売 (テンキーボタン/リモコン)	コラムモータを少しずつ起動を ずらして同時動作	—
7回目	F5F8	Yメカテスト販売 (テンキーボタン/リモコン)	ホームポジションから指定コラム位置までの縦移動のみ	—
8回目	F5FE	バンドエンドセンサテスト		—
9回目	F5FF	取出口扉スイッチテスト		—
10回目	F5FH	仕切板スイッチテスト (本機では使用しません)		—

専用キーの機能項目とデータ範囲

● 売上集計 キー

操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
1回目	F [] [L]	トータル売上個数の確認・クリア コラム別売上個数の確認・クリア	0～999,999個 0～999,999個	0個
2回目	F P [L]	トータル売上金額の確認・クリア コラム別売上金額の確認・クリア	0～999,999円 0～999,999円	0円
3回目	[G] [I] (GrNo.)	グループ別売上個数の確認・クリア	0～999,999個 20Gr	0個
4回目	[G] P [I] (GrNo.)	グループ別売上金額の確認・クリア	0～999,999円 20Gr	0円
5回目	P [I] (プライズNo.)	価格別売上個数の確認・クリア	0～999,999個	0個
6回目	P P [I] (プライズNo.)	価格別売上金額の確認・クリア	0～999,999円	0円
7回目	H	テスト販売個数の確認・クリア	0～999,999個	0個
8回目	d []	割引合計個数の確認・クリア	0～999,999個	0個
9回目	d P	割引合計金額の確認・クリア	0～999,999円	0円
10回目	r []	累計売上個数の確認・クリア	0～999,999個	継続
11回目	b []	現金累計売上個数の確認	0～999,999個	継続
12回目	[] []	現金以外累計売上個数の確認	0～999,999個	継続
13回目	r P	累計売上金額の確認	0～999,999円	継続
14回目	b P	現金累計売上金額の確認	0～999,999円	継続
15回目	[] P	現金以外累計売上金額の確認	0～999,999円	継続
16回目	F []	フリーバンド合計本数の確認・クリア	0～999,999個	継続
17回目	F P	フリーバンド合計金額の確認・クリア	0～999,999円	継続
18回目	F []	時間帯別売上個数の印字操作		—

● 売上集計 キー (2秒間長押し)

操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
	[]	カード(期間)売上個数の確認・クリア (マルチカードリーダー搭載機, または マルチブランド情報ありのみ表示)	0～999,999個	0個
1回目	P	カード(期間)売上金額の確認・クリア (マルチカードリーダー搭載機, または マルチブランド情報ありのみ表示)	0～999,999円	0円
2回目	r []	カード(累計)売上個数の確認・クリア (マルチカードリーダー搭載機, または マルチブランド情報ありのみ表示)	0～999,999個	継続
3回目	r P	カード(累計)売上金額の確認・クリア (マルチカードリーダー搭載機, または マルチブランド情報ありのみ表示)	0～999,999円	継続

専用キーの機能項目とデータ範囲

販売
休止 ● キー

操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
1回目	FL	1週間賞味期限の設定・確認	曜日 (0:全曜日, 1:日, 2:月, 3:火, 4:水, 5:木, 6:金, 7:土 0~24時間 任意のコラム 99:一括設定)	継続
2回目	H	設置時の販売休止時間/コラムの設定・確認	0~24時間 任意のコラム 99:一括設定	クリア
3回目	HE	ヘルスコード有効コラムの設定・確認 (強冷・弱冷共通)	任意のコラム 99:一括設定 クリアキー:一括解除	クリア
4回目	F	賞味期限前販売停止日数設定・確認	任意のコラム 99:一括設定 クリアキー:一括解除	継続

交互
販売 ● キー

操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
1回目	Gr	交互販売コラム設定・確認	任意のコラム (1~30Gr) クリアキー:一括解除	クリア
2回目	no i	販売不可コラム設定・確認	任意のコラム クリアキー:一括解除	クリア

コラム
設定 ● キー

操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
1回目	dRCE	品質保持期限の設定・確認	任意のコラム 99:一括設定	クリア
2回目	no i	販売個数切替設定・確認	1:1個売り 2:2個売り	1

価格
設定 ● キー

操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
1回目	120	販売価格の設定・確認	0~9,990円 10円単位 初期値120円表示 99:一括設定	0円
2回目	120 (点減)	カード価格の設定・確認 (カード付時のみ表示)	0~9,999円 1円単位 初期値120円表示	0円
*3回目	[nfg] S [nfg]	プライス別カウンタの設定・確認	各コラムに設定してある 価格の中から選択 0円:価格設定なし	—

*自動販売機の仕様によって表示されない場合があります。

専用キーの機能項目とデータ範囲

点検
クリア ● キー

操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
1回目	E7-コト	現在故障の確認	最大16項目	継続
2回目	32	過去故障の確認	最大16項目	継続
3回目	33	故障時の投入金額確認	0～9,990円 10円単位	クリア
4回目	34	故障時の販売金額確認	0～9,990円 10円単位	クリア
5回目	35	故障時の残金金額確認	0～9,990円 10円単位	クリア
6回目	36	故障時の月日確認	01-01～12-31	クリア
7回目	37	故障時の時分確認	00-00～23-59	クリア
8回目	38	ヘルスコード動作時の月日確認 (強冷・弱冷共通)	01-01～12-31 (過去3回分)	クリア
9回目	39	ヘルスコード動作時の時分確認 (強冷・弱冷共通)	00-00～23-59 (過去3回分)	クリア
10回目	310	高温売切れ発生日日の確認	01-01～12-31 (過去3回分)	クリア
11回目	311	高温売切れ発生時分の確認	00-00～23-59 (過去3回分)	クリア
12回目	312	詳細故障コードの確認		クリア
13回目	313	異常データの印字操作		クリア
14回目	314	異常発生時のコラム確認		クリア
15回目	315	設定データの印字操作		—
16回目	316	検査データの印字操作		—
17回目	317	販売口扉異常発生時の月日時分の確認	月日：01-01～12-31 時分：00-00～23-59 (過去15回分)	クリア
18回目	318	売切発生回数確認・クリア ([Eト]0-58設定が「1」の場合のみ表示)		
19回目	[L]	過去故障クリア	過去故障	—

● キー
フレッシュ
ナビ

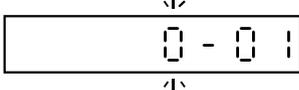
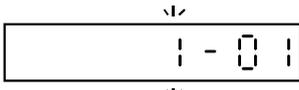
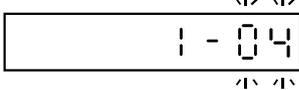
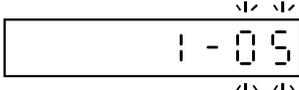
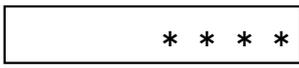
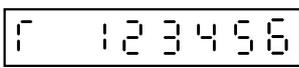
操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
		一括フレッシュナビの設定・確認	※Eト 0-08の設定が 1の場合	継続
		コラム別フレッシュナビの設定・確認	※Eト 0-08の設定が 2の場合	継続

※ 一括/コラム別フレッシュナビ機能は、モード0-08の設定により切り換わります。

モードキーの機能項目とデータ範囲

モードには、統一、選択、タイマ、機種固有設定、釣銭合わせ、ルーレット、カード、プリンタ、メンテナンスの9種類があり、それぞれモードには更に機能の操作項目番号があります。モードの操作項目番号を入力して機能の設定や確認をします。

(1)モードキー操作の基本

- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|---|---|---|
| 1  を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 |  |  |
| 2   を押す。
モード番号を入力します。入力したモード番号が点滅します。 |  |  |
| 3  を押す。
手順2で入力したモード番号が確定し、操作項目番号入力待ちの状態になります。1、2桁目を点滅表示します。 |  |  |
| 4   を押す。
操作項目番号を入力します。 |  |  |
| 5  を押す。
モードと操作項目が確定し、選択した項目の設定または確認の手順になります。 | 
↑
選択した項目の内容を表示します。 |  |
| 6 手順に従って操作をする。 |  |  |
| 7  を押す。
操作を終了し、待機状態に戻ります。
【終了】キーを押すかわりに返却レバーを操作するかまたは30秒間そのまま放置しても販売待機状態に戻ります。 |  |  |

補足

- 手順3、4で【モード/スタート/ストップ】キーを押すと、手順2に戻ります。
- 手順5、6で【モード/スタート/ストップ】キーを押すと、手順4に戻ります。

ただし、釣銭合わせの確認や払出し動作等のモードでスタート・ストップキーとして【モード/スタート/ストップ】キーを使用する場合は除きます。

モードキーの機能項目とデータ範囲

(2)機能項目とデータ範囲

モード  キー
 スタート
 ストップ

モード	操作回数	デジタル/リコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
統一	1回目	0-01	コラム別補給数の確認・クリア	任意コラム	クリア
	2回目	0-02	コラム別残数の確認・クリア	任意コラム	クリア
	3回目	0-05	メカカウンタごまかし対策の設定の確認	0：しない 1：する	継続
	4回目	0-06	庫内温度確認	1：庫内1温 2：庫内2温 〔簡易2室設定時のみ〕 表示 3：エバ温 4：外気温	—
	5回目	0-08	フレッシュナビ(一括orコラム別)設定・確認	0：設定しない 1：一括ルツナビ [®] 設定 2：コラム別ルツナビ [®] 設定 3：1週間の期限管理	継続
	6回目	0-13	Suica対応の設定・確認	0：Suica対応しない 1：Suica対応する	継続
	7回目	0-23	販売不可コラム設定	1：設定する (販売不可)	全コラム 販売可
	8回目	0-24	購入ボタン操作待ち時間の設定・確認	0：無限 5～30：秒待ち	0
	9回目	0-30	ラック構成の確認	<大型機> 1～6(棚数) 0～10(各棚のラック数) <中型機> 1～7(棚数) 0～7(各棚のラック数) <小型機> 1～7(棚数) 0～6(各棚のラック数)	継続
	10回目	0-38	テンキーボタンイルミネーション設定	0：しない 1：する	0
	11回目	0-47	テンキー仕様の設定	0：テンキーモード 1：ダイレクトモード	0
	12回目	0-51	取出口照明点滅時間の設定・確認 (取出口照明無し)	10～60:設定時間(10～60秒)経過後消灯 99：取出口ラック [®] -開閉検知で消灯(払出動作後は10秒で消灯)	継続
	13回目	0-52	ダミーコラムの設定・確認	任意コラム	0
	14回目	0-57	カード販売時の商品無発生時の改善機能	0：無効 1：有効	継続
	15回目	0-58	売切れ制御の設定・確認	0：商品無し売切 1：商品無し売切 +残数管理 2：商品無し売切(未使用)	継続
	16回目	0-60	Yメカ停止位置の設定・確認	1～7(各棚の列数) 0～999/パルス	継続

モードキーの機能項目とデータ範囲

モード	操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
統	17回目	0-65	コラムモータ押し込み時間の設定・確認	1~60(ラック数) 1~99(10ms単位)	全て43
	18回目	0-67	商品歯抜け時の売切回避の設定・確認	0:売切にする 1:1回だけ売切回避する	0
	19回目	0-77	段変更の設定・確認	パターン1~10	継続
	20回目	0-78	コイン投入照明ON機能の設定・確認	0:コイン投入機能無し 1:コイン投入機能有り 2:ウェイクアップ機能	1
	21回目	0-80	2コラム同時動作の設定・確認	任意コラム 1~30Gr	クリア
	22回目	0-81	温度ログプリンタ印字起動出力	1:庫内1印字起動 2:庫内2印字起動	継続
	23回目	0-82	暗証番号販売停止機能	000000000~999999999 (未使用時:fffffffff)	継続
	24回目	0-83	弱冷ヘルスコードの設定・確認	0:弱冷ヘルスコードしない 1:弱冷ヘルスコードする	1(する)
	25回目	0-84	弱冷ヘルスコード温度しきい値の設定・確認	22~35℃	22℃
選 択	1回目	1-04	グループ集計コラムの設定・確認	任意コラム(1~20Gr)	クリア
	2回目	1-05	つづけ買い個数の設定・確認	1~9個, 0:無制限	1:1個
	3回目	1-06	交互販売コラムの設定・確認	任意コラム(1~30Gr) クリアキー:一括解除	クリア
	4回目	1-08	設置時販売休止時間/コラムの設定・確認	0~24時間任意コラム 99:一括設定	クリア
	5回目	1-09	満杯収容数の設定・確認	0~999個	継続
	6回目	1-10	外部表示の設定・確認	0:表示しない 1:補給数 2:品質保持期限 3:品質保持期限 4:品質保持期限 +累計売上数 5:品質保持期限 +累計売上数 6:累計売上数 7:設定価格 8:コラム別 期間売上個数	0:表示 しない
	7回目	1-11	割引対象個数/コラムの設定・確認	1~9個, 0:しない 任意コラム	0:しない
	8回目	1-12	割引金額の設定・確認	0~90円	0円
	9回目	1-13	自動返金時間の設定・確認	1~30秒 0:無制限	0:無制限
	10回目	1-14	フリーベンドの設定・確認	0:しない, 1:する	継続
	11回目	1-15	過去故障の確認・クリア	最大16件	継続

モードキーの機能項目とデータ範囲

モード	操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時	
選 択	1 2 回目	1- 16	補給数リセット操作		—	
	1 3 回目	1- 17	庫内温度表示の設定・確認	0 : 表示しない 1 : 表示する	1 : 表示する	
	1 4 回目	1- 18	扉開閉日時の確認	過去 15 回分	クリア	
	1 5 回目	1- 19	販売履歴の確認・クリア	過去 20 回販売時の 「年月日時分」 「投入金額」 「販売金額」「残金」	クリア	
	1 6 回目	1- 24	ポイント合計数の確認・クリア	0 ~ 999, 999	クリア	
	1 7 回目	1- 25	ポイントカード発行枚数の確認・クリア	0 ~ 999, 999	クリア	
	1 8 回目	1- 26	ポイント数のクリア		—	
	1 9 回目	1- 27	消音モードの設定・確認	0 : 実施しない 1 : 実施する	1 : する	
	2 0 回目	1- 28	出荷時データへのプリセット操作		—	
	2 1 回目	1- 34	デジタル表示器のスクリーンセーバ設定 ・確認	0 : しない 1 ~ 4 : パターン 1 ~ 4	0 : しない	
	2 2 回目	1- 35	売切ランプ点灯原因の確認	4 桁	—	
	2 3 回目	1- 36	販売可能ランプ消灯原因の確認	4 桁	—	
	2 4 回目	1- 38	照明器具年間カレンダーの設定・確認	0 : しない 1 : する	継続	
	2 5 回目	1- 43	コラム別フリーバンド設定・確認		クリア	
	2 6 回目	1- 81	セット販売モード設定	0 : セット販売しない 1 : セット販売する(固定)	0 : しない	
	2 7 回目	1- 82	セット販売商品 1 (食品)設定	選択No.91~97の商品 1 とする任意コラム	クリア	
	2 8 回目	1- 83	セット販売商品 2 (飲料)設定	選択No.91~97の商品 2 とする任意コラム	クリア	
	2 9 回目	1- 84	セット販売割引金額の設定	0 ~ 90 円任意コラム		
	*	30 回目	1- 99	オールクリア操作		—
	タ イ マ マ	1 回目	2-01	スクールタイム時間帯の設定・確認	0 ~ 23時, 0 ~ 59分 (A ~ C の各パターン に最大一日 7 回)	全て
2 回目		2-02	スクールタイム曜日別パターン の設定・確認	A ~ C (各曜日に対して) 0 : パターン設定なし	0 : パターン 設定なし	
3 回目		2-03	照明器具節電時間帯 の設定・確認	0 ~ 23時, 0 ~ 59分	継続	
4 回目		2-05	現在時刻の設定・確認	0 ~ 23時, 0 ~ 59分	—	
5 回目		2-06	現在月日の設定・確認	1 ~ 12月, 1 ~ 31日	—	
6 回目		2-07	現在年の設定・確認	50 ~ 49 (1950 ~ 2049)	—	

* 本操作を行いますと価格設定もクリアされ、全売切れの状態になります。
再度、価格設定を行ってください。

モードキーの機能項目とデータ範囲

モード	操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
タ イ マ	7回目	2-08	庫内ファンコントロールの設定・確認	0:連続運転(ファンコントロールしない) 1:ファンコントロールする	0:連続運転(ファンコントロールしない)
	8回目	2-09	照明器具消灯条件の設定・確認	0:フットセサ, タイマどちらかOFF 1:フットセサ, タイマ両方OFF 2:フットセサOFF 3:タイマ OFF 4:フットセサON(暗くなったら消灯)の条件で消灯する	継続
	9回目	2-10	ビルバリデータ禁止時間帯の設定・確認	0~23時	クリア (00~00)
	10回目	2-11	照明器具消灯曜日の設定・確認	1~7(日~土) 設定曜日数:最大4	クリア(----)
	11回目	2-12	割引時間帯の設定・確認	0~23時	クリア (00~00)
	12回目	2-13	インベントリー禁止時間帯の設定・確認	0~23時	クリア (00~00)
	13回目	2-15	調光時間帯の設定・確認	0~23時	クリア (01~06)
	14回目	2-20	照明器具年間カレンダーの基準月の確認	1~12月	---
機 種 固 有 設 定	1回目	3-03	搬出メカコードの設定・確認	11:スパイラル式ラック 12~14, 16:コパア式ラック 19:[E-ド]3-16による	11
	2回目	3-06	オプションカウンタ仕様の設定・確認	0:カウンタなし 1:ブライスカウンタ/テストカウンタする 2:ブライスカウンタ/テストカウンタしない 3:グループカウンタ/テストカウンタする 4:グループカウンタ/テストカウンタしない 5:価格固定カウンタ(ブライスカウンタ/テストカウンタしない)	4:グループカウンタ/テストカウンタしない
	3回目	3-07	庫内温度レベルの設定・確認	C1:0~10 H2:-	継続
	4回目	3-12	構造モードの設定・確認	0:未設定 1:大型 2:中型 3:小型 (下1桁確認)	継続
	5回目	3-13	出荷時データのセット操作	0~9(9で書込みでデータセット)	---
	6回目	3-14	売上データクリア操作切換モードの設定・確認	0:コラム別売上クリア操作不可 1:コラム別売上クリア操作可能	継続
	7回目	3-15	通信速度の設定・確認	1:1200bps 2:4800bps 3:9600bps 4:19.2Kbps	継続
	8回目	3-16	搬送コンベア停止時間の設定・確認	0~99(×100msec)	継続

モードキーの機能項目とデータ範囲

モード	操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	ホールド時間
機種 固有 設定	9回目	3-18	室外ファン逆転制御の設定・確認	0:逆転しない 1:逆転する	0
	10回目	3-20	2000円札機能の設定・確認	0:制御しない 1:制御する	継続
	11回目	3-21	フォトセンサ感度/ブザー音量の設定・確認	1桁目:フォトセンサ感度 (0:遅い 1:標準 2:早い) 2桁目:ブザー音量 (0:切 1:小 2:大)	継続
	12回目	3-22	メニュー表図番(製品コード)の設定・確認	8桁 0~9, A~H	継続
	13回目	3-26	プライス別カウンタの設定価格の確認	プライスカウンタ 1~10	クリア
	14回目	3-28	トータル・コラム別キーカウンタ売上個数の確認・クリア	0~999,999	0
	15回目	3-30	扉開時の省エネ解除の設定・確認	0:扉開時の省エネ解除を実施しない 1:扉開時の省エネ解除を実施する	継続
	16回目	3-31	冷却庫内ON/OFF温度の設定・確認	-3~10℃ (強冷・簡易2室) -3~7℃ (弱冷)	継続
	17回目	3-33	トークン別コラム設定・確認	1:メダルA 2:メダルB	継続
	18回目	3-34	トークン別売上確認	JA, JB: 0~999,999	クリア
	19回目	3-46	セット販売売上個数の確認・クリア	0~999,999	継続
	20回目	3-47	セット販売累計売上金額の確認・クリア	0~999,999	継続
	釣銭 合わせ	1回目	4-01	釣銭合わせ枚数の確認・払出し動作 自動チューブ不足枚数: 0~98 手動チューブ不足枚数: 0~99	「0」:釣銭合わせ未設定 下2桁表示 「--」:増加チューブ有 4桁表示 「----」:過不足なし 各金種表示: 不足チューブ有
2回目		4-02	釣銭合わせ枚数の設定・確認	【自動チューブ】 金種毎: 0~98 釣銭合わせなし: 99 【手動チューブ】 金種毎: 0~998 釣銭合わせなし: 999	「自動チューブ」釣銭 合わせなし: 99 「手動チューブ」釣銭 合わせなし: 999
3回目		4-03	釣銭合わせモードの設定・確認	0:釣銭合わせなし 1:自動釣銭 合わせモード 2:自動チューブ 残量モード	0:釣銭 合わせなし

※ 3-33, 34 は、メダル対応C/M接続時のみ項目の表示を行います。

モードキーの機能項目とデータ範囲

モード	操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
カ ト	1回目	6-01	現金/カード同時投入可否の設定・確認	0:同時投入不可 1:同時投入可	0:不可
	2回目	6-02	カード返却モードの設定・確認	0:カード排出 1:カード取込み	0:排出
	3回目	6-03	IDカード発行月の設定・確認	1~12月	クリア(--)
	4回目	6-04	IDカード発行年の設定・確認	50~49 (1950~2049)	2000
	5回目	6-05	テストIDカード有効No.の設定・確認	101~110 (3桁目は1固定)	クリア(----)
	6回目	6-06	無効部署別IDカードNo.の設定・確認	01~110	クリア(--)
	7回目	6-07	テンキーボタン先選択有効時間の設定・確認	0~255 (0sec~255sec)	20
	8回目	6-08	モバイル決済履歴のプリンタ印字出力起動		---
	9回目	6-11	現金グループ別売上個数の確認・クリア	0~999,999個 20Gr	0
	10回目	6-12	現金以外グループ別売上個数の確認・クリア	0~999,999個 20Gr	0
	11回目	6-13	現金グループ別売上金額の確認・クリア	0~999,999円 20Gr	0
	12回目	6-14	現金以外グループ別売上金額の確認・クリア	0~999,999円 20Gr	0
	13回目	6-15	現金価格別売上個数の確認・クリア	0~999,999個	0
	14回目	6-16	現金以外価格別売上個数の確認・クリア	0~999,999個	0
	15回目	6-17	現金価格別売上金額の確認・クリア	0~999,999円	0
	16回目	6-18	現金以外価格別売上金額の確認・クリア	0~999,999円	0
	17回目	6-19	現金投入時の先選択解除の設定・確認	0:先選択解除しない 1:先選択解除する	1
	18回目	6-20	モバイル再タッチ時間の設定・確認	0~255:0~255秒	継続
	19回目	6-21	カード別状態モニタ確認 (マルチカードリーダー搭載機, または マルチブランド情報ありのみ表示)	Cd01~Cd08 0:運用 1:一時休止 2:閉局	---
20回目	6-22	カード別一時休止設定 (マルチカードリーダー搭載機, または マルチブランド情報ありのみ表示)	Cd01~Cd08 0:運用 1:一時休止	継続	
21回目	6-23	マネーブランド登録削除 (マルチカードリーダー搭載機, または マルチブランド情報ありのみ表示)	1~8:選択された カード別の売上印字 クリア	---	

※ 5 カードについては自販機に接続されていない場合は、項目の表示を行いません。

モードキーの機能項目とデータ範囲

モード	操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	オールクリア時
プ リ ン タ	1回目	7-01	プリンタ印字切換え設定	0: 印字しない 1: 補給数印字 2: 売切/売上/稼動	継続
	2回目	7-02	機種番号の設定・確認	8桁	継続
	3回目	7-03	商品コードの設定・確認	6桁	クリア
	4回目	7-04	トータル売上のクリア操作		
	5回目	7-05	コラム別売上の一括クリア操作		
	6回目	7-06	締め操作の連動設定	0: 連動する 1: 連動しない	0: 連動する
	7回目	7-07	締め印字の切換え設定	0: Gr+コラム別印字 1: Gr印字	0: Gr+コラム別印字
	8回目	7-09	販売履歴のプリンタ印字出力起動		—
	9回目	7-12	カード別印字確認(コラム) (マルチカードリーダー搭載機, または マルチブランド情報ありのみ表示)	0: 全カードのコラム 別売上情報 1~8: 選択されたカ ード別のコラム別売上 情報	0: 全カ ードのコ ラム別 売上情 報
	10回目	7-13	カード別印字確認(グループ) (マルチカードリーダー搭載機, または マルチブランド情報ありのみ表示)	0: 全カードのグルー プ別売上情報 1~8: 選択されたカ ード別のグループ別売 上情報	0: 全カ ードのグル ープ別売 上情報
	11回目	7-14	カード別印字確認(価格) (マルチカードリーダー搭載機, または マルチブランド情報ありのみ表示)	0: 全カードの価格別 売上情報 1~8: 選択されたカ ード別の価格別売上情 報	0: 全カ ードの価 格別売上 情報
	12回目	7-15	プリンタボタン切換え選択の設定・確認	0: 標準印字 1: コラム別価格印字	0: 標準 印字
	13回目	7-16	カード接続時の印字フォーマット切換え設定 ・確認	0: 標準印字フォーマット 1: カード接続時の印字 フォーマット	0: 標準 印字フォー マット
サー ビス	1回目	8-01	コンプレッサ強制運転機能		
	2回目	8-02	コンデンサファン強制運転機能		
	3回目	8-03	庫内ファン強制運転機能		
	4回目	8-04	電磁弁強制運転機能		
メ ン テ ナ ン ス	1回目	9-01	コンプレッサ稼動時間の確認・クリア	0~999,999時間	クリア
	2回目	9-02	庫内ファン稼動時間の確認・クリア	0~999,999時間	0時間
	3回目	9-03	コインメカニズムの投入/排出枚数の確認	6桁	クリア
	4回目	9-04	B/Vの識別回数の確認	6桁	クリア
	5回目	9-05	バンドメカ動作回数の確認・クリア	0~999,999回	クリア
	6回目	9-09	オフライン通信履歴の確認	交信年: 1950~2049年 交信月日: 1月1日~ 12月31日 交信時分: 00時00分~ 23時59分 交信コマンド: 0000~9999 エリア内容: 0000~9999 (0がプレシしない)	

モードキーの機能項目とデータ範囲

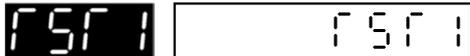
モード	操作回数	デジタル/リモコン 液晶表示器	項目内容	データの範囲(備考)	ホールド時間
メ ン テ ナ ン ス	7回目	9-10	オフライン収集履歴の確認	交信年: 1950~2049年 交信月日: 1月1日~ 12月31日 交信時分: 00時00分~ 23時59分 収集内容: 0000~9999	
	8回目	9-16	圧力平衡処理時間の設定	0~300秒	継続
	9回目	9-17	室外ファン停止遅延時間の設定・確認	0~999秒	継続
	10回目	9-18	室外ファン停止遅延しきい値温度の設定 ・確認	-19~79℃	継続
	11回目	9-20	WAWB制御時間の設定・確認	WA1: 0~24(時間) WB: 0~30(時間)	継続
	12回目	9-21	WAWB制御シフト量の設定・確認	0~5レベルシフト	継続
	13回目	9-23	庫内ファンスタート遅延時間の設定・確認	0: 庫内ファンスタート遅延し ない(ヒータが入ると同 時に庫内ファン起動する) 1~99: 庫内ファンをヒータ が入ってから指定され た時間遅れて起動させ る	継続
	14回目	9-24	庫内ファン高速間欠運転間隔の設定・確認	0: 連続運転 1: 400msON/100msOFF 2: 300msON/200msOFF 3: 100msON/400msOFF 4: 200msON/300msOFF	継続
	15回目	9-70	冷却加温自己診断の設定・確認	GO: 冷却加温自己診断 実行中 STOP: 冷却加温自己 診断停止中	---
	16回目	9-71	冷却加温自己診断の結果表示	試験結果 [Good nG --(試験未実施時)] 温度表示 [-19~79℃ --(センサ異常・試験未 実施時) Er(温度差での判断 異常時)]	---
	17回目	9-80	電源ON回数の確認	0~9,999回	継続
	18回目	9-81	電源ON累積時間の確認	0~999,999時間	継続
	19回目	9-82	ドア開閉回数の確認	0~999,999回	継続
	20回目	9-83	総累計ベンドメカ動作回数の確認	0~999,999回	継続
	21回目	9-84	防露ヒータ間欠運転温度の設定・確認	各運転モード(C/CH)毎に 設定 上限温度: 「下限温度+1」~79℃ 下限温度: 1~「上限温度-1」℃	継続
	22回目	9-85	防露ヒータ間欠運転時間の設定・確認	各運転モード(C/CH)毎に 設定 ON時間: 1~99分 OFF時間: 1~99分	継続
	23回目	9-86	WAWB時の防露ヒータ動作切換えの設定 ・確認	0: 動作しない 1: 動作する	継続

操作手順

(1) 単品テスト販売

メインドアのテンキーボタンを押して、商品が1個ずつ正しく販売されるかをテストします。

1 **テスト** ● を押す。

デジタル表示 リモコン液晶表示


2 ○ + **購入** を押す。
 テンキーボタン 購入ボタン



(例 CL7:1547)

現在表示中のコラムの商品を1個販売します。別のコラムの単品テストをするときは、再び別のコラムNo.を選択してください。

3 ● **終了** を押す。



待機状態に戻ります。

補足

- ・単品テストの解除方法
 1. 30秒放置による自動解除
 2. 返却レバー操作
 3. 終了キー操作
 4. 販売後30秒放置による自動解除
- ・単品テストは、売切れコラム・異常コラムの販売はできません。
- ・販売動作は、ガラス扉または外扉(ガラス扉無時)を閉めて行ってください。閉めないと販売動作は行いません。

操作手順

(2)コラムモータ単品テスト販売

メインドアのテンキーボタンを押して、商品が1個ずつ正しく販売されるかをテストします。(Yメカは動作しません。)

1  テスト を4回押す。

デジタル表示 リモコン液晶表示
 

2  +  を押す。

テンキーボタン 購入ボタン

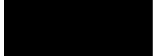
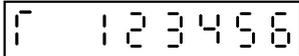
 

(例 CL7:1547)

現在表示中のコラムの商品を1個販売します。別のコラムモータの単品テストをするときは、再び別のコラムNo.を選択してください。

3  終了 を押す。

待機状態に戻ります。

補足

- ・コラムモータ単品テストの解除方法
 1. 30秒放置による自動解除
 2. 返却レバー操作
 3. 終了キー操作
 4. 販売後30秒放置による自動解除

操作手順

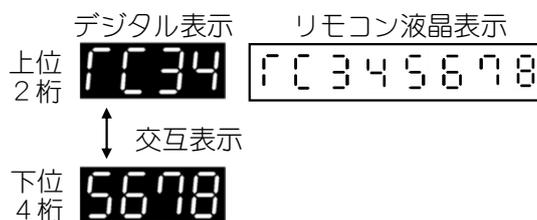
(3)トータル売上個数, コラム別売上個数の確認・クリア(コラム別売上操作可能のとき)

◆ モード3-14の設定が1の場合

トータル売上個数, コラム別売上個数の確認・クリアをします。

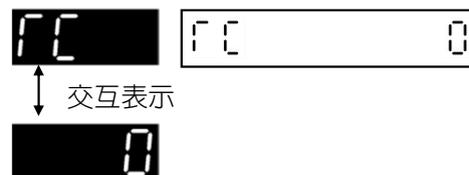
1 ● 売上集計 を押す。

トータル売上個数を表示します。デジタル表示器には売上個数の上位2桁, 下位4桁を交互に表示します。



(1) ● 点検クリア を2秒以上押し続ける。

トータル売上個数がクリアされます。同時にトータル売上金額もクリアされます(コラム別売上個数, 金額はクリアされません)。



2 ○ + 購入 を押す。
テンキーボタン 購入ボタン

2桁のコラムNoを入力するときは最後に入力した2文字が有効です。また, この時訂正ボタンを押すと入力キャンセルし, 手順1に戻ります。コラム番号を表示した後, デジタル表示器には, 売上個数の上位2桁, 下位4桁を交互に表示します。



3 ▲ アップ (▼ ダウン) を押す。

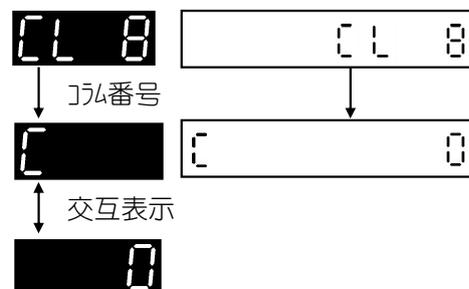
コラム番号が変わります。最後のコラムまで表示すると, つぎに「End」を表示します。



■ 売上データをクリアする

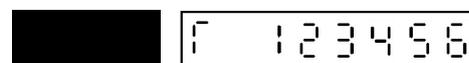
4 ● 点検クリア を2秒以上押し続ける。

表示中のコラムのコラム別売上個数をクリアします。同時にそのコラム別売上金額もクリアされます。(トータル売上個数, 金額はクリアされません。)



5 ● 終了 を押す。

待機状態に戻ります。



操作手順

(3)トータル売上個数, コラム別売上個数の確認・クリア(コラム別売上操作可能のとき)(つづき)

補足

- 売上データをそのまま残すときは, 手順3の後, [終了] キーを押してください。
- 最後のコラムまで表示すると「E n d」を表示し, もう一度 [アップ(ダウン)] キーを押すと, 最初または最後のコラム番号に戻ります。
- (1)の手順にてトータル売上個数をクリアしてもコラム別売上個数はクリアされません。
4の手順にてコラム別売上個数をクリアしてもトータル売上個数はクリアされません。
- 手順4にて「E n d」表示中にクリア操作を行うと, 全てのコラムのコラム別売上個数がクリアされます。
- トータル売上個数, コラム別売上個数の両方をクリアした場合, 同時にトータル売上金額, コラム別売上金額もクリアされます。
- 個数が6桁を超えた場合は, 下6桁の個数を表示します。

操作手順

(4)トータル売上個数, コラム別売上個数の確認・クリア(コラム別売上操作不可のとき)(つづき)

補足

- ・売上データをそのまま残すときは, 手順3の後, [終了] キーを押してください。
- ・最後のコラムまで表示すると「E n d」を表示し, もう一度 [アップ(ダウン)] キーを押すと, 最初または最後のコラム番号に戻ります。
- ・トータル売上個数, コラム別売上個数をクリアした場合, 同時にトータル売上金額, コラム別売上金額もクリアされます。
- ・個数が6桁を超えた場合は, 下6桁の個数を表示します。

操作手順

(5)トータル売上金額, コラム別売上金額の確認・クリア(コラム別売上操作可能のとき)

◆ モード3-14の設定が1の場合

トータル売上金額, コラム別売上金額の確認・クリアをします。

1 ● 売上
集計 を2回押す。

トータル売上金額を表示します。デジタル表示器には売上金額の上位2桁, 下位4桁を交互に表示します。



(1) ● 点検
クリア を2秒以上押し続ける。

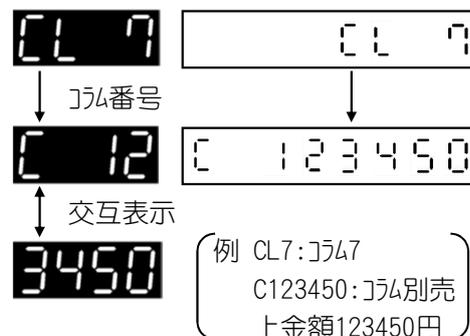
トータル売上金額がクリアされます。同時にトータル売上個数もクリアされます(コラム別売上個数, 金額はクリアされません)。



2 ○ + 購入 を押す。

テンキーボタン 購入ボタン

2桁のコラムNoを入力するときは最後に入力した2文字が有効です。また, この時訂正ボタンを押すと入力キャンセルし, 手順1に戻ります。コラム番号を表示した後, デジタル表示器には売上金額の上位2桁, 下位4桁を交互に表示します。



3 ▲ アップ (ダウン ▼) を押す。

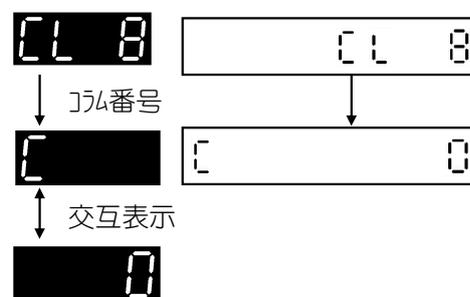
コラム番号が変わります。最後のコラムまで表示すると, つぎに「End」を表示します。



■ 売上データをクリアする

4 ● 点検
クリア を2秒以上押し続ける。

表示しているコラムのコラム別売上金額のみクリアされます。同時にそのコラムのコラム別売上個数もクリアされます。(トータル売上個数, 金額はクリアされません。)



5 ● 終了 を押す。

待機状態に戻ります。



操作手順

(5)トータル売上金額, コラム別売上金額の確認・クリア(コラム別売上操作可能のとき)(つづき)

補足

- 売上データをそのまま残すときは, 手順3の後, [終了] キーを押してください。
- 最後のコラムまで表示すると「E n d」を表示し, もう一度 [アップ(ダウン)] キー を押すと, 最初または最後のコラム番号に戻ります。
- (1)の手順にてコラム売上金額をクリアしてもコラム別金額はクリアされません。
4の手順にてコラム別売上金額をクリアしてもトータル売上金額はクリアされません。
- 手順4にて「E n d」表示中にクリア操作を行うと, 全てのコラムのコラム別売上金額がクリアされます。
- トータル売上金額, コラム別売上金額の両方をクリアした場合, 同時にトータル売上個数, コラム別売上個数もクリアされます。
- 金額が6桁を超えた場合は, 下6桁の金額を表示します。

操作手順

(6) トータル売上金額, コラム別売上金額の確認・クリア(コラム別売上操作不可のとき)

◆ モード3-14の設定が0の場合

トータル売上金額, コラム別売上金額の確認・クリアをします。

1 ● 売上
集計 を2回押す。

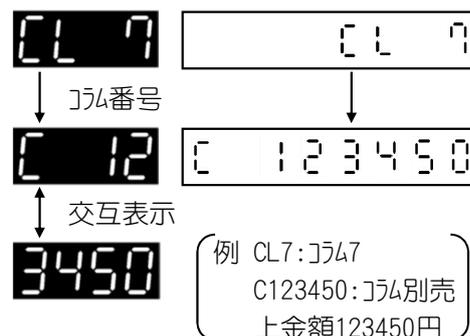
トータル売上金額を表示します。デジタル表示器には売上金額の上位2桁, 下位4桁を交互に表示します。



2 ○ + 購入 を押す。

テンキーボタン 購入ボタン

2桁のコラムNoを入力するときは最後に入力した2文字が有効です。また, この時訂正ボタンを押すと入力キャンセルし, 手順1に戻ります。コラム番号を表示した後, 上位2桁, 下位4桁を交互に表示します。



3 △ アップ (ダウ ン ▼) を押す。

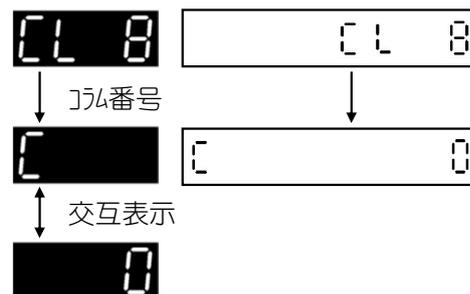
コラム番号が変わります。押し続けると早く変わります。最後のコラムまで表示すると, つぎに「End」を表示します。



■ 売上データをクリアする

4 ● 点検
クリア を2秒以上押し続ける。

どのコラムを表示していても, トータル売上金額, 全てのコラムのコラム別売上金額がクリアされます。



5 ● 終了 を押す。

待機状態に戻ります。



操作手順

(6)トータル売上金額, コラム別売上金額の確認・クリア(コラム別売上操作不可のとき)(つづき)

補足

- ・売上データをそのまま残すときは, 手順3の後, [終了] キーを押してください。
- ・最後のコラムまで表示すると「E n d」を表示し, もう一度 [アップ(ダウン)] キーを押すと, 最初または最後のコラム番号に戻ります。
- ・トータル売上金額, コラム別売上金額を表示中にクリア操作を行うと, トータル売上個数, 全てのコラムのコラム別売上個数がクリアされます。
- ・トータル売上金額, コラム別売上金額をクリアした場合, 同時にトータル売上個数, コラム別売上個数もクリアされます。
- ・金額が6桁を超えた場合は, 下6桁の金額を表示します。

操作手順

(7)1週間賞味期限の設定・確認

フレッシュナビの設定(モード0-08)にて、「3:1週間の期限管理」設定時に本設定が有効になります。コラムと賞味期限(曜日-時)を設定します。

1 **販売
休止** を押す。

1週間賞味期限の設定項目になります。

デジタル表示

FL

リモコン液晶表示

FL

2 **書込み** を押す。

期限の終りが表示されます。

0-00

0-00

3 **アップ** (**ダウン**) を押す。

期限(日)の終りを変更することができます。
押し続けると早く変わります。

2-00

2-00

{ 0:全曜日(毎日) 1:日曜日 } ↑
{ 2:月曜日 3:火曜日 4:水曜日 } ↑
{ 5:木曜日 6:金曜日 7:土曜日 }

4 **書込み** を押す。

2-00

2-00

5 **アップ** (**ダウン**) を押す。

期限(時)の終わりを変更することができます。
押し続けると早く変わります。

2-02

2-02

{ 01~24:01~24時 } ↑
{ 00:未設定(売切にしない) }

6 **書込み** を押す。

期限(日, 時)が設定され, 表示します。

2-02

2-02

7 **テンキーボタン** を押す。

テンキーボタン

対象コラムの番号を入力します。
訂正ボタンを押すと入力キャンセルし, 手順6に戻ります。

CL 7

CL 7

8 **購入** を押す。

購入ボタン

交互表示し, コラムは現在表示している賞味期限の曜日順に設定されます。

0→購入と押せばコラム表示が消え, そのコラムの賞味期限設定は解除します。液晶リモコン側はコラム番号と賞味期限の曜日順を同時に表示します。

CL 7

CL 7 2-02

↑ 交互表示

2-02

9 **終了** を押す。

待機状態に戻ります。

FL

FL 123456

※ : 点滅表示

操作手順

(7)1週間賞味期限の設定・確認(つづき)

補 足

1. 設定範囲

曜日：0：全曜日 1：日曜日 2：月曜日 3：火曜日 4：水曜日 5：木曜日
6：金曜日 7：土曜日

時：00～24（01～24：01～24時，00：未設定（売切にしない））

※「24」設定時は当日の00時を示します。

コラム：任意のコラム

99：全コラム

2. 賞味期限が1週間を超えるものは設定できません。

3. 賞味期限設定後には、設定データをオルタネートします。

4. 現在の内容を確認するときは、手順6の後に購入ボタンを押してください。

現在設定中のコラムのNo.と賞味期限の時間が交互表示し、購入ボタンを押すたびに設定されているコラムNo.の若い方から表示します。（手順8のデジタル表示）

交互表示しているコラムNo.時の、0→購入で解除します。

5. 手順8の時に、【アップ(ダウン)】キーを押すと手順3に戻ります。

賞味期限の時間とコラムの両方を設定してください。

賞味期限の時間が0またはコラムを設定しないと賞味期限設定は行いません。

6. コラム入力時、99を入力すると全コラム一括で設定ができます。

7. 設定データは売切れになっても消えません。設定データは保持します。

8. いずれかのコラムに設定有りの場合は、リモコンの設定完了ランプが点灯します。
全てのコラムに設定無しの場合は消灯します。

9. 賞味期限により売切れが発生している時は、リモコンの設定完了ランプが点滅します。
売切れはフレッシュナビスイッチを押すと解除されます。

10. フレッシュナビスイッチを2秒間以上押し続けると全コラムの設定をクリアします。

11. 本設定にて特定のコラムで指定した曜日の時間に売切にすることができます。
下表は、販売状態や各ランプ、スイッチの関係を例として示したものです。

<操作>

A：リモコンにて任意のコラムに賞味期限を「5-23」（木曜23時）に設定する
→リモコンの設定完了ランプが点灯

B：賞味期限が過ぎてからリモコンのフレッシュナビスイッチを押して売切を解除する
→リモコンの設定完了ランプは点灯し、販売も可能になる
→つぎの週の賞味期限に再設定される

C：その後、リモコンのフレッシュナビスイッチを2秒間以上押し続ける
→全てのコラムの賞味期限設定が解除され、設定完了ランプも消灯する
（全コラムを同一の期限設定にした場合、販売不可時は販売中ランプと蛍光灯が消灯し、準備中ランプが点灯します）

曜	日	日	月	火	水	木	金	土	
操	作	A				23:00	B	C	
		↓				↓	↓	↓	
販	売	販				販		販	
	状	売				不		可	
	態	可				可		可	
リ	モ	消	点			点	点	消	
コ	ン	灯	灯			滅	灯	灯	
設	定								
完	了								
ラ	ン								
プ									

操作手順

(8) 交互販売コラム設定・確認

交互販売コラムを設定・確認します。

1  を1回押す。

交互販売コラム設定・確認モードに入ります。
交互販売グループ1の表示を行います。

デジタル表示

リモコン液晶表示

Or 1

Or 1

2  +  を押す。

テンキーボタン 購入ボタン

指定されたコラムNo.を右記のように交互表示します。
0→購入と押すと交互販売を止め交互販売グループ設定が解除されます。この時、そのグループに設定されている価格が違うコラムやメカ的に設定不可のコラムを設定しようとした場合はブザー音（ピ、ピ、ピ）にて、警告し設定されません。液晶リモコン側はコラム番号とグループ番号を同時に表示します。

Or 1

CL 7 Or 1

↑ 交互表示

CL 7

3  アップ  ダウン を押す。

グループ番号を変更します。

最大グループの次にアップまたは、グループ1の次にダウンしたら「End」表示します。

Or 22

Or 22

End

End

4  を2秒以上押し続ける。

Or 1

Or 1

5  を押す。

待機状態に戻ります。

1 2 3 4 5 6

補足

< 同一グループ設定不可条件 >

- ・現金価格、カード価格どちらか一方でも価格設定が違う。
- ・1つのコラムは複数の交互販売グループには設定できません。
- ・確認のみ行う場合は、手順2の時に購入ボタンのみを押してください。押すたびに、デジタルに表示されているグループに該当するコラムNo.を若い順に手順2のデジタル表示のように交互表示します。
- ・交互販売を全グループともクリアする時のみ手順4を行ってください。
- ・OCM設定との同時設定が可能です。

操作手順

(9)品質保持期限の設定・確認

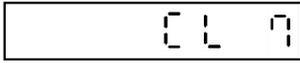
品質保持期限の設定・確認をします。

- 1** コラム
設定  を押す。
品質保持期限コラム設定・確認モードに入ります。

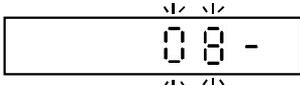
デジタル表示 リモコン液晶表示

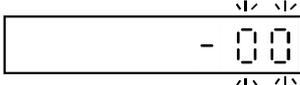
- 2**  + 購入 を押す。
テンキーボタン 購入ボタン
指定されたコラムNo.を表示します。

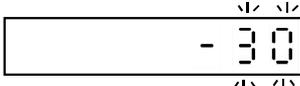
- 3** ▲ アップ (ダウン ▼) を押す。
コラムの品質保持期限設定の開始日付を表示します。
さらにアップ、ダウンキーにて開始日付を変更します。

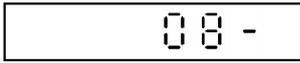
- 4** ● 書込み を押す。
開始日付が設定されて同時に終了日付を表示します。

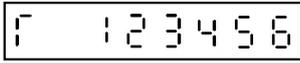
- 5** ▲ アップ (ダウン ▼) を押す。
終了日付を変更します。

- 6** ● 書込み を押す。
終了日付が設定されて、設定された日付が交互表示します。

 
↑ 交互表示 ↓ 交互表示
 

- 7** ● 終了 を押す。
待機状態に戻ります。

* : 点滅表示

補 足

- ・手順2でコラム99で設定すると全てのコラムが対象になります。
- ・入力範囲は、1-01~12-31です。

操作手順

(10)販売価格の設定・確認

販売価格を設定・確認します。

1  **価格設定** を押す。

販売価格設定項目になります。最初に価格 1 2 0 円を表示します。

デジタル表示

120

リモコン液晶表示

120

2  **アップ** ( **ダウン**) を押す。

価格を変更します。押し続けると早く変わります。

150

150

(例 150:販売価格 150円)

3  を押す。

テンキーボタン

指定されたコラムNo.を表示します。

CL 7

CL 7

4  **購入** を押す。

購入ボタン

該当コラムは表示されている価格に設定されます。
手順 3, 4 を繰り返すことにより、同一価格に設定する複数のコラムを指定することができます。
別の価格に移る時は手順 2 へ。

150

CL 7 150

↑ 交互表示

CL 7

5  **終了** を押す。

待機状態に戻ります。

123456

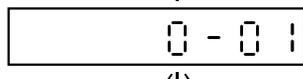
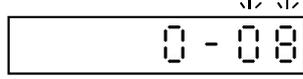
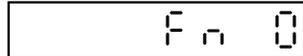
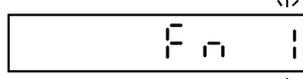
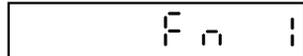
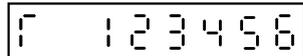
補 足

- ・設定範囲 0 ~ 9 9 9 0 円, 1 0 円単位
- ・販売価格の確認だけを行う時には、手順 2, 3 を行わずに購入ボタンのみを押してください。
- ・現在販売価格とコラムのNo.が交互表示し、購入ボタンを押すたびに設定されているコラムNo.の若い方から表示します (手順 4 のデジタル表示)。
- ・手順 4 の時に、[アップ(ダウン)] キーを押すと手順 2 に戻ります。
- ・続けて別の価格に設定する時には、手順 2, 3, 4 を繰り返してください。
- ・全価格同一に設定する場合には、手順 3 時にコラムNo.9 9 で入力設定することができます。
(確認操作は全コラムNo.を表示します)

操作手順

(11)フレッシュナビ(一括orコラム別)の設定・確認

フレッシュナビ機能の設定・確認をおこないます。

- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|--|--|---|
| <p>1 モード  を押す。
スタート
ストップ</p> <p>モード番号入力待ちの状態になります。</p> |  |  |
| <p>2 書込み  を押す。</p> <p>モード番号0を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。</p> |  |  |
| <p>3 アップ  ダウン  を押す。</p> <p>項目番号を08にします。押し続けると早く変わります。</p> |  |  |
| <p>4 書込み  を押す。</p> <p>フレッシュナビ一括orコラム別の設定項目になります。</p> |  |  |
| <p>5 アップ  ダウン  を押す。</p> <p>データが点滅し、変更可能になります。</p> |  |  |
| <p>6 書込み  を押す。</p> <p>フレッシュナビ一括orコラム別の設定が確定します。</p> |  |  |
| <p>7 終了  を押す。</p> <p>待機状態に戻ります。</p> |  |  |

例 0:設定しない
 1:一括フレッシュナビ 設定
 2:コラム別フレッシュナビ 設定
 3:一週間の期限管理設定

※ : 点滅表示

補足

・本設定の確認のみを行う場合は、手順5の後に終了キーを押してください。

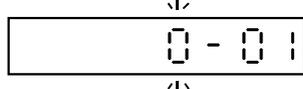
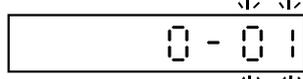
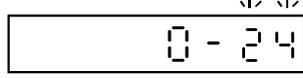
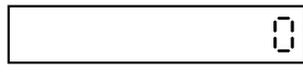
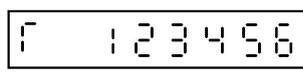
・設定範囲

- 0 : 設定しない
- 1 : 一括フレッシュナビ設定
- 2 : コラム別フレッシュナビ設定
- 3 : 一週間の期限管理設定

操作手順

(12)購入ボタン操作待ち時間の設定・確認

操作部のテンキーボタンを押してから購入ボタンを押すまでの間の有効時間を設定します。

- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|---|--|---|
| 1  を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 |  |  |
| 2  を押す。
モード番号0が確定し、項目番号の入力待ち状態になります。 |  |  |
| 3  アップ ( ダウン) を押す。
項目番号を24にします。押し続けると早く変わります。 |  |  |
| 4  を押す。
購入ボタン操作待ち時間の設定項目になります。 |  |  |
| 5  アップ ( ダウン) を押す。
データを変更することができます。押し続けると早くかわります。 |  |  |
| 6  を押す。
データが設定されます。 |  |  |
| 7  終了 を押す。
待機状態に戻ります。 |  |  |

※：点滅表示

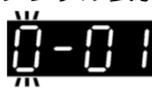
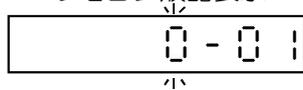
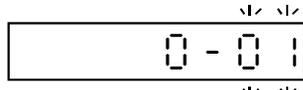
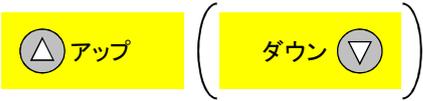
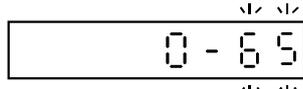
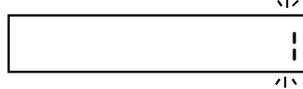
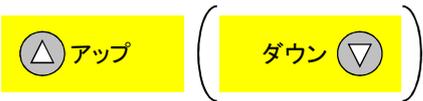
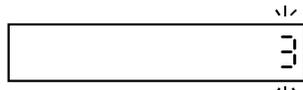
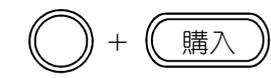
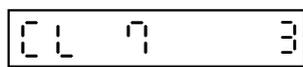
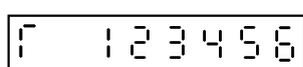
補足

- ・設定範囲0：無制限
- ・5～30：5～30秒（左記時間後にデジタルに表示しているコラムを販売します）

操作手順

(13) コラムモータ押込み時間の設定・確認

コラムモータの押込み時間をコラムNo.毎に設定・確認します。

- | | | | |
|----------|---|--|---|
| 1 |  を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 | デジタル表示
 | リモコン液晶表示
 |
| 2 |  を押す。
モード番号0を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。 |  |  |
| 3 |  を押す。
項目番号を65にします。押し続けると早く変わります。 |  |  |
| 4 |  を押す。
コラムモータ押込み時間の設定項目になります。 |  |  |
| 5 |  を押す。
データが点滅し、変更可能になります。押し続けると早く変わります。 |  |  |
| 6 |  を押す。
テンキーボタン 購入ボタン
表示されているコラムモータ押込み時間に設定したいコラムNo.を設定することができます。最新の設定済のコラムNo.を交互表示します。コラム99を入力すると全てのコラムのコラムモータ押込み時間を一括で変更します。 | 
↓ 交互表示
 |  |
| 7 |  を押す。
待機状態に戻ります。 |  |  |

※：点滅表示

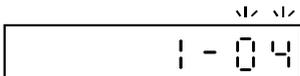
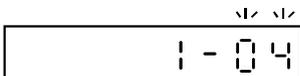
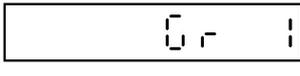
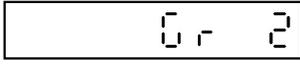
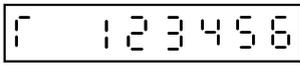
補足

- ・標準仕様時は設定変更不要です。
- ・設定範囲
 - コラムNo. 1～60（コラムNo.），99（全コラム）
 - 押込み時間：1～99（単位：10ms）
- ・確認だけを行う時には、手順6を行わずに購入ボタンのみを押します。現在の設定時間とコラムNo.が交互表示し、購入ボタンを押す毎に若い方から順番に表示します（手順5のデジタル表示）。
- ・次の設定項目を変更した際、本設定はデフォルト値（43）に自動的に戻ります。
 - ・[モード] 0-77：段変更の設定・確認
 - ・[モード] 3-03：搬出メカコードの設定・確認
 - ・[モード] 3-12：構造モードの設定・確認

操作手順

(14)グループ集計コラムの設定・確認

販売価格別や販売商品毎による販売集計をするためにコラムをグループ設定します。

- | | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|----------|--|--|---|
| 1 | <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; border-radius: 5px;"> モード
スタート </div> <div style="font-size: 2em;">○</div> <div>を押す。</div> </div> <p>モード番号入力待ちの状態になります。</p> |  |  |
| 2 | <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; border-radius: 5px;"> アップ </div> <div style="font-size: 2em;">△</div> <div style="font-size: 2em;">▽</div> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; border-radius: 5px;"> ダウン </div> <div>を押す。</div> </div> <p>モード番号を 1 にします。押し続けると早く変わります。</p> |  |  |
| 3 | <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; border-radius: 5px;"> 書込み </div> <div style="font-size: 2em;">○</div> <div>を押す。</div> </div> <p>手順 2 で選択したモード番号 1 を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。</p> |  |  |
| 4 | <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; border-radius: 5px;"> アップ </div> <div style="font-size: 2em;">△</div> <div style="font-size: 2em;">▽</div> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; border-radius: 5px;"> ダウン </div> <div>を押す。</div> </div> <p>項目番号を 0 4 にします。</p> |  |  |
| 5 | <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; border-radius: 5px;"> 書込み </div> <div style="font-size: 2em;">○</div> <div>を押す。</div> </div> <p>グループ集計コラムの設定項目が確定し、グループ番号 1 を表示します。</p> |  |  |
| 6 | <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">○</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">購入</div> <div>を押す。</div> </div> <p>テンキーボタン 購入ボタン</p> <p>表示されているグループ番号に設定したいコラムNo.を設定することができます。
最新の設定済のコラムNo.を交互表示します。
また、0→購入と押すと設定が解除され、次の設定コラムの表示になります。</p> |  |  |
| | | ↑ 交互表示 | |
| | |  | |
| 7 | <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; border-radius: 5px;"> アップ </div> <div style="font-size: 2em;">△</div> <div style="font-size: 2em;">▽</div> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; border-radius: 5px;"> ダウン </div> <div>を押す。</div> </div> |  |  |
| 8 | <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; border-radius: 5px;"> 終了 </div> <div style="font-size: 2em;">○</div> <div>を押す。</div> </div> <p>待機状態に戻ります。</p> |  |  |

※：点滅表示

補 足

- ・設定範囲 1～20グループ 任意コラム
- ・「E n d」と表示された時には、最後（最初）のグループまで表示したことを示し、再度、【アップ（ダウン）】キーを押すと最初または最後のグループ番号に戻ります。
- ・確認のみ行う場合は手順6の時にテンキーボタンのみを押してください。その際、デジタルに手順6のように表示しているグループ番号と設定されている最小のコラムNo.が交互表示し、購入ボタンを押す度にコラムNo.が変わります。

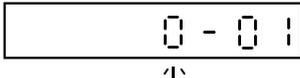
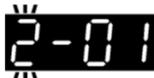
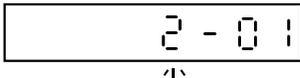
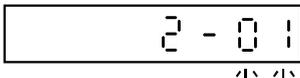
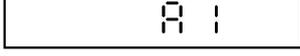
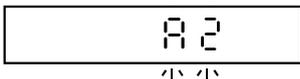
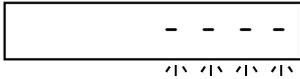
操作手順

(15) スクールタイム時間帯の設定・確認

販売時間帯（一日あたり最大7回）の設定・確認をします。

スクールタイムとは、学校などで休み時間だけ、自動販売機を使用できるように販売時間帯を設定する機能をいいます。

スクールタイム時間帯の設定は、一日あたり最大7回、この最大7回の設定パターンをA・B・Cの最大3種類記憶することができます。

- | | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|----------|---|--|---|
| 1 | <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> ● </div> <div style="text-align: center;"> <p>モード
スタート</p> </div> </div> <p>を押す。</p> <p>モード番号入力待ちの状態になります。</p> |  |  |
| 2 | <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> ▲ </div> <div style="text-align: center;"> <p>アップ</p> </div> <div style="font-size: 2em;">(</div> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> ▼ </div> <div style="text-align: center;"> <p>ダウン</p> </div> <div style="font-size: 2em;">)</div> </div> <p>を押す。</p> <p>モード番号を2にします。押し続けると早く変わります。</p> |  |  |
| 3 | <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; display: flex; align-items: center; justify-content: center; gap: 5px;"> ● </div> <p>書込み</p> <p>を押す。</p> <p>手順2で選択したモード番号2を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。</p> |  |  |
| 4 | <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; display: flex; align-items: center; justify-content: center; gap: 5px;"> ● </div> <p>書込み</p> <p>を押す。</p> <p>スクールタイム時間帯の設定項目になります。「A 1」はAパターンの1回目の販売可能時間帯を示します。「A 1」の時間帯を設定する場合は、もう一度[書込み]キーを、別の時間帯を設定する場合は、[アップ(ダウン)]キーを押します。</p> |  |  |
| 5 | <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> ▲ </div> <div style="text-align: center;"> <p>アップ</p> </div> <div style="font-size: 2em;">(</div> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> ▼ </div> <div style="text-align: center;"> <p>ダウン</p> </div> <div style="font-size: 2em;">)</div> </div> <p>を押す。</p> <p>別の時間帯に移ることができます。</p> |  |  |
| 6 | <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; display: flex; align-items: center; justify-content: center; gap: 5px;"> ● </div> <p>書込み</p> <p>を押す。</p> <p>手順5で選択した時間帯を確定します。</p> |  |  |
| 7 | <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> ▲ </div> <div style="text-align: center;"> <p>アップ</p> </div> <div style="font-size: 2em;">(</div> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> ▼ </div> <div style="text-align: center;"> <p>ダウン</p> </div> <div style="font-size: 2em;">)</div> </div> <p>を押す。</p> <p>販売開始時刻(時)入力待ちになり、上2桁の数字が点滅します。</p> |  |  |

※：点滅表示

操作手順

(15) スクールタイム時間帯の設定・確認(つづき)

8  アップ  ダウン を押す。

販売開始時刻(時)を入力します。

9  書込み を押す。

販売開始時刻(時)が確定します。販売開始時刻(分)の入力待ち状態になり、下2桁が点滅表示します。

10  アップ  ダウン を押す。

販売開始時刻(分)を入力します。

11  書込み を押す。

販売開始時刻(時・分)が確定します。
販売終了時刻(時)の入力待ち状態になり、上2桁を点滅表示します。

12  アップ  ダウン を押す。

販売終了時刻(時)を入力します。

13  書込み を押す。

販売終了時刻(時)が確定します。販売終了時刻(分)の入力待ち状態になり、下2桁を点滅表示します。

14  アップ  ダウン を押す。

販売終了時刻(分)を入力します。

15  書込み を押す。

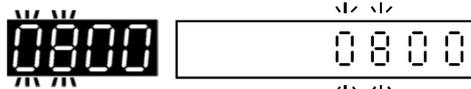
「A2」の販売可能時間帯の設定が完了です。続いて「A3」の設定に移ります。
(Aパターン2回目の販売可能時間帯 8 : 15 ~ 8 : 45)

同様の手順でA~C各パターンの1~7回目までの販売可能時間帯を必要に応じて設定してください。

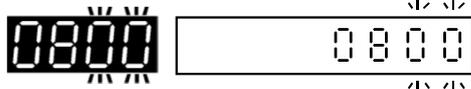
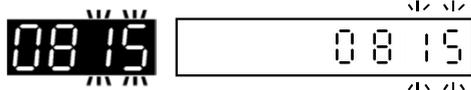
16  終了 を押す。

待機状態に戻ります。

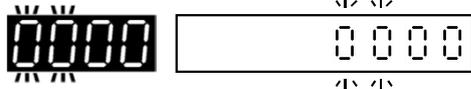
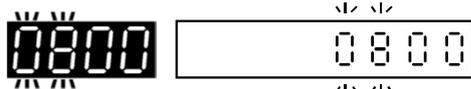
デジタル表示 リモコン液晶表示



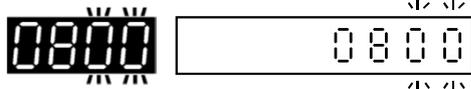
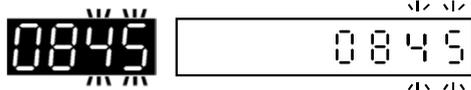
(例 0800: 8時)

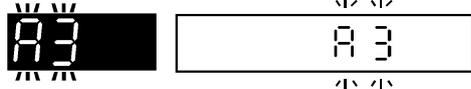
(例 0815: 8時15分)

(例 0800: 8時)

(例 0845: 8時45分)




* : 点滅表示

操作手順

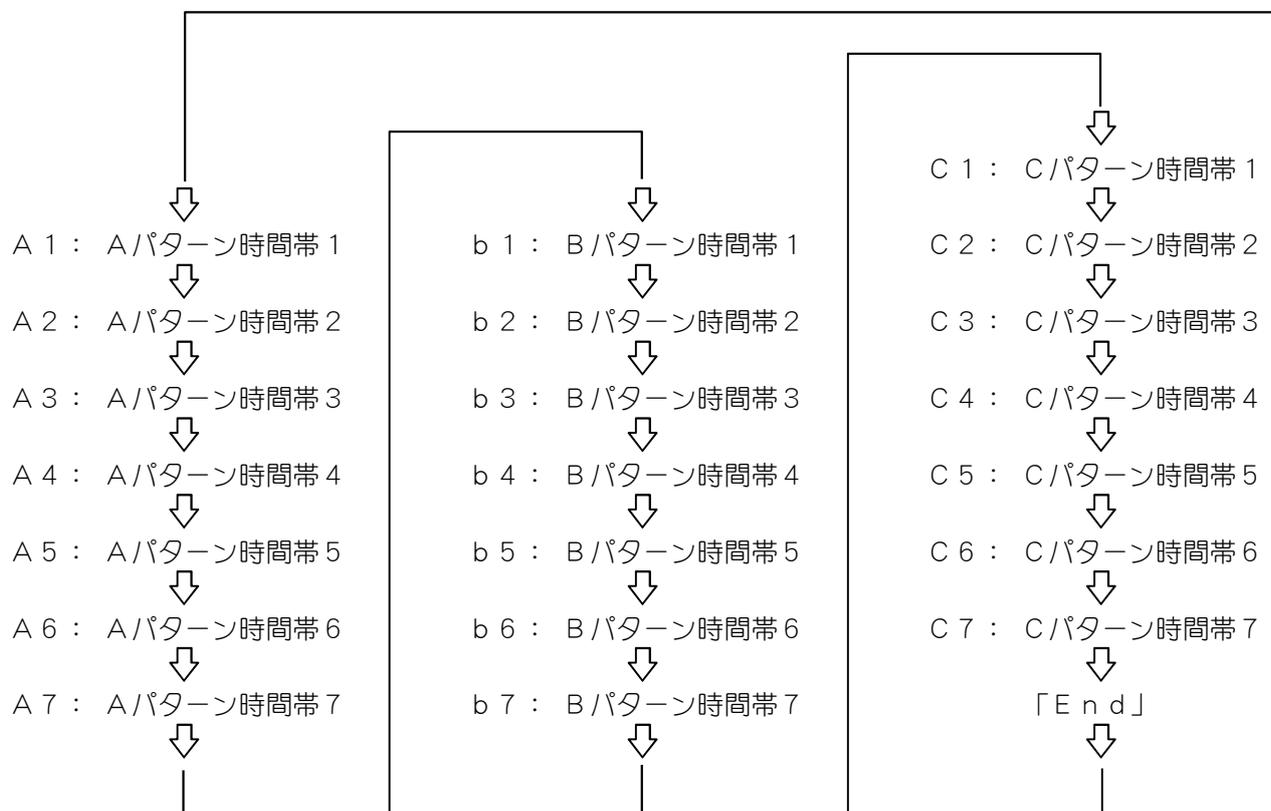
(15) スクールタイム時間帯の設定・確認(つづき)

補 足

- ・販売可能時間帯は、A、B、Cの3パターンまで設定することができ、各パターンにつき1日7回の販売可能時間帯が設定可能です。
- ・スクールタイム時間帯を設定した後、8-43・44ページ「スクールタイム曜日別パターンの設定・確認」において、A、B、Cの各パターンに対応する曜日を設定することで、自販機を特定の時間帯だけ販売可能にすることができます。
- ・スクールタイム時間帯の設定範囲は、00時00分～23時59分です。

手順4の状態から【終了】キーを押すまでの間、全てのテンキーボタンの販売可能ランプと売切ランプが点灯します。このとき、テンキーボタンを押すとランプが消灯し、そのコラムは、スクールタイム対象外（常時販売）となります。

- ・スクールタイム時間帯の表示内容と設定範囲



- ・手順5で最後（最初）の時間帯まで表示すると「E n d」を表示し、もう一度【アップ(ダウン)】キーを押すと、最初（最後）の時間帯に戻ります。
- ・手順6～13の間で【点検/クリア】キーを押すと、該当する時間帯の開始時間および終了時間が共にクリアされ、「-----」を表示します。つぎの時間帯の表示にかわります。

操作手順

(16) スクールタイム曜日別パターンの設定・確認

販売時間帯（一日あたり最大7回、最大3パターン）を適用する曜日を設定します。

- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|--|--|----------|
| <p>1 モード を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。</p> | | |
| <p>2 アップ （ ダウン ） を押す。
モード番号を2にします。押し続けると早く変わります。</p> | | |
| <p>3 書込み を押す。
手順2で選択したモード番号2を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。</p> | | |
| <p>4 アップ （ ダウン ） を押す。
項目番号を02にします。</p> | | |
| <p>5 書込み を押す。
スクールタイム曜日別パターンの設定項目になります。</p> | <p style="font-size: small; text-align: center;">↑ ↑
曜日 パターン
(例 1:日曜日, 0:パターン設定なし)</p> | |
| <p>6 アップ （ ダウン ） を押す。
パターンを入力します。</p> | <p style="font-size: small; text-align: center;">(例 1:日曜日, A:Aパターン)</p> | |
| <p>7 書込み を押す。
1(日曜日)のパターンを確定します。つぎの曜日番号2(月曜日)とパターンを表示します。</p> | | |
| <p>8 パターンを設定する。
手順6, 7を繰り返して1(日曜日)から7(土曜日)の曜日までのパターンを設定してください。</p> | | |
| <p>9 終了 を押す。
待機状態に戻ります。</p> | | |

※：点滅表示

操作手順

(17)照明器具節電時間帯の設定・確認

照明器具を節電する時間帯の設定・確認をします。

- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|--|-----------------|----------|
| <p>1 モード を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。</p> | | |
| <p>2 アップ (ダウン) を押す。
モード番号を2にします。押し続けると早く変わります。</p> | | |
| <p>3 書込み を押す。
手順2で選択したモード番号2を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。</p> | | |
| <p>4 アップ (ダウン) を押す。
項目番号を03にします。</p> | | |
| <p>5 書込み を押す。
照明器具節電時間帯の設定項目になります。節電開始時刻(時)の入力待ち状態になり、上2桁が点滅表示します。</p> | | |
| <p>6 アップ (ダウン) を押す。
節電開始時刻(時)を入力します。</p> | | |
| | (例 2200:22時) | |
| <p>7 書込み を押す。
節電開始時刻(時)が確定します。節電開始時刻(分)の入力待ち状態になり、下2桁を点滅表示します。</p> | | |
| <p>8 アップ (ダウン) を押す。
節電開始時刻(分)を入力します。(22:15節電開始)</p> | | |
| | (例 2215:22時15分) | |
| <p>9 書込み を押す。
節電開始時刻(時・分)が確定します。節電終了時刻(時)の入力待ち状態になり、上2桁を点滅表示します。</p> | | |
| <p>10 アップ (ダウン) を押す。
節電終了時刻(時)を入力します。</p> | | |
| | (例 0500:5時) | |

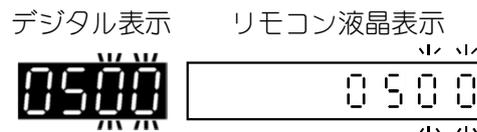
※：点滅表示

操作手順

(17)照明器具節電時間帯の設定・確認(つづき)

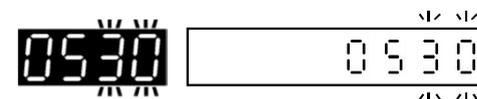
11 ●書込み を押す。

節電終了時刻(時)が確定します。
節電終了時刻(分)の入力待ち状態になり、下2桁を点滅表示します。



12 ▲アップ (ダウン ▼) を押す。

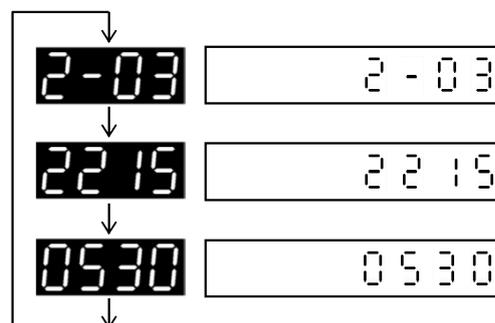
節電終了時刻(分)を入力します。(5 : 30節電終了)



(例 0530: 5時30分)

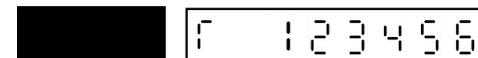
13 ●書込み を押す。

節電時間帯の設定が完了し、項目を表す「2-03」と「節電開始時刻」、「節電終了時刻」を順に表示します。
ここで、もう一度[書込み]キーを押すと、手順5の状態に戻ります。



14 ●終了 を押す。

待機状態に戻ります。



※ : 点滅表示

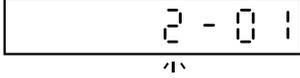
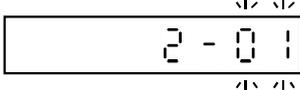
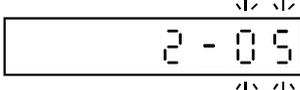
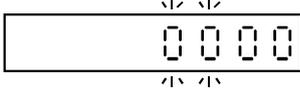
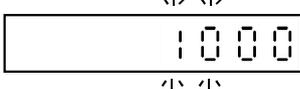
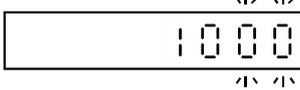
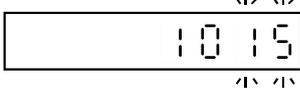
補足

- ・設定できる時間の範囲は、00時00分～23時59分です。
- ・節電開始時刻と節電終了時刻を同一時刻に設定すると、節電は行いません。
- ・0000-0000設定時は、節電は行いません。
- ・0000-0000以外の同時間(0100-0100など)を設定時すると常時節電を行います。

操作手順

(18) 現在時刻の設定・確認

現在時刻の設定をします。

- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|--|--|---|
| <p>1  を押す。</p> <p>モード番号入力待ちの状態になります。</p> |  |  |
| <p>2   を押す。</p> <p>モード番号を2にします。押し続けると早く変わります。</p> |  |  |
| <p>3  を押す。</p> <p>手順2で選択したモード番号2を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。</p> |  |  |
| <p>4   を押す。</p> <p>項目番号を05にします。</p> |  |  |
| <p>5  を押す。</p> <p>現在時刻の設定項目になり、現在時刻(時)の入力待ち状態になります。</p> |  |  |
| <p>6   を押す。</p> <p>現在時刻(時)を入力します。</p> |  |  |
| <p>7  を押す。</p> <p>現在時刻(時)が確定し、現在時刻(分)の入力待ち状態になります。</p> |  |  |
| <p>8   を押す。</p> <p>現在時刻(分)を入力します。</p> |  |  |
| <p>9  を押す。</p> <p>現在時刻の設定が完了します。もう一度 [書込み] キーを押すと、手順5の状態に戻ります。</p> |  |  |
| <p>10  を押す。</p> <p>待機状態に戻ります。</p> |  |  |

※：点滅表示

補足

・設定範囲 00時00分～23時59分

操作手順

(19) 現在月日の設定・確認

現在月日の設定をします。

- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|--|--------|----------|
| <p>1 モード を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。</p> | | |
| <p>2 アップ (ダウン) を押す。
モード番号を2にします。押し続けると早く変わります。</p> | | |
| <p>3 書込み を押す。
手順2で選択したモード番号2を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。</p> | | |
| <p>4 アップ (ダウン) を押す。
項目番号を06にします。</p> | | |
| <p>5 書込み を押す。
現在月日の設定項目になり、現在月日(月)の入力待ち状態になります。</p> | | |
| <p>6 アップ (ダウン) を押す。
現在月日(月)を入力します。</p> | | |
| <p>7 書込み を押す。
現在月日(月)が確定し、現在月日(日)の入力待ち状態になります。</p> | | |
| <p>8 アップ (ダウン) を押す。
現在月日(日)を入力します。</p> | | |
| <p>9 書込み を押す。
現在月日の設定が完了します。もう一度 [書込み] キーを押すと、手順5の状態に戻ります。</p> | | |
| <p>10 終了 を押す。
待機状態に戻ります。</p> | | |

※：点滅表示

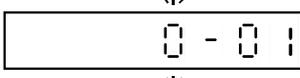
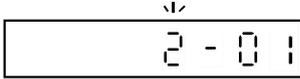
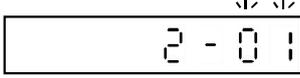
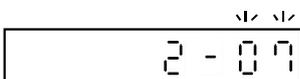
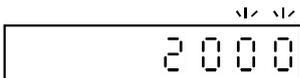
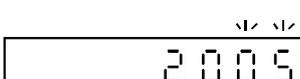
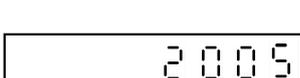
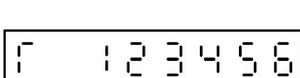
補足

1. 設定範囲 1月1日～12月31日

操作手順

(20)現在年の設定・確認

現在年の設定をします。

- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|---|--|---|
| 1  を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 |  |  |
| 2   を押す。
モード番号を2にします。押し続けると早く変わります。 |  |  |
| 3  を押す。
手順2で選択したモード番号2を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。 |  |  |
| 4   を押す。
項目番号を07にします。 |  |  |
| 5  を押す。
現在年の設定項目になり、現在年(下位2桁)の入力待ち状態になります。 |  |  |
| 6   を押す。
現在年を入力します。 |  |  |
| 7  を押す。
現在年が確定します。 |  |  |
| 8  を押す。
待機状態に戻ります。 |  |  |

(例 2005:2005年)

※：点滅表示

補足

- ・手順6で上位2桁は下位2桁の値によって自動的に変わります。
 下位2桁：00～49 → 上位2桁：20
 下位2桁：50～99 → 上位2桁：19
- ・設定範囲 1950年～2049年

操作手順

(2)照明器具消灯条件の設定・確認

照明器具を消灯させる条件を設定します。

- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|---|--------|----------|
| 1  を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 2   を押す。
モード番号を2にします。押し続けると早く変わります。 | | |
| 3  を押す。
手順2で選択したモード番号2を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 4   を押す。
項目番号を09にします。 | | |
| 5  を押す。
照明器具消灯条件の設定項目になり、現在設定の消灯条件を表示します。 | | |
| 6   を押す。
照明器具消灯条件を変更します。 | | |
| 7  を押す。
照明器具消灯条件を確定します。 | | |
| 8  を押す。
待機状態に戻ります。 | | |
- ※：点滅表示

補足

・表示内容と設定範囲

- 0：フォトセンサ，タイマの少なくとも一方OFFにて照明器具消灯
- 1：フォトセンサ，タイマの両方ともOFFにて照明器具消灯
- 2：フォトセンサOFFで照明器具消灯
- 3：タイマOFFで照明器具消灯
- 4：フォトセンサONにて照明器具消灯（暗くなったら照明器具消灯）

操作手順

(22) 搬出メカコードの設定・確認

各コラム毎の搬出動作パターンを設定しています。

- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|--|----------------|----------|
| 1  を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 2   を押す。
モード番号を3にします。押し続けると早く変わります。 | | |
| 3  を押す。
手順2で選択したモード番号3を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 4   を押す。
項目番号を03に合わせてください。 | | |
| 5  を押す。
搬出メカコードの設定項目になります。 | | |
| 6  +  を押す。
テンキーボタン 購入ボタン
最新の設定済のコラムNo.を交互表示します。
「CL99」と押すと全てのコラムのメカコードを一括で変更します。 |
↓ 交互表示
 | |
| 7   を押す。
搬出メカコードを変更することができます。 | | |
| 8 搬出メカコードを設定する。
手順5, 6, 7を繰り返して搬出メカコードを設定してください。 | | |
| 9  を押す。
待機状態に戻ります。 | | |

※：点滅表示

補足

- ・本設定は、コラム毎の搬出メカの機構の種類を設定するものです。
 - ・コラム入力時に99コラムを入力後、購入ボタンを押すと全てのコラムのメカコードが変更になります。(但し、2桁目は変更しません)
 - ・設定範囲 (11~14, 16, 19)
 - 11：スパイラル式ラック
 - 12~16：コンベア式ラック
 - (15：未使用)
- 19：[モード]3-16による

カウント条件

売上データ項目	加算額 (金額)		硬貨紙幣	Pカード	IDカード	Pカード+硬貨紙幣		クレジットカード	キーカウンタ	フリーバンド	テスト	チエック販売	コインテスト	Pカード+		カードテスト	割引販売	テストPカード	テストIDカード	トークン販売	電子マネー販売	セット販売																	
	桁	数				現金	カード							現金	カード								現金	現金分	現金														
リモコン確認項目(プリンタ・外部表示も一部兼ねる)	トータル売上個数	6	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																
	トータル売上金額	6	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▽	○	○	○	○	○	△																
	コラム別売上個数	4,6	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																
	コラム別売上金額	6,8	C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																
	グループ別売上個数	6	20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																
	グループ別売上金額	6,8	20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																
	価格別売上個数	6	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																
	価格別売上金額	6	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																
	テスト販売個数	6	1								○											○																	
	割引合計個数	6	1														○					○																	
	割引合計金額	6	1														△					■																	
	累計売上個数	6	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																
	累計売上金額	6	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▽	○	○	○	○	○	△																
	現金累計売上個数	6	1	○													○					○																	
	現金累計売上金額	6	1	○			○										▽					△																	
	現金以外累計売上個数	6	1		○	○	○		○	○	○											○																	
	現金以外累計売上金額	6	1		○	○		○	○													○																	
	フリーバンドトータル売上個数	6	1							○																													
	フリーバンドトータル売上金額	6	1							○																													
	フリーバンドコラム別売上個数	6	C							○																													
	フリーバンドコラム別売上金額	6	C							○																													
	トータルキーカウンタ売上個数	6	1						○																														
	コラム別キーカウンタ売上個数	6	C						○																														
	トークン別売上個数	6	2																	○																			

※ Pカード :プリペイドカード
 △: 割引販売時、割引額分少なく集計
 ▽: グループ別で集計しない
 ■: 割引額で集計

カウント条件

売上データ項目	桁	加算額 (金額)	数	硬貨紙幣	Pカード	IDカード	Pカード+硬貨紙幣		クレジットカード	キーカウント	フリーバンド	テスト	チェック販売	コインテスト	Pカード+		コインテスト	カードテスト	割引販売	テストPカード	テストIDカード	トークン販売	電子マネー販売	セット販売			
				現金	カード	カード	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金
				現金	カード	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金	現金
リモコン確認項目	現金グループ別売上個数	6	20	○															○								
	現金グループ別現金売上金額	6	20	○			○												○								
	現金以外グループ別売上個数	6	20		○	○	○		○	○	○																
	現金以外グループ別売上金額	6	20		○	○		○	○																		
	現金価格別売上個数	6	10	○															○								
	現金価格別売上金額	6	10	○			○												○								
	現金以外価格別売上個数	6	10		○	○	○		○	○	○																
	現金以外価格別売上金額	6	10		○	○		○	○																		
	S u i c a 残金額(プリンタ)	4	1																					○			
	カード(期間)売上個数	6	8																					○			
	カード(期間)売上金額	6	8																					○			
	カード(累計)売上個数	6	8																					○			
	カード(累計)売上金額	6	8																					○			
	カード別印字設定(コラム)	6	8																					○			
	カード別印字設定(グループ)	6	8																					○			
	カード別印字設定(価格)	6	8																					○			
	セット販売本数	6	1																					○			
	セット販売額	6	1																					△			
	外部表示	コラム別補給数	3	C	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			
		コラム別残数	3	C	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			

※ Pカード : プリペイドカード
 △ : 割引販売時、割引額分少なく集計
 ▽ : グループ別で集計しない
 ■ : 割引額で集計

クリア条件

売上データ項目	リモコンによる																						
	モード3-14：設定0						モード3-14：設定1						グループ別	グループ別	トータルキー	コラム別	価格別	価格別	テスト	割引	割引	累計	累計
	トータル	トータル	コラム	コラム	コラム	コラム	トータル	トータル	コラム	コラム	コラム	コラム	別一	別一	別一	別一	別一	別一	別一	別一	別一	別一	別一
現金グループ別売上個数																							
現金グループ別現金売上金額																							
現金以外グループ別売上個数																							
現金以外グループ別売上金額																							
現金価格別売上個数																							
現金価格別売上金額																							
現金以外価格別売上個数																							
現金以外価格別売上金額																							
S u i c a 残金額(プリンタ)																							
カード(期間)売上個数																							
カード(期間)売上金額																							
カード(累計)売上個数																							
カード(累計)売上金額																							
カード別印字設定(コラム)																							
カード別印字設定(グループ)																							
カード別印字設定(価格)																							
セット販売本数																							
セット販売額																							
コラム別補給数																							
コラム別残数																							

クリア条件

売上データ項目	リモコンによる												
	現金累計売上個数クリア	現金累計売上金額クリア	現金以外累計売上個数クリア	現金以外累計売上金額クリア	トークン別売上数クリア	現金グループ別売上個数クリア	現金グループ別売上金額クリア	現金以外グループ別売上個数クリア	現金以外グループ別売上金額クリア	現金価格別売上金額クリア	現金価格別売上個数クリア	現金以外価格別売上金額クリア	現金以外価格別売上個数クリア
リモコン確認項目（プリンタ・外部表示も一部兼ねる）													
トータル売上個数											○	○	
トータル売上金額											○	○	
コラム別売上個数												○	○
コラム別売上金額												○	○
グループ別売上個数													
グループ別売上金額													
価格別売上個数													
価格別売上金額													
テスト販売個数											○	○	
割引合計個数													
割引合計金額													
累計売上個数													
累計売上金額													
現金累計売上個数													
現金累計売上金額													
現金以外累計売上個数													
現金以外累計売上金額													
フリーバンドトータル売上個数													
フリーバンドトータル売上金額													
フリーバンドコラム別売上個数													
フリーバンドコラム別売上金額													
トータルキーカウンタ売上個数													
コラム別キーカウンタ売上個数													
トークン別売上個数					○								

クリア条件

売上データ項目	リモコンによる																					
	現金累計売上個数クリア	現金累計売上金額クリア	現金以外累計売上金額クリア	現金以外累計売上金額クリア	トークン別売上数クリア	現金グループ別売上個数クリア	現金グループ別売上金額クリア	現金以外グループ別売上個数クリア	現金以外グループ別売上金額クリア	現金価格別売上金額クリア	現金価格別売上金額クリア	現金以外価格別売上金額クリア	現金以外価格別売上金額クリア	トータル売上個数クリア	トータル売上金額クリア	コラム別売上個数クリア	コラム別売上金額クリア	コラム別補給数のクリア	コラム別残数のクリア	コラム別補給数・残数の一斉クリア	コラム別補給数・残数のクリア	
リモコン確認項目						○	○															
現金グループ別売上個数						○	○															
現金グループ別現金売上金額						○	○															
現金以外グループ別売上個数								○	○													
現金以外グループ別売上金額								○	○													
現金価格別売上個数										○	○											
現金価格別売上金額										○	○											
現金以外価格別売上個数												○	○									
現金以外価格別売上金額												○	○									
S u i c a 残金額(プリンタ)																						
カード(期間)売上個数																						
カード(期間)売上金額																						
カード(累計)売上個数																						
カード(累計)売上金額																						
カード別印字設定(コラム)																						
カード別印字設定(グループ)																						
カード別印字設定(価格)																						
セット販売本数																						
セット販売額																						
外部表示																						
コラム別補給数																		○	○	○	○	
コラム別残数																		○	○	○	○	

クリア条件

売上データ項目	リモコンによる									
	フリーバンド フリーバンド フリーバンド フリーバンド フリーバンド フリーバンド フリーバンド フリーバンド フリーバンド フリーバンド									
現金グループ別売上個数										
現金グループ別現金売上金額										
現金以外グループ別売上個数										
現金以外グループ別売上金額										
現金価格別売上個数										
現金価格別売上金額										
現金以外価格別売上個数										
現金以外価格別売上金額										
S u i c a 残金額(プリンタ)										
カード(期間)売上個数					○	○				
カード(期間)売上金額					○	○				
カード(累計)売上個数							○	○		
カード(累計)売上金額							○	○		
カード別印字設定(コラム)					○	○				
カード別印字設定(グループ)					○	○				
カード別印字設定(価格)					○	○				
セット販売本数									○	○
セット販売額									○	○
コラム別補給数										
コラム別残数										

※1 カード関連の売上データをクリアする。

※2 コラム別ルーレット当たり個数, 金額(プリンタ印字のみにある)もクリアする。

セット販売の設定方法

セット販売とは商品 1 と商品 2 をセットで販売（購入）すると割引されたセット価格で販売（購入）することが可能になる設定です。商品 1 の販売額から任意の割引を行います。

(1) セット販売時に必要なリモコン設定項目

セット販売を行う際はつぎのリモコンの設定項目を設定する必要があります。

項目No.	項目内容	項目説明	データ範囲
[E-ト]1-81	セット販売モード設定	セット販売のパターンを設定します	0: セット販売しない 1: セット販売する
[E-ト]1-82	セット販売商品 1 設定	選択コラムNo.91～97でセット販売する商品 1 にする任意コラムを設定します	任意コラム
[E-ト]1-83	セット販売商品 2 設定	選択コラムNo.91～97でセット販売する商品 2 にする任意コラムを設定します	任意コラム
[E-ト]1-84	セット販売コラムの割引金額の設定	商品 1 に対応するコラムNo.の割引金額を設定します	任意コラム 0: 割引しない 10～990円(10円きざみ)

(2) セット販売の設定例と販売額の考え方

セット販売時の販売金額等の考え方はつぎの通りです。

- ・セット販売時の販売価格 = (商品 1 の販売価格 - 商品 1 の割引価格) + 商品 2 の販売価格

項目	商品 1 選択コラムNo. ([E-ト]1-82)	商品 2 選択コラムNo. ([E-ト]1-83)	商品 1 割引金額 ([E-ト]1-84)	セット販売価格
セット販売 選択 コラムNo.	コラム91 ・コラム30(例:ツサット [®] 200円) ∴	・コラム01(例:缶コヒ-A120円) ∴	(例:20円)	(例:300円)
	コラム92 ・コラム40(例:梅おにぎり150円) ∴	・コラム10(例:お茶A120円) ∴	(例:20円)	(例:250円)
	∴ コラム97 ∴	∴ ∴	∴	∴
販売本数カウント	コラム別販売本数とコラム別割引販売本数の両方にカウント	通常通り, コラム別販売本数にカウント	—	—

- ・[E-ト]1-81: セット販売モード設定にて 1: セット販売するに設定した場合, 選択コラムNo.91～97の商品 1 及び商品 2 に設定できるコラムNo.は各一つのみです
- ・1つ目の商品（商品 2）が搬出できなかった場合は全額返金とする。
- ・2つ目の商品（商品 1）が搬出できなかった場合は 1つ目の商品（商品 2）の単品売り（商品 2 単品の販売価格）とする。

セット販売の設定方法

(3)セット販売の販売動作について

セット販売を行う場合、つぎの手順で商品を選択し、販売を行います。

〈条件〉

- ・セット販売コラムNo.：コラム92
- ・商品1コラムNo.：コラム40（販売価格150円）
- ・商品2コラムNo.：コラム10（販売価格120円）
- ・商品1割引額：20円
- ・投入金額：500円

セット販売の際はつぎの手順で商品選択と搬出動作を行います。

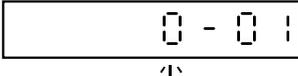
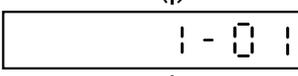
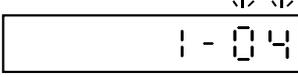
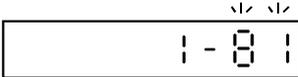
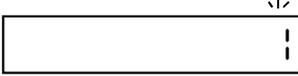
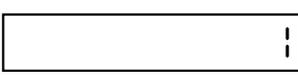
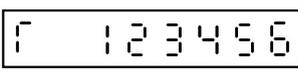
動作	1：固定販売		内容
	キーボタ	デジタル表示器	
販売信号入力	⑨ ②	92	セット販売のコラムNo.を入力
	購入	1040	購入ボタンによりセット販売コラムNo.決定
商品2搬出動作	—	1040	商品2の搬出動作を開始します
	—	380	商品2搬出終了後、商品2の販売価格を減算し、表示
商品1搬出動作	—	1040	商品2が取り出されたら商品1の搬出動作を開始します
	—	250	商品1搬出終了後、「コラムNo.91～97の販売価格」-「商品2の販売価格」分を減算し、表示します
販売終了	—		商品1が取り出されたら搬出動作を終らし、つり銭払出しを行い、待機状態に戻る

※セット販売では必ず商品2（割引されていない商品）より先に搬出し、その後商品1（割引対象商品）を搬出します。

セット販売の設定方法

(4)セット販売モードの設定

セット販売をする／しないを設定します。

- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|---|--|---|
| 1  を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 |  |  |
| 2  アップ ( ダウン) を押す。
モード番号を 1 にします。押し続けると早く変わります。 |  |  |
| 3  書込み を押す。
手順 2 で選択したモード番号 1 を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。 |  |  |
| 4  アップ ( ダウン) を押す。
項目番号を 8 1 にします。 |  |  |
| 5  書込み を押す。
セット販売モードの設定項目になります。 | 
(例 0:しない) |  |
| 6  アップ ( ダウン) を押す。
セット販売モードを変更します。 | 
(例 1:する(固定)) |  |
| 7  書込み を押す。
データが設定されます。 |  |  |
| 8  終了 を押す。
待機状態に戻ります。 |  |  |

※：点滅表示

補 足

- 0：セット販売しない
- 1：セット販売する（固定）

セット販売の設定方法

(5)セット販売商品1(食品)設定

セット販売の際の商品1のコラムNo.を設定します。

1  を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

2  アップ  ダウン を押す。

モード番号を1にします。

3  書込み を押す。

手順2で選択したモード番号1を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。

4  アップ  ダウン を押す。

項目番号を82にします。

5  書込み を押す。

セット販売商品1の設定項目になります。

6  アップ  ダウン を押す。

セット販売のコラムNo.(91~97)を変更します。

7  を押す。

テンキーボタン

セット販売の商品1に設定したいコラムNo.をテンキーボタンにて入力します。

この時訂正ボタンを押すと手順6に戻ります。

デジタルにはコラムNo.を表示します。

8  購入 を押す。

購入ボタン

セット販売のコラムNo.と商品1のコラムNo.が表示されます。

9  終了 を押す。

待機状態に戻ります。

デジタル表示

0-01

リモコン液晶表示

0-01

1-01

1-01

1-04

1-04

1-82

1-82

0-91

0-91

0-92

0-92

CL 7

CL 7

0-92

CL 7 0-92

↑ ↓ 交互表示

CL 7

123456

※：点滅表示

補足

・設定範囲

コラムNo.：任意コラム

[F-T]1-81で1：固定販売設定時は各セット販売コラム(No.91~97)に1つのみ設定可能です。

セット販売の設定方法

(6)セット販売商品2(飲料)設定

セット販売の際の商品2のコラムNo.を設定します。

1  を押す。

モード番号入力待ちの状態になります。

2   を押す。

モード番号を1にします。

3  を押す。

手順2で選択したモード番号1を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。

4   を押す。

項目番号を83にします。

5  を押す。

セット販売商品2の設定項目になります。

6   を押す。

セット販売のコラムNo.(91~97)を変更します。

7  を押す。

テンキーボタン

セット販売の商品2に設定したいコラムNo.をテンキーボタンにて入力します。

この時訂正ボタンを押すと手順6に戻ります。

デジタルにはコラムNo.を表示します。

8  を押す。

購入ボタン

セット販売のコラムNo.と商品2のコラムNo.が表示されます。

9  を押す。

待機状態に戻ります。

デジタル表示

0-01

リモコン液晶表示

0-01

1-01

1-01

1-04

1-04

1-83

1-83

0-91

0-91

0-92

0-92

CL17

CL17

0-92

CL17 0-92

↓ 交互表示

CL17

123456

※：点滅表示

補足

・設定範囲

コラムNo.：任意コラム

[ト]1-81で1：固定販売設定時は各セット販売コラム(No.91~97)に1つのみ設定可能です。

セット販売の設定方法

(7)セット販売割引金額の設定・確認

セット販売コラムの割引販売時の割引金額を設定します。

- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|--|----------------|----------|
| 1  を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 2   を押す。
モード番号を 1 にします。押し続けると早く変わります。 | | |
| 3  を押す。
手順 2 で選択したモード番号 1 を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。 | | |
| 4   を押す。
項目番号を 8 4 にします。 | | |
| 5  を押す。
割引金額の設定項目になり、現在設定されている割引金額を表示します。 | | |
| | (例 0:割引しない) | |
| 6   を押す。
割引金額を入力します。 | | |
| | (例 20:20円) | |
| 7  +  を押す。
テンキーボタン 購入ボタン
セット販売割引金額に指定したり、コラムNo.をテンキーボタンにて入力します。
購入ボタンを押すことで確定します。
テンキーボタンで「99」を入力すると全コラム一括設定できます。 |
↓ 交互表示
 | |
| 8  を押す。
待機状態に戻ります。 | | |

※：点滅表示

補足

・設定範囲

0 : 割引しない

10～90 : 10～90円 (10円きざみ)

- ・手順 7 の時にテンキーボタン「0」+購入ボタンで表示されているコラムの設定がクリアされます。また一括でクリアしたい場合は【点検/クリア】キーでブザーが鳴るまで連続押ししてください。

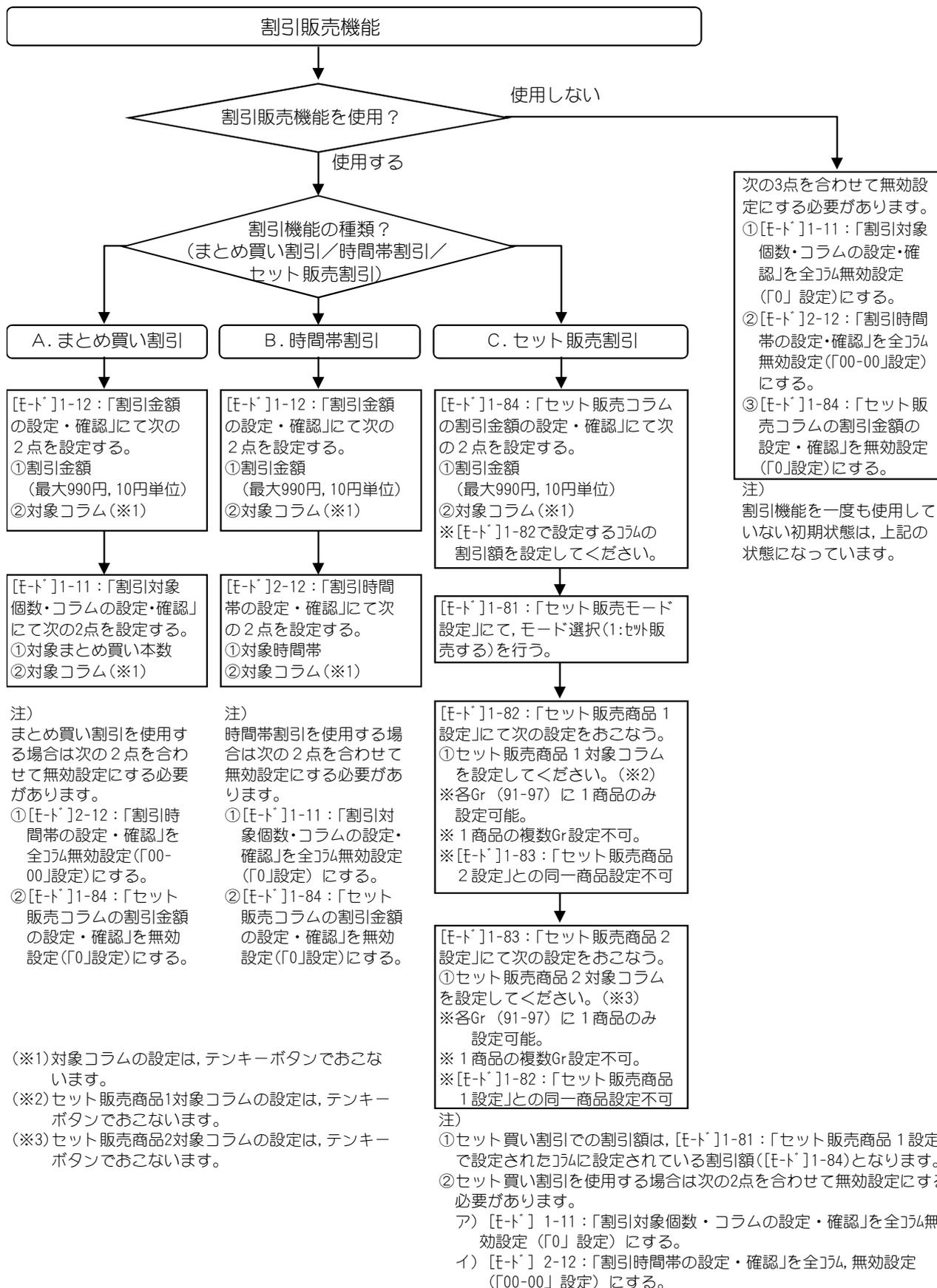
割引販売機能について

(1) 割引販売機能の種類

割引販売には、A. まとめ買い割引／B. 時間帯割引／C. セット販売割引の3通りの割引形態があります。各割引形態を使用する場合は、各種設定が必要になります。

下記に必要事項 及び 注意事項 を示します。

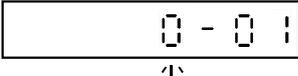
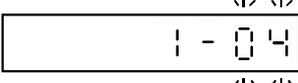
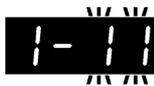
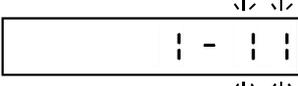
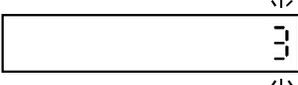
(下記以外で各割引機能を併用する場合は設定が複雑になりますので、サービスマンに問い合わせ願います)



割引販売機能について

(2)割引対象個数／コラムの設定・確認

割引販売時の割引対象個数とコラムを設定します。

- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|--|--|---|
| <p>1  を押す。</p> <p>モード番号入力待ちの状態になります。</p> |  |  |
| <p>2   を押す。</p> <p>モード番号を 1 にします。押し続けると早く変わります。</p> |  |  |
| <p>3  を押す。</p> <p>手順 2 で選択したモード番号 1 を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。</p> |  |  |
| <p>4   を押す。</p> <p>項目番号を 1 1 にします。</p> |  |  |
| <p>5  を押す。</p> <p>割引対象個数の設定項目になり、現在設定の個数を表示します。</p> |  |  |
| <p>6   を押す。</p> <p>割引対象個数を入力します。</p> |  |  |
| <p>7  を押す。</p> <p>手順 6 で設定の割引対象個数を確定します。</p> |  |  |
| <p>8  を押す。</p> <p>待機状態に戻ります。</p> |  |  |

※：点滅表示

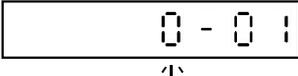
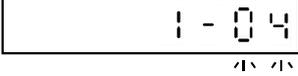
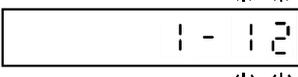
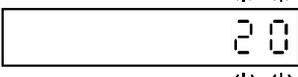
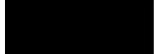
補足

- ・割引対象個数は、コラム毎に別々の個数を設定することはできません。

割引販売機能について

(3)割引金額の設定・確認

割引販売時の割引金額を設定します。

- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|--|--|---|
| <p>1  を押す。</p> <p>モード番号入力待ちの状態になります。</p> |  |  |
| <p>2   を押す。</p> <p>モード番号を 1 にします。押し続けると早く変わります。</p> |  |  |
| <p>3  を押す。</p> <p>手順 2 で選択したモード番号 1 を確定します。
項目番号入力待ちの状態になります。</p> |  |  |
| <p>4   を押す。</p> <p>項目番号を 1 2 にします。</p> |  |  |
| <p>5  を押す。</p> <p>割引金額の設定項目になり、現在設定されている割引金額を表示します。</p> |  |  |
| | (例 0:割引しない) | |
| <p>6   を押す。</p> <p>割引金額を入力します。</p> |  |  |
| <p>7  を押す。</p> <p>手順 6 で設定の割引金額を確定します。</p> |  |  |
| <p>8  を押す。</p> <p>待機状態に戻ります。</p> |  |  |

* : 点滅表示

補足

・設定範囲

0 : 割引しない
10～90 : 10～90円 (10円きざみ)

割引販売機能について

(4)割引時間帯の設定・確認

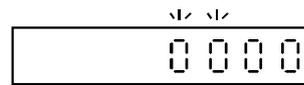
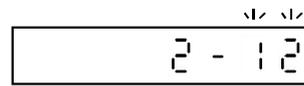
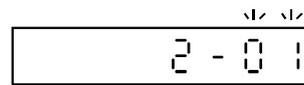
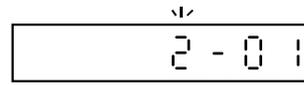
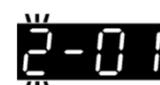
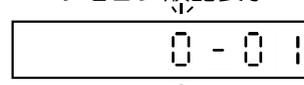
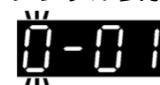
割引を実施する時間帯の設定・確認をします。

割引時間帯の設定をおこなう前にあらかじめ割引するコラム・金額の設定が必要です。

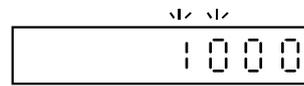
- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|--|--------|----------|
| <p>1  を押す。</p> <p>モード番号入力待ちの状態になります。</p> | | |
| <p>2   を押す。</p> <p>モード番号を2にします。押し続けると早く変わります。</p> | | |
| <p>3  を押す。</p> <p>手順2で選択したモード番号2を確定します。項目番号入力待ちの状態になります。</p> | | |
| <p>4   を押す。</p> <p>項目番号を12にします。</p> | | |
| <p>5  を押す。</p> <p>割引時間帯の設定項目になり、割引開始時刻(時)の入力待ち状態になります。</p> | | |
| <p>6   を押す。</p> <p>割引開始時刻(時)を入力します。</p> | | |
| <p>7  を押す。</p> <p>割引開始時刻(時)が確定し、割引終了時刻(時)の入力待ち状態になります。</p> | | |
| <p>8   を押す。</p> <p>割引終了時刻(時)の入力待ち状態になります。</p> | | |
| <p>9  を押す。</p> <p>割引時間帯が確定します。</p> | | |

デジタル表示

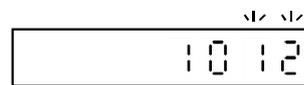
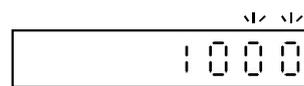
リモコン液晶表示



終了時刻
開始時刻



(例 1000:割引開始時刻 10時)



(例 1012:割引終了時刻 12時)



(例 1012:割引時間帯
10時~12時まで)

※ : 点滅表示

割引販売機能について

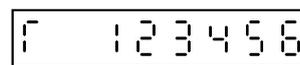
(4) 割引時間帯の設定・確認(つづき)

10  終了 を押す。

待機状態に戻ります。

デジタル表示

リモコン液晶表示



補足

- ・割引対象コラム・割引金額については、あらかじめ8-66ページ「割引対象個数／コラムの設定・確認」および8-67ページ「割引金額の設定・確認」をごらんになって設定をおこなってください。ただし、本機能では、割引対象個数の設定個数にかかわらず、1個販売する毎に割引販売をおこないます。
- ・設定範囲
00時～23時

2コラム同時動作設定

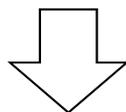
(1)2コラム同時動作設定の際のコラムNo.

本機は、ラック棚の各段ごとに設定できるコラムNo.が決まっています。
シングルラックからダブルラックなどに変更する場合などは、[モード]0-80で設定する必要があります。

① コラム幅によって、コラム数が増減しても各段の最初のコラムNo.は固定されています。

1 段目：9 列設定 (最大10コラム(1~10))	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
2 段目：10 列設定 (最大10コラム(11~20))	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
3 段目：10 列設定 (最大10コラム(21~30))	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
4 段目：10 列設定 (最大10コラム(31~40))	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40

1 段目のNo.10
コラムは設定
なし
2 段目の最初
はNo.11コラム
から割付けら
れる



② 3 段目をNo.21, 22 コラムをシングルスパイラル→ダブルスパイラルに変更し、[モード]0-80
: 2 コラム同時動作設定で左右のコラムを同一Gr に設定すると、小さいコラムNo.の方が有効になり
ます。

1 段目：9 列設定 (最大10コラム(1~10))	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
2 段目：10 列設定 (最大10コラム(11~20))	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
3 段目：9 列設定 (最大10コラム(21~30))	21	23	24	25	26	27	28	29	30	
4 段目：10 列設定 (最大10コラム(31~40))	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40

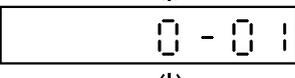
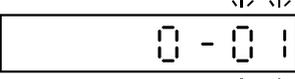
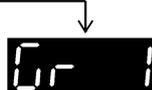
No.21コラムが有効
になる

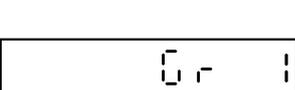
[!] その後、[モード]0-80:2コラム同時動作設定を解除するとNo.22コラムの価格設定は「0円」
になります。
再度、価格設定を行ってください。

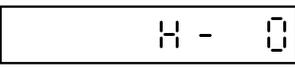
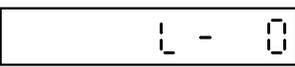
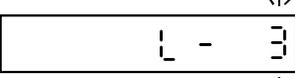
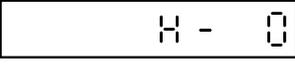
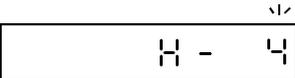
2コラム同時動作設定

(2)2コラム同時動作の設定・確認

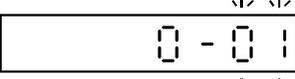
スパイラルラックやコンベアラックを2つ同時に動作させて商品を販売する場合に設定します。

- | | デジタル表示 | リモコン液晶表示 |
|---|---|--|
| 1  を押す。
モード番号入力待ちの状態になります。 |  |  |
| 2  を押す。
モード番号0が確定し、項目番号入力待ちの状態になります。 |  |  |
| 3  アップ  ダウン を押す。
項目番号を80にします。押し続けると早く変わります。 |  |  |
| 4  を押す。
グループ1の確認画面が交互表示されます。 | 

 | 

 |
| 5  を押す。
小さい方のコラムNo設定画面を表示します。 |  |  |
| 6  アップ  ダウン を押す。
小さい方のコラムNoを入力します。 |  |  |
| 7  を押す。
小さい方のコラムNoが設定されます。
代わって大きい方のコラムNo設定画面を表示します。 |  |  |
| 8  アップ  ダウン を押す。
大きい方のコラムNoを入力します。 |  |  |

デジタル表示 リモコン液晶表示

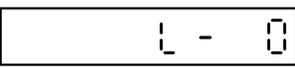
 

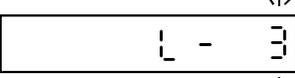
 





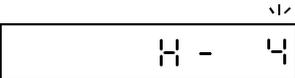
小さいコラムNo. 大きいコラムNo.

(例 L- 3:No.3コラム)

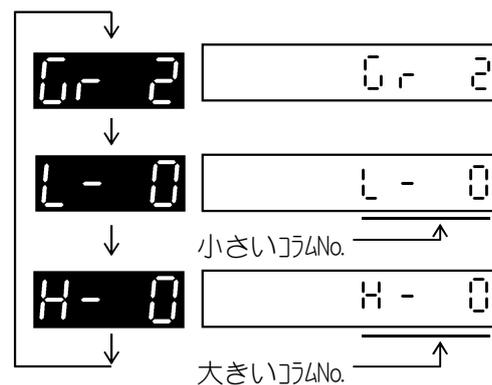
(例 H- 4:No.4コラム)

2コラム同時動作設定

(2)2コラム同時動作の設定・確認(つづき)

9 ●書込み を押す。

グループ1のコラム設定が設定されます。
代わってグループ2の確認画面が交互表示されます。



10 ●終了 を押す。

待機状態に戻ります。



※：点滅表示

補足

- ・設定範囲 最大30グループ
- ・既に設定登録済のコラムNo.、及び異なる段のコラムNo.は設定できません。
- ・「H」で設定できるコラムNo.は「L」で設定したコラムNo.より大きいコラムNo.しか設定できません。
- ・手順4または9の状態では【点検／クリア】キーを長押しすると、全グループの設定コラムNo.がクリアされます。
- ・手順5または7の状態では【点検／クリア】キーを長押しすると、そのグループの設定コラムNo.がクリアされます。
- ・小さいコラムNo.以外のコラムは本設定時価格設定は0円に設定されます。
- ・次の設定項目を変更した際、本設定は自動的にクリアされます。
 - ・[モード]0-30：ラック構成の確認
 - ・[モード]0-77：段変更の設定・確認
 - ・[モード]3-12：構造モードの設定・確認

9. 故障診断

点検／クリアキーによる操作

(1) 現在故障の確認

現在故障している箇所を故障コードで表示します。

1  を押す。

故障がある場合は、故障コードを表示します。
故障がない場合は、「E n d」を表示します。

2   を押す。

【アップ】キーを押すと、つぎの故障コードを表示します。
【ダウン】キーを押すと戻ります。
全ての故障コードを表示すると、「E n d」を表示します。

3  を押す。

待機状態に戻ります。

補足

・故障修理後、故障前の状態に復帰している場合は、故障コードは自動クリアされます。

(2) 過去故障の確認

過去に故障している箇所を故障コードで表示します。

1  を2回押す。

過去故障確認モードに入ります。

2   を押す。

【アップ】キーを押すと、最新の故障コードを表示します。
【ダウン】キーを押すと戻ります。

過去故障がない場合は、「E n d」を表示します。

3  を押す。

待機状態に戻ります。

補足

・手順2にてダウンキーを操作した場合は、「E n d」表示を行い、再度ダウンキー操作にて故障内容を表示します。

デジタル表示

リモコン液晶表示

251

251

↑
故障コード表示

252

252

(例 252:故障コード 252)

End

End

End

123456

デジタル表示

リモコン液晶表示

32

32

51

51

(例 51:故障コード 51)

End

End

End

123456

点検／クリアキーによる操作

(3)異常発生時コラムの確認

搬送機構に関する異常が発生したときに故障コードとコラムNo.を表示します。

1 **点検
クリア** を14回押す。

異常発生時のコラム確認モードになります。

2 **アップ** (**ダウン**) を押す。

故障時の故障コードとコラムNo.を交互表示します。
但し、搬送機構異常以外の故障の場合は、表示しません。(最大50件)
液晶リモコン側はコラムNo.と故障コードを同時に表示します。

3 故障コード最後の次にアップキーの場合は「End」表示をします。
故障コード最初の次のダウンキーも同様です。

4 **終了** を押す。

待機状態に戻ります。

デジタル表示

314

リモコン液晶表示

314

1296

1296CL 7

↑ 交互表示

CL 7

End

End

123456

補足

- ・同一搬送機構関連の故障の場合で故障コード、コラムNo.が同じであっても発生ごとに別々に記録(表示)します。
- ・最大50件です。
- ・コラムNo.に関係ない故障の場合は、コラムNo.は「CL 0」を表示します。

点検／クリアキーによる操作

詳細コード内容を確認するには2種類の方法があります。

(4)異常内容印字の操作方法

搬送機構に関する異常が発生したときに故障コードと発生日日時分等をプリンタに表示します。

1  を13回押す。

異常データの印字モードになります。

2  を押す。

異常内容がプリンターに印字されます。
自動的に待機に戻ります。

デジタル表示

313

リモコン液晶表示

313

313

313

補足

- ・搬送機構の異常内容をプリンターに印字します。
- ・印字途中で再度印字操作（上記）もしくはプリンターのいずれかのキーを操作した場合印字は中止されます。

【印字フォーマット】

マスター AAAA-BCDD
ハンソウホントイ cccc-d-ee
 2012年 05月10日 16:24

イシ`ョウリレキ

No. 01

ハッセイ: 2012年 05月10日 14:56

フッキ : 2012年 05月10日 14:56

コート` : 2499-30

ラック : 05

テイシ

Cモータ: 1/*

Yメカ: 185/185

ナイヨウ: ツウシ`ョウト`ウサ

コラムモータ

モータロック

(途中省略)

No. 10

ハッセイ: 2012年 05月10日 13:55

フッキ : 2012年 05月10日 13:56

コート` : 2499-30

ラック : 05

テイシ

Cモータ: 1/*

Yメカ: 185/185

ナイヨウ: ツウシ`ョウト`ウサ

コラムモータ

モータロック

← A: マスターのプログラム番号(4桁)

← B: マスターの年度(下位1桁)

← C: POS対応有無(P:有, -:無)

← D: マスターのバージョン(2桁)

← c: 搬送本体スレーブのバージョン(4桁)

← d: 搬送本体スレーブの年度(下位1桁)

← e: 搬送本体スレーブのバージョン(2桁)

← 現在年月日を印字。

時計異常時の年月日は00とする(0サプレスしない)

← ・ハッセイ(故障発生)/フッキ(故障復帰)の年月日を印字。

(時計異常の場合は99表示とする。故障未復帰の場合も同様。)

・コード(故障コード)

・ラック: 異常発生時のコラムNo.

・停止位置(Cモータ): 左にコラムモータの設定されている回転数/右にコラムモータロック時は「*」を印字

・停止位置(Yメカ): 左に搬送機構の停止パルス数/右に設定されているパルス数

・ナイヨウ: 異常発生内容を印字(最大4行)

過去50件分の異常内容を印字

点検／クリアキーによる操作

(5)異常発生時の詳細コード確認

搬送機構に関する異常が発生したときに故障コードと詳細コードを表示します。

1  を12回押す。

異常発生時のコラム確認モードになります。

デジタル表示

312

リモコン液晶表示

312

2   を押す。

故障コードを表示します。

故障時の故障コードと詳細コードを交互表示します。

但し、搬送機構異常以外の故障の場合は表示しません。

(最大50件)

1294

1294 04

↓ 交互表示

04

3 故障コード最後の次にアップキーの場合は「End」表示をします。

故障コード最初の次のダウンキーも同様です。

End

End

4  を押す。

待機状態に戻ります。

123456

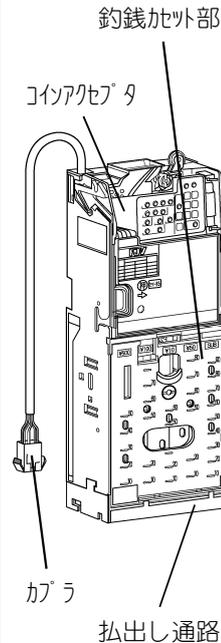
補足

- ・同一搬送機構関連の故障の場合でコラムNo.が同じ場合は、全て故障コード・コラムNo.は別々に記録（表示）します。
- ・最大50項目です。
- ・詳細コードがない故障の場合は、詳細コードは00を表示します。

故障コード一覧表

故障コード一覧表(その1)

故障コード	詳細コード	故障内容	対処方法
コ イ ン メ カ ニ ズ ム に 関 す る 異 常	10	コインメカニズム通信異常 マスタボックスとコインメカニズムの通信が異常 ①無応答 ②受信異常	<ul style="list-style-type: none"> コネクタの接続をチェックする コインメカニズムを交換する
	11	¥10コイン 信号開放し	<ul style="list-style-type: none"> コインアクセプタのコイン詰まりをチェックする コインアクセプタを点検交換する(信号消滅後、自動復帰)
	12	¥50コイン 信号開放し	
	13	¥100コイン 信号開放し	
	14	¥500コイン 信号開放し	
	15	返却スイッチ異常 投入金なしで30秒以上返却スイッチが入り放しになっている	<ul style="list-style-type: none"> コインメカニズムを点検交換する
	16	コイン払出し不良 ・コイン払い出し機構異常(コイン詰まり・モータ回らず) ・釣銭リフタモータロック	<ul style="list-style-type: none"> コイン詰まりをチェックし、電源を再投入する
	17	セーフティスイッチ異常 釣銭カセット部が正しく装着されていない(E Z X, E Z Sの場合のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 釣銭カセット部を正しく装着する
	18	払い出し確認スイッチ異常 コイン払出し確認スイッチの異常(E Z X, E Z Sの場合のみ)	<ul style="list-style-type: none"> コイン詰まりをチェックする
	19	アクセプタ異常 ・コインアクセプタに異常がある ・コインアクセプタの装着が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> コインアクセプタの装着状態をチェックする コインアクセプタを交換する
20	¥10エンプティ スイッチ異常	コインが20枚以上あるのに1回投入しても釣銭無しを表示	<ul style="list-style-type: none"> コインメカニズムを交換する
21	¥50エンプティ スイッチ異常	コインが20枚以上あるのに1回投入しても釣銭無しを表示(E Z X, E Z Sの場合、表示せず)	
22	¥100エンプティ スイッチ異常	コインが20枚以上あるのに1回投入しても釣銭無しを表示	



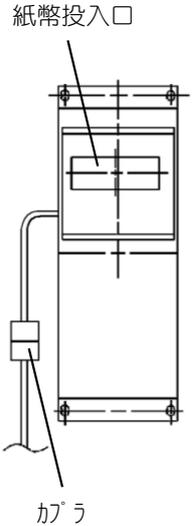
故障コード一覧表

故障コード一覧表(その2)

故障コード	詳細コード	故障内容	対処方法
コインメカニズムに関する異常	23	¥50エンブティスイッチ異常 コインが20枚以上あるのに1回投入しても釣銭無しを表示(EZX, EZSの場合, 表示せず)	コインメカニズムを交換する
	24	金庫満杯信号開放し 金庫満杯信号がコイン詰まりで異常になっている	コイン詰まりをチェックし, 電源を再投入する
	25	¥10キャッシュオーバーフロー信号開放し ¥10オーバーフローセンサでコイン詰まりを検知している	
	26	¥50キャッシュオーバーフロー信号開放し ¥50オーバーフローセンサでコイン詰まりを検知しています。	
	27	¥100キャッシュオーバーフロー信号開放し ¥100オーバーフローセンサでコイン詰まりを検知しています。	
	28	¥500キャッシュオーバーフロー信号開放し ¥500オーバーフローセンサでコイン詰まりを検知しています。	
自販機制御機構に関する異常	34	テンキーボタン故障 テンキーボタンが押し放しになっている	テンキーボタンを点検交換する
	50	時計データ異常 時計データが正規でない (電源投入時, 待機中)	現在時刻(年・月・日・時分)を再設定する
	51	メモリデータ異常 メモリデータが正規でない (停電時, メモリデータのバックアップができない)	・設定データをチェックし, 異常データがあれば再設定する ・電池の電圧をチェックし, 低いときは交換する
	52	メカ指定モード未設定 搬出機構モードが全コラム未設定または正しく設定されていない	搬出機構モードを正しく再設定する
	60	通信ラインショート マスタ側送信ラインが1秒以上“LOW”になる	マスタボックスを交換する (通信回復により自動復帰)
	61	扉スレーブボード通信異常 扉スレーブの交信が正常に行われない (無応答, 受信データ異常)	VTS信号ライン(8Pカプラ)と扉スレーブの接続を点検し, 尚異常がある場合は, 扉スレーブボードを交換する
	62	搬出スレーブボード通信異常 搬出スレーブの交信が正常に行われない (無応答, 受信データ異常)	VTS信号ライン(8Pカプラ)と搬出スレーブの接続をチェック, または搬出スレーブを交換する
	63	ルーレットスレーブ異常 ルーレットスレーブの交信が正常に行われない(無応答, 受信データ異常)	VTS信号ライン(8Pカプラ)とルーレットスレーブの接続を点検し, 尚異常がある場合は, 搬出スレーブを交換する
	64	プリンタスレーブ通信異常 プリンタスレーブの交信が正常に行われない (無応答, 受信データ異常)	VTS信号ライン(8Pカプラ)とプリンタスレーブの接続をチェック, またはプリンタスレーブを交換する
	65	ACSスレーブ通信異常 ACSスレーブの交信が正常に行われない (無応答, 受信データ異常)	VTS信号ライン(8Pカプラ)とACSスレーブの接続を点検し, 尚異常がある場合は, ACSスレーブを交換する
	67	リモコン通信異常 リモコンの交信が正常に行われない (無応答, 受信データ異常)	ISS信号ライン(5Pカプラ)とリモコンの接続をチェック, またはリモコンを交換する
79	デジタル表示器通信異常 デジタル表示器の交信が正常に行われない (無応答, 受信データ異常)	ISS信号ライン(5Pカプラ)とデジタルテンキーのデジタル表示器の接続をチェック, またはデジタル表示器を交換する	

故障コード一覧表

故障コード一覧表(その3)

故障コード	詳細コード	故障内容	対処方法
ビルバリデータに関する異常	71	ビルバリデータ部通信異常 ビルバリデータの通信が正常に行われない (無応答, 受信データ異常)	 <p>紙幣投入口</p> <p>ケーブル</p> <p>V T S 信号ライン(8 P カプラ)とビルバリデータの接続をチェック, またはビルバリデータを交換する</p>
	73	カード部通信異常 カードスレーブの通信が無応答または受信データの異常で正常に行われない	V T S 信号ライン(8 P カプラ)とカードスレーブが正しく接続されているか点検し, 尚異常がある場合はカードスレーブを交換する
	78	ポイントカードリーダ通信異常 ポイントカードリーダの通信が無応答または受信データ異常で正常に行われない	V T S 信号ライン(8 P カプラ)とポイントカードリーダが正しく接続されているか点検し, 尚異常がある場合はポイントカードリーダを交換する
	80	紙幣詰まり 紙幣が詰まっている	紙幣詰まりをチェックする
	81	紙幣払い出し異常 紙幣払い出し機構異常	紙幣詰まりをチェックし, 電源を再投入する
	82	紙幣金庫満杯 紙幣収納金庫が満杯になっている	紙幣を回収する
	83	スタッカ異常 紙幣詰まり等でスタッカ部の収金動作が出来ない	スタッカ部の紙幣詰まりをチェックし, 電源を再投入する
	84	識別部異常 (ビルバリデータ) 紙幣が詰まっている, または紙幣識別部が故障している	<ul style="list-style-type: none"> 紙幣詰まりをチェックする ビルバリデータを交換する
	85	セーフティスイッチ異常 (ビルバリデータ) ビルバリデータ内部の故障	<ul style="list-style-type: none"> ビルバリデータ内部を点検する ビルバリデータを交換する
	86	紙幣金庫開きっ放し (ビルバリデータ) 裏ボタンが開きっ放しになっている	裏ボタンを閉める
87	紙幣引き抜き異常 紙幣引き抜きが発生したことをビルバリデータが検知した時	電源を再投入する	

故障コード一覧表

故障コード一覧表(その4)

故障コード	詳細コード	故障内容	対処方法
冷却・加熱機構に関する異常	251	温度センサ1異常(庫内/下庫内) 庫内温度センサがショート/オープンしているか、または庫内温度が異常(80℃以上または-20℃以下)になっている	・庫内/下庫内の温度を確認する ・庫内/下庫内の温度センサを交換する
	252	温度センサ2異常(庫内/上庫内) 庫内温度センサがショート/オープンしているか、または庫内温度が異常(80℃以上または-20℃以下)になっている	・庫内/上庫内の温度を確認する ・庫内/上庫内の温度センサを交換する
	255	温度センサ異常(蒸発器) 蒸発器の温度センサがショート/オープンしている、または蒸発器部の温度が異常になっている	・蒸発器部の温度を確認する ・庫内/下庫内の温度センサを交換する
	506	庫外ファンのロック 庫外ファンがロックしている	原因を取り除き、庫外ファンを交換する
	1278	外気温度センサ異常 外気温度センサーがショート/オープンしている	外気温度センサーを交換する
カードに関する異常	1000	カード部異常 カードスレーブ内に異常が発生している	カードスレーブを点検し、尚異常がある場合はカードスレーブを交換する
	1001	カード詰まり カードリーダー内部でカードが詰まっている	カードが詰まっていないか点検する
	1002	カードリーダー異常 カードリーダー部のヘッドが汚れているかまたはカードリーダー部に異常が発生している	クリーニングカードを使ってヘッドクリーニングを行う 尚異常がある場合はカードリーダーを交換する
	1004	カード返却スイッチ異常 カード返却スイッチが押したままの状態になっている	カード返却スイッチを点検し、尚異常がある場合は交換する
	1006	カード引き抜き異常 カード引き抜きが発生したことをカードリーダーが検知している	電源を再投入する
	1020	ポイントカード詰まり ポイントカードがカードリーダーの搬送ユニットで詰まっている	カードリーダーの搬送ユニットで詰まっているポイントカードを取り除く
	1021	ポイントカード書込み不良 ポイントカードの汚れや折れ等でカードにポイント数が書き込めない	カードを交換する
	1022	ポイントカードパンチ機構不良 ポイント数を示すパンチ機構に異常がある	・ポイントカードのパンチ機構部の汚れを清掃する ・ポイントカードリーダーライタを交換する
	1025	ポイントカード発行ユニットカード詰まり ポイントカードが発行ユニットで詰まっている	発行ユニットに詰まっているポイントカードを取り除く
冷却ユニットに関する異常	151	ICテンキーボタン異常 テンキーボタンが異常になっている	テンキーボタンの点検、交換し、再設定する
	1030	プリンタ異常 プリンタ機構異常	プリンタスレーブを点検交換する
	1031	プリンタ紙詰まり プリンタ用紙が詰まっている	詰まったプリントを取り除く
	1032	プリンタ紙切れ プリンタ用紙が無くなっている	プリンタ用紙を補充する

■ : この故障が発生した場合、お金を返金します。売上にはカウントしません。

故障コード一覧表

故障コード一覧表(その5)

故障コード	詳細コード	故障内容	対処方法	
搬送メカに関する異常	1235	異物検知異常 販売後5分経過してもバンドエンドセンサが異物を検知している(商品取り忘れ)	異物を取り除きます	
	1292	10	上限スイッチ異常 上限スイッチが故障している	上限スイッチを交換する
		11	下限スイッチ異常 下限スイッチが故障している	下限スイッチを交換する
	1295	01	Yメカ異常 Y軸下降動作ロック異常(クリーニング動作)	各原因を取り除き、販売復帰ボタンを押す
		02	Y軸上昇動作ロック異常(クリーニング動作)	
		03	Y軸下降動作ロック異常(商品販売前),(販売動作(テスト動作))	
		04	Y軸上昇動作ロック異常(商品販売前),(販売動作(テスト動作))	
		05	Y軸下降動作ロック異常(商品販売後),(販売動作(テスト動作))	
		06	Y軸上昇動作ロック異常(商品販売後),(販売動作(テスト動作))	
		07	Y軸上昇動作ロック異常(ローディングスイッチ動作)	
		08	Y軸上昇動作ロック異常(販売動作)	
	1297	70	エンコーダ異常 クリーニング動作時、Yメカの待機位置移動中に下限スイッチがONになった	エンコーダを交換し、販売復帰ボタンを押す
		71	販売動作時にYメカが待機位置からラックへの下降動作中に下限スイッチがONになった	
		72	販売動作時にYメカが待機位置からラックへの上昇動作中に上限スイッチがONになった	
73		販売動作時にYメカのリトライ上昇動作中に上限スイッチがONになった		
74		販売動作時にYメカが下限から待機位置移動中に上限スイッチがONになった		
75		クリーニング動作時にYメカが下限から待機位置移動中に上限スイッチがONになった		
2362	—	構造モード異常 正しい構造モードが設定されていない	正しい構造モードを設定する	
2403	20	バンドエンドセンサ異常 クリーニング動作前にセンサが異物を検知した	各原因を取り除き、販売復帰ボタンを押す	
	21	販売動作前にセンサが異物を検知した		
2451	—	取出口ロックスイッチ異常 1時間経過しても取出口ロックスイッチが検知しない	取出口ロックスイッチを交換する	
2499	30	コラムモータ異常 コラムモータがロックしている	各原因を取り除き、販売復帰ボタンを押す	

■ : この故障が発生した場合、お金を返金します。売上にはカウントしません。



製品に関するお問い合わせ、サービス・修理のご用命は
全国共通ナビ・ダイヤル **TEL0570-056022** へご連絡下さい。
(コールはフジ)

全国販売拠点網

北海道支社	〒060-0031	北海道札幌市中央区北一条東2丁目 5-2 (札幌泉第一ビル)	TEL 011-804-5060
東北支社	〒980-0011	宮城県仙台市青葉区上杉三丁目 3番30号	TEL 022-716-5851
北陸支社	〒921-8001	石川県金沢市高島三丁目 192番地	TEL 076-291-8830
中部支社	〒460-0007	愛知県名古屋市中区新栄1丁目 5-8 (広小路アケアプレイス)	TEL 052-746-1055
関西支社	〒530-0011	大阪府大阪市北区大深町 3番1号 グランフロントタワーB	TEL 06-7166-7338
中国支社	〒730-0022	広島県広島市中区銀山町 14-18	TEL 082-545-2138
四国支社	〒760-0017	香川県高松市番町 1-6-8 (高松興銀ビル6階)	TEL 087-851-9101
九州支社	〒812-0025	福岡県福岡市博多区店屋町 5-18 (博多NSビル7F)	TEL 092-283-6111
沖縄支社	〒900-0004	沖縄県那覇市銘苅 2-4-51 (ジエイ・ツビル3階)	TEL 098-867-3999
営業統括部	〒141-0032	東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー	[営業第二部] TEL 03-5435-7080
部品センター	〒510-8631	三重県四日市市富士町 1-27	(ナビ・ダイヤル) TEL 0120-992-513

'16. 10. 01現在